

# Telelogic Synergy ヘルプ

リリース 6.6a

---

本書をご使用になる前に、[331 ページの「付録：特記事項」](#)に記載されている情報をお読みください。

本書は、Telelogic Synergy バージョン 6.6a および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

©Copyright IBM Corporation 1997, 2008

---

# 目次

<b>プロジェクトの作成と更新</b>	<b>9</b>
作業環境の作成	10
オブジェクトのコピー	11
プロジェクトの作成	13
プロジェクトのコピー	14
プロジェクトメンバーの作成	16
ファイルシステムへのプロジェクトのコピー	17
プロジェクト固有ディレクトリ テンプレートの修正	18
デフォルト ワークエリア パスの設定	19
プロジェクトの更新	21
プロジェクトの更新	22
更新の取り消し	23
ファイルの別バージョンの使用	24
オブジェクトの推奨バージョンの使用	25
プロジェクトまたはプロジェクト グルーピング内のメンバーシップ コンフリクトの解決	26
深いコンフリクト検出の実行	39
ワークエリアとデータベースの同期	40
更新オプションの変更	42
パターンによるファイルの無視	43
プロジェクトの更新プロパティの変更	45
ベースラインを使用した変更	49
ベースラインとタスクの更新	50
更新時のベースラインとタスクの変更の防止	51
新規ベースラインの選択	52
別のベースラインの使用	53
<b>ファイルの変更</b>	<b>55</b>
ファイル内容の変更	56
チェックイン	57
チェックアウト	58
ファイル/ディレクトリ/サブプロジェクトの作成	59
ファイルの編集	60
ファイル配置の変更	61
オブジェクトの削除	62
ファイルの移動	64
ディレクトリへの追加	65
プロジェクト ファイルの名前変更	66
ファイルのタイプの変更	67

---

<b>タスクの作業</b>	<b>69</b>
日常のタスク .....	70
タスクの選択 .....	71
カレント タスクの完了 .....	72
タスクの割り当て .....	73
タスクの作成 .....	74
タスクのコピー .....	76
タスクの除外 .....	78
カレント タスクへ追加 .....	79
フォルダへのタスクの追加 .....	80
タスクをオブジェクトに追加またはオブジェクトから削除 .....	81
自分に割り当てられたタスクの表示 .....	82
関連タスクの表示 .....	83
タスクの修正 .....	85
タスクを指定して別タスクを修正 .....	86
修正タスクの作成 .....	88
プロジェクト グルーピングからタスクを削除 .....	90
プロジェクト グルーピングにタスクを追加 .....	91
タスクと変更依頼 .....	93
変更依頼に自動的に関連付けられるタスクの作成 .....	94
ファイルまたは変更依頼のタスクからの削除 .....	95
関連タスクの変更依頼の表示 .....	96
変更依頼の解決 .....	97
必須タスクの自動追加を停止 .....	98
<b>プロパティの使用</b>	<b>99</b>
オブジェクト プロパティの変更 .....	100
ベースライン プロパティの修正 .....	101
ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正 .....	102
フォルダのプロパティの修正 .....	103
プロジェクトのプロパティの修正 .....	105
プロジェクト グルーピングのプロパティの修正 .....	107
タスクのプロパティの修正 .....	109
ワークエリアの設定の修正 .....	111
プロパティの表示 .....	114
プロパティ設定からの変更 .....	115
ユーザー プロパティのカスタマイズ .....	116
デフォルト アプリケーションツールの変更 .....	117
オブジェクトのセキュリティ設定の変更 .....	121
プロジェクト グルーピングにプロジェクトを追加 .....	123

---

## ファイルの検索とその他 125

オブジェクトの検索 .....	126
オブジェクトの検索 .....	127
オブジェクトの使用箇所の検索 .....	128
オブジェクトまたはリリースの履歴の表示 .....	129
割り当てられた変更依頼の表示 .....	131
クエリの設定 .....	133
クエリの定義 .....	134
クエリの保存 .....	136
クエリを新しい名前で作成 .....	137
保存クエリの表示 .....	138
保存クエリの変更 .....	139
クエリのカスタマイズ .....	140
関数 .....	150
比較演算子 .....	155
論理演算子 .....	156
定数 .....	157
クエリ文節のグループ .....	158
定義済みクエリの使用 .....	159
オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ .....	160
保存されたクエリの実行 .....	161
保存クエリの編集 .....	162

## マージと比較 163

マージ .....	164
2つのファイルバージョン .....	165
パラレルファイル/ディレクトリのマージ .....	166
マージ結果の編集 .....	167
次のマージ差分の表示 .....	168
コンフリクトのないマージの適用 .....	169
マージ済みファイルの保存 .....	170
マージ変更のクリア .....	171
比較 .....	173
2つのファイルの比較 .....	174
パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較 .....	175
パラレルバージョンの表示 .....	176
オブジェクトを関連オブジェクトと比較 .....	178
2つの類似オブジェクトの比較 .....	179

---

<b>ビルドの管理</b>	<b>181</b>
ビルド .....	182
破損ビルドの修復 .....	183
ビルドの実行 .....	184
再ビルドの実行 .....	186
特定のタスクを使用するビルド .....	191
ビルドのスナップショットの作成 .....	193
ベースラインなしの再ビルド .....	195
<b>インターフェイスのカスタマイズ</b>	<b>197</b>
エキスプローラの使用 .....	198
1つまたはすべてのエキスプローラを閉じる .....	199
エキスプローラのカスタマイズ .....	200
1つ以上のエキスプローラのドッキング .....	202
エキスプローラ内でのクエリ結果のグループ化 .....	203
保存されたクエリのエキスプローラへの追加 .....	204
保存されたクエリの検索メニューへの追加 .....	205
エキスプローラの使用するクエリの結果を最新にする .....	206
保存クエリの削除 .....	207
インターフェイスの外観の変更 .....	209
ダイアログボックスとペインのカスタマイズ .....	210
色の変更 .....	211
フォントタイプとサイズの変更 .....	213
ワーク ペインの外観の変更 .....	214
プロジェクトを閉じる .....	215
カラム表題部にプロパティを追加 .....	216
カラム表題部からプロパティを削除 .....	217
ワーク ペインからのタブの削除 .....	218
セッション中に選択を最新の状態に更新 .....	219
リリース エクスプローラの表示 .....	220
プロパティ ダイアログボックスのセキュリティ タブの表示 .....	221
<b>Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習</b>	<b>223</b>
Telelogic Synergy の開始 .....	225
コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始 .....	226
Telelogic Change の起動 .....	227
コピーベース モードによる Telelogic Synergy の使用 .....	228
新規ユーザー向けの説明 .....	229
Telelogic Synergy ツアーの実施 .....	230
Telelogic Synergy の開始 .....	234

---

キーボードショートカットの使用 .....	235
マウスショートカットの使用 .....	238
ヘルプの参照 .....	239
ファイルの移動 .....	241
オブジェクト、タスク、または変更依頼のコピーおよび貼り付け .....	242
切り取り、コピー、貼り付けによるファイルの移動 .....	243
ドラッグ アンド ドロップの使用 .....	244
ダイアログボックスとペインを開く、閉じる、選択、表示 .....	245
ショートカットメニューの表示 .....	246
ワーク ペインでプロジェクトを開く .....	246
ワーク ペインでプロパティを表示 .....	247
メッセージの表示 .....	248
複数のファイルの選択 .....	248
ファイル/プロジェクト/タブの表示 .....	248
問題解決 .....	249
パターン マッチングと Telelogic Synergy .....	250
テキストの回復 .....	250
オブジェクトの再表示 .....	251
<b>一般的な質問 .....</b>	<b>301</b>
ベースライン .....	304
ビルド管理 .....	305
コンフリクト .....	307
開発 .....	309
エクスプローラ .....	314
プロパティ .....	316
<b>用語解説 .....</b>	<b>319</b>
<b>付録：特記事項 .....</b>	<b>331</b>
サンプル・コードの著作権 .....	333
商標 .....	333
<b>索引 .....</b>	<b>335</b>



# プロジェクトの作成と更新

## 作業環境の作成

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの作成
- プロジェクトメンバーの作成
- ファイルシステムへのプロジェクトのコピー
- プロジェクト固有ディレクトリ テンプレートの修正
- デフォルト ワークエリア パスの設定

## プロジェクトの更新

- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- ファイルの別バージョンの使用
- オブジェクトの推奨バージョンの使用
- プロジェクトまたはプロジェクト グルーピング内のメンバーシップ コンフリクトの解決
- ワークエリアとデータベースの同期
- 更新オプションの変更
- パターンによるファイルの無視
- プロジェクトの更新プロパティの変更

## ベースラインを使用した変更

- ベースラインとタスクの更新
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止
- 新規ベースラインの選択
- 別のベースラインの使用

## 作業環境の作成

- [オブジェクトのコピー](#)
- [プロジェクトの作成](#)
- [プロジェクトメンバーの作成](#)
- [ファイルシステムへのプロジェクトのコピー](#)
- [プロジェクト固有ディレクトリテンプレートの修正](#)
- [デフォルトワークエリアパスの設定](#)

---

## オブジェクトのコピー

オブジェクトのコピーにより、以前の情報を元に簡単に新規オブジェクトを作成できます。この手順により、次のオブジェクトを作成します。

- [フォルダ](#)
- [フォルダ テンプレート](#)
- [プロセス](#)
- [プロジェクト](#)
- [リリース](#)
- [タスク](#)

すべてのユーザーは、フォルダ、プロジェクト、またはタスクをコピーできますが、フォルダ テンプレート、プロセス、またはリリースをコピーできるのはビルド マネージャだけです。

### ステップ ...

プロセス、プロジェクト、フォルダ、フォルダ テンプレート、リリース、またはタスクを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. コピーするオブジェクトを右クリックし、**オブジェクトのコピー**を選択します。  
適切な**コピー**ダイアログボックスが表示されます。
2. 新しいオブジェクトのプロパティを設定します。

プロパティの詳細については、以下のトピックを参照してください。

- [フォルダのプロパティの修正](#)
- [プロジェクトのプロパティの修正](#)
- [タスクのプロパティの修正](#)

**タスク number** のオブジェクトを関連付けチェックボックスは、**タスクのコピー**ダイアログボックスからのみ使用できます。このオプションはデフォルトで選択されており、コピーしたタスクのすべてのオブジェクトを新しいタスクに関連付けます。これは、**パラレルリリース**に使用するタスクをコピーするときに便利です。

**注記:** 問題タスクを修正するためにタスクを作成した場合、このタスク（修正タスク）と問題タスクとの間に関係を作る必要があります。詳細については、[タスクを指定して別タスクを修正](#)を参照してください。

- [クエリの定義](#)

3. **OK** をクリックします。

**関連トピック**

- [ファイルシステムへのプロジェクトのコピー](#)
- [プロジェクトの作成](#)
- [クエリの定義](#)
- [ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正](#)
- [オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ](#)
- [セッション中に選択を最新の状態に更新](#)
- [プロジェクトの更新](#)
- [別のベースラインの使用](#)
- [オブジェクトまたはリリースの履歴の表示](#)

---

## プロジェクトの作成

次の手順により、プロジェクトを作成します。さらに、[プロジェクトのコピー](#)を行ってプロジェクトを作成したり、[ファイル/ディレクトリ/サブプロジェクトの作成](#)を行ってサブプロジェクトを作成できます。

**注記：**カレント タスクが設定されている必要があります。  
詳細については、[タスクの選択](#)を参照してください。

ファイルシステムにプロジェクトのファイルのコピーが必要な場合、[ファイルシステムへのプロジェクトのコピー](#)を行うことができます。これにより、プロジェクトの独自バージョンを持たずにプロジェクトからのファイルのコピーを持つことができます。

### ステップ ...

1. プロジェクトを作成します。

- **タスク**メニューをクリックし、**新規**をポイントしてプロジェクトを選択します。  
ディレクトリを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

または

- 適切なプロジェクト グループングを右クリックし、**プロジェクトの作成** を選択します。

2. 内容を説明する名前を入力します。

3. リリースと目的を選択し、**OK** ボタンをクリックします。

プロジェクトの目的は、**Insulated Development (個別開発)**、**Integration Testing (統合テスト)**、**System Testing (システム テスト)** などのように、それが何に使われるかを定義します。プロジェクトの目的を変更すると、Telelogic Synergy はプロジェクトまたはプロジェクト グループングの更新時に特定の選択基準を使用します。

### 関連トピック

- [ディレクトリへの追加](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [ファイルの編集](#)
- [セッション中に選択を最新の状態に更新](#)
- [プロジェクトファイルの名前変更](#)
- [タスクの選択](#)

## プロジェクトのコピー

プロジェクトのコピーにより、既存プロジェクトから簡単に新規プロジェクトを作成できます。

ファイルを変更せずにプロジェクトの内容を表示するだけの場合は、バージョンをチェックアウトせずにプロジェクトとそのメンバーを表示できる [ファイルシステムへのプロジェクトのコピー](#)を行います。

### ステップ ...

1. コピーするプロジェクトを右クリックし、**プロジェクトのコピー**を選択します。  
**プロジェクトのコピー** ダイアログボックスが表示されます。
2. もとのプロジェクトのリリース値を使用するか **リリース** リストで新しいリリースを設定します。
3. **目的**リストで新規プロジェクトの目的を設定します。  
プロジェクトの目的は、**Insulated Development (個別開発)**、**Integration Testing (統合テスト)**、**System Testing (システム テスト)** などのように、それが何に使われるかを定義します。プロジェクトの目的を変更すると、Telelogic® Synergy™ はプロジェクトまたはプロジェクト グループの更新時に異なる選択基準を使用します。
4. サブプロジェクトがある場合、同じリリースのサブプロジェクトのみ、サブシステム、すべてのサブプロジェクトをコピーする、またはサブプロジェクトをコピーしないことを選択できます。  
コピーするサブプロジェクトを設定するには、**[>>]** をクリックします。  
**プロジェクトのコピー**ダイアログボックスが展開し、コピーするプロジェクト内の各サブプロジェクト、ベースラインに関連している各サブプロジェクト、およびプロジェクト グループに関連している各サブプロジェクトが表示されます。**コピー**チェックボックスを選択または選択解除して、Telelogic Synergy がコピーするサブプロジェクトを選択します。  
サブプロジェクトをその親プロジェクトの内容からコピーする場合、新しいサブプロジェクトはそのリリースと目的が親プロジェクトのものと一致する場合にのみ、親プロジェクトのメンバーになります。
5. デフォルトバージョンを使用するか新しいバージョンを入力します。  
バージョンはプロジェクト固有のバリエーションです。
6. コピーするプロジェクトが使用しているワークエリア パスを選択するか、新しいパスを入力するか参照ボタンによって設定します。

- 
7. デフォルトで、Telelogic Synergy はプロジェクトのコピー後にすべての新しいプロジェクトを更新します。新しいプロジェクトを更新したくない場合は、**新規プロジェクトの更新**チェックボックスのチェックを外します。
  8. **OK** をクリックします。

#### 関連トピック

- [プロジェクトの作成](#)
- [プロジェクトメンバーの作成](#)
- [ファイルシステムへのプロジェクトのコピー](#)
- [オブジェクトのコピー](#)

## プロジェクト メンバーの作成

この手順により、プロジェクトに新規ファイル、ディレクトリ、またはサブプロジェクトを追加します。Telelogic Synergy により、新規ファイルがカレント タスクと関連付けられます。

**注記：**カレント タスクが設定されている必要があります。  
詳細については、[タスクの選択](#)を参照してください。

### ステップ ...

ファイル、ディレクトリ、プロジェクトを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

- 新規オブジェクトをメンバーとして格納したいディレクトリを右クリックし、**メンバーの作成**をポイントします。

ファイルを追加するには、**ファイル**を選択します。**ファイルの作成**ダイアログが開きます。新規ファイルの名前を入力して **OK** をクリックします。

ディレクトリを追加するには、**ディレクトリ**を選択します。**ディレクトリの作成**ダイアログが開きます。新規ディレクトリの名前を入力して **OK** をクリックします。

サブプロジェクトを追加するには、**サブプロジェクト**を選択します。**サブプロジェクトの作成**ダイアログが開きます。新規サブプロジェクトの名前を入力して **OK** をクリックします。

### 関連トピック

- [タスクの選択](#)

---

## ファイル システムへのプロジェクトのコピー

この手順により、ファイル システム内に自分で使用するプロジェクトを作成します。

この場合、プロジェクトは単なるコピーで、他のワークエリアとは無関係です。ファイル システムにコピーした後、メンテナンスしたり、同期したりすることはできません。

### ステップ ...

プロジェクトを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. コピーするチェックイン済みプロジェクトまたはディレクトリを右クリックし、**ファイル システムにコピー**をポイントします。**メンバーのみ**を選択して、メンバーのみをコピーするか、**メンバーとサブプロジェクト**を選択して、メンバーとサブプロジェクトをコピーします。

コピーダイアログボックスが表示されます。

2. コピーを置くディレクトリを選択します。

指定したディレクトリにプロジェクトの名前と同じ名前のファイルかサブディレクトリがある場合は、エラーメッセージが表示されます。

3. **コピー**をクリックします。

### 関連トピック

- [チェックイン](#)
- [プロジェクトの作成](#)
- [プロジェクトの更新](#)

## プロジェクト固有ディレクトリ テンプレートの修正

デフォルト パスを変更する場合、必ず[ワークエリア](#) パスが固有になるようにしてください。すなわち、2つのワークエリアのデフォルトパスが同じであってはなりません。たとえば、リリース 2.1 とリリース 3.0 の両方に **toolkit** という[プロジェクト](#)があり、プロジェクト固有のワークエリア パスが設定されていない場合、両方のプロジェクトのデフォルトパスが同じになります（デフォルト設定により、ワークエリア パスは確実に固有のものになります）。

### ステップ ...

1. メイン メニューで**ツール**をクリックし、**オプション**を選択して**オプション** ダイアログを開きます。
2. **アクション** タブをクリックし、左のペインで**プロジェクトのコピー**をクリックします。
3. プロジェクト固有ディレクトリ テンプレートを修正します。

- a. ワークエリアパスの一部としてプロジェクト固有ディレクトリを使用するかどうかを指定します。

プロジェクト固有ディレクトリにより、プロジェクトの名前がベース ディレクトリの末尾に追加されます。

設定を中止すると、プロジェクト固有ディレクトリ名が**上記設定のパス例**ボックスに表示されなくなります。

- b. プロジェクト固有ディレクトリをさらに詳細に記述するにはキーワードを変更します。

キーワードを使用してパスのフォーマットを記述できます。プロジェクトのチェックアウト時やワークエリア パスの変更時、プロジェクトに適した値によってキーワードが置き換えられます。たとえば、

**%release**というキーワードを含むディレクトリ テンプレートの場合は、プロジェクトのリリース値（**2.0** など）と置き換えられます。

ディレクトリ テンプレートには複数のキーワードを含めることができ、単なるディレクトリ名でなく、ディレクトリ ツリー（サブディレクトリを含むディレクトリ）にマップすることもできます。

4. 変更を行った後デフォルトの設定に戻るには、**デフォルト設定**をクリックします。

### 関連トピック

- [必須タスクの自動追加を停止](#)
- [デフォルト ワークエリア パスの設定](#)

---

## デフォルト ワークエリア パスの設定

次の手順は、新規およびコピーした[プロジェクト](#)のすべての[ワークエリア](#)が表示されるデフォルト パスを設定する方法を示します。

### ステップ ...

1. メイン メニューで**ツール**をクリックし、**オプション**を選択して**オプション** ダイアログを開きます。
2. **アクション** タブをクリックし、左のペインで**プロジェクトのコピー**をクリックします。  
  
プロパティ ダイアログボックスで**デフォルト パス変更**をクリックした場合は、**オプション** ダイアログボックスが開き、**アクション** タブの**プロジェクトのコピー** オプションが表示されます。
3. デフォルト パスを設定します。
  - a. ベース ディレクトリを変更します。  
ベース ディレクトリは好みのパスに変更できます。  
ベース ディレクトリを変更すると、**上記設定のパス例**ボックスに表示されます。
  - b. データベースの名前をワークエリア パスに含めるかどうかを指定します。  
ワークエリア パスにデータベース名を入れると、データベースを複数使用している場合に便利です。
4. 変更を行った後デフォルトの設定に戻るには、**デフォルト設定**をクリックします。
5. **適用**をクリックします。

### 関連トピック

- [必須タスクの自動追加を停止](#)
- [更新オプションの変更](#)
- [パターンによるファイルの無視](#)
- [プロジェクト固有ディレクトリ テンプレートの修正](#)
- [ワークエリアの設定の修正](#)



## プロジェクトの更新

- [プロジェクトの更新](#)
- [更新の取り消し](#)
- [ファイルの別バージョンの使用](#)
- [オブジェクトの推奨バージョンの使用](#)
- [プロジェクトまたはプロジェクト グルーピング内のメンバーシップ コンフリクトの解決](#)
- [ワークエリアとデータベースの同期](#)
- [更新オプションの変更](#)
- [パターンによるファイルの無視](#)
- [プロジェクトの更新プロパティの変更](#)

---

## プロジェクトの更新

この手順により、他の開発者のファイル、ディレクトリ、またはプロジェクトの最新のバージョンを使用します。自分のプロジェクトを更新できる準備ができるまで、ワークエリアは他のユーザーの変更から隔離されています。

### ステップ ...

- 適切なプロジェクトを右クリックし、**更新**をポイントします。  
プロジェクトを更新するときは、**メンバーのみ**または**メンバーとサブプロジェクト**を選択します。  
プロジェクト グルーピングからプロジェクトを更新するときは、**すべてのプロジェクト**または**すべてのプロジェクトとサブプロジェクト**を選択します。

### 関連トピック

- [更新時のベースラインとタスクの変更の防止](#)
- [ベースラインとタスクの更新](#)
- [更新の取り消し](#)
- [ファイルの別バージョンの使用](#)

---

## 更新の取り消し

この操作により、選択したプロジェクトまたはディレクトリに以前の更新によって加えられた変更を取り消します。これで、直前の更新が行われる前のプロジェクトのメンバーが復元します。現在の Telelogic Synergy セッションで更新したプロジェクトおよびディレクトリのみ復元できます。

### ステップ ...

- 更新したプロジェクトを右クリックし、**更新**をポイントし、**元に戻す**を選択します。

### 関連トピック

- [プロジェクトの更新](#)
- [ファイルの別バージョンの使用](#)

---

## ファイルの別バージョンの使用

この手順により、ワーク ペインでファイルの別バージョンを使用します。

### ステップ ...

ファイルのバージョンを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. 適切なファイルを右クリックし、**別バージョンの使用**を選択します。  
別バージョンの使用ダイアログボックスが表示されます。
2. 使用するファイルバージョンを選択するか、**推奨**をクリックして推奨バージョンを参照します。
3. **OK** をクリックします。

### 関連トピック

- [プロジェクトの更新](#)
- [更新の取り消し](#)
- [オブジェクトの推奨バージョンの使用](#)

---

## オブジェクトの推奨バージョンの使用

この手順により、Telelogic Synergy が選択したオブジェクトバージョンを使用します。

### ステップ ...

ファイルを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

- **ワークペイン**で、適切なファイル、ディレクトリ、またはサブプロジェクトを右クリックし、**推奨バージョンの使用**を選択します。

一般的にこの操作は、別バージョンを使用するために手動で**別バージョンの使用**操作を行ってから実行します。

### 関連トピック

- [プロジェクトの更新](#)
- [更新の取り消し](#)
- [ファイルの別バージョンの使用](#)

---

## プロジェクトまたはプロジェクト グループ内のメンバーシップ コンフリクトの解決

メンバーシップコンフリクトは、プロジェクトのメンバーシップがプロジェクトグループのベースラインおよびタスク設定と一致しないとき発生します。これは、パラレル変更、変更の欠落、余分な変更など、不正なタスク/オブジェクト関係の原因となります(欠落した変更とは、タスクがプロジェクト グループに含まれているにもかかわらず、オブジェクトがプロジェクトのメンバーではないために、依頼したのに存在しない変更です。余分な変更は、オブジェクトがプロジェクトのメンバーであるにもかかわらず、タスクがプロジェクトグループに含まれないため、依頼していないのに存在する変更です)。

これらの問題を解決するには、以下の操作またはその一部を行う必要があります。

- パラレル変更を検索して比較し、適切ならマージする。
- 依頼したのにプロジェクトに含まれない変更を検索して含める。
- 依頼していないのにプロジェクトに含まれる変更を検索して除外する。

メンバーシップ コンフリクトダイアログボックスでは、プロジェクトのメンバーとその[プロジェクトの更新プロパティ](#)との間のコンフリクトを確認できます。通常、更新の後この手順を実行して、どこにコンフリクトがあるか確認します。メンバーシップコンフリクトの表示は、更新の直後に行うことをお勧めします。なぜなら、その時点ではプロジェクトメンバーがその時点でのプロジェクトの更新プロパティと一致しています。

### コンフリクト メッセージの定義

以下の表とそれに続くコンフリクト検出の説明では、次の定義を使用します。

- "「コンフリクト」は、次のいずれかの状況と定義します。
  - プロジェクトに含まれないと指定されたタスクに関連付けられたオブジェクトが含まれている。
  - プロジェクトに含まれると指定されたタスクに関連付けられたオブジェクトが含まれていない。
  - オブジェクトのタスク関係が期待したものに反する(たとえば、あるオブジェクトに関連付けられたタスクがないか、複数存在するなど)。
- "「明示的」とは、「直接依頼されている」、つまり[プロジェクトの更新プロパティ](#)に含まれていることを意味します。
- "「暗黙的」とは「間接的に依存または部分的に含まれる」こと、つまりプロジェクトの更新プロパティに含まれないことを意味します。

コンフリクト メッセージ	コンフリクトのデフォルト表示 / 非表示	説明
<b>コンフリクト区分：余分な変更</b>		
No task (タスクなし)	表示	オブジェクトバージョンは、暗黙的にこのプロジェクトに含まれていますが、タスクと関連付けられていません (このオブジェクトバージョンを明示的に含めることができません。そのためにはタスクが <a href="#">プロジェクトの更新プロパティ</a> に含まれる必要があるからです)。
Implicitly included (暗黙的に含まれる)	表示	オブジェクトバージョンは、明示的に指定されていませんが、プロジェクトに含まれています。タスクは暗黙的にプロジェクトに含まれます。
Included by "use" operation? ("use" 操作で含まれているか)	表示	オブジェクトバージョンは明示的に指定されておらず、暗黙的にも要求されていないため、更新で選択されることはありません。
Implicit task from explicit object (明示的オブジェクトからの暗黙的タスク)	表示	このタスクの関連オブジェクトには複数のタスクが割り当てられています。オブジェクトの関連タスクの少なくとも1つが明示的 (つまり、 <a href="#">プロジェクトの更新プロパティ</a> に含まれる) ですが、このタスクはそうではありません。
<b>コンフリクト区分：変更の欠落</b>		
Explicitly specified but not included (明示的に指定されているが含まれていない)	表示	タスクはプロジェクトによって明示的に指定されていますが含まれていません。
Explicitly specified but not included - newer (明示的に指定されているが含まれていない - より新しい)	表示	オブジェクトバージョンは、プロジェクトで明示的に指定されていますが、現在選択されているバージョンよりも新しいバージョンのオブジェクトです。タスクはプロジェクトによって明示的に指定されていますが含まれていません。
Implicitly required but not included (暗黙的に要求されているが含まれていない)	表示	タスクが暗黙的に要求されていますが、プロジェクトに含まれていません。
Implicitly required but not included - newer (暗黙的に要求されているが含まれていない - より新しい)	表示	オブジェクトバージョンは、暗黙的に要求されていますが、プロジェクトに含まれていません。これは、現在選択されているバージョンよりも新しいバージョンのオブジェクトです。

コンフリクト メッセージ	コンフリクトのデフォルト表示 / 非表示	説明
Implicitly required by multiple tasks - newer (複数のタスクによって暗黙的に要求されている - より新しい)	表示	オブジェクトバージョンは、暗黙的に要求されています。これは、プロジェクト内の別のオブジェクトが複数のタスクに関連しているという理由で暗黙的に含まれるタスクに、関連付けられているからです。コンフリクトのあるオブジェクトバージョンは含まれません。このオブジェクトバージョンは、現在プロジェクト内にあるオブジェクトバージョンよりも新しいです。
<b>コンフリクト区分：その他</b>		
Multiple Tasks (複数タスク)	非表示	オブジェクトバージョンは、プロジェクトに含まれ、複数のタスクに関連付けられています。
Implicitly required but before baseline (暗黙的に要求されているがベースラインより前)	非表示	オブジェクトバージョンは暗黙的に要求されていますが、ベースラインの直前バージョンです (これは暗黙的に含まれるため、実際にはコンフリクトではありませんが、処理上の問題となる可能性を示しています)。
Explicitly specified but before baseline (明示的に指定されているが、ベースラインより前)	非表示	オブジェクトバージョンは、プロジェクトで明示的に指定されていますが、ベースラインの直前バージョンです (これは暗黙的に含まれるため、実際にはコンフリクトではありませんが、処理上の問題となる可能性を示しています)。
Explicitly specified but object not in project (明示的に指定されているが、プロジェクトにオブジェクトがない)	非表示	オブジェクトバージョンはプロジェクトで明示的に指定されていますが、プロジェクト内にそのバージョンが1つもありません。これは、プロジェクト階層全体で同じ <a href="#">プロジェクトの更新プロパティ</a> が共有されているため、おそらく正常です。
Implicitly required but object not in project (暗黙的に要求されているが、プロジェクトにオブジェクトがない)	非表示	オブジェクトバージョンがプロジェクトに含まれるタスクを通して暗黙的に要求されていますが、プロジェクト内にそのバージョンがありません。これは、プロジェクト階層全体で同じプロジェクトの更新プロパティが共有されているため、おそらく正常です。
<b>コンフリクト区分：パラレル変更</b>		
Implicitly required but not included - parallel (暗黙的に要求されているが、含まれていない - パラレル)	表示	オブジェクトバージョンが暗黙的に要求されていますが、プロジェクトに含まれていません。そのバージョンは現在選択されているバージョンのパラレルバージョンで、マージが必要な場合があります。

コンフリクト メッセージ	コンフリクトのデフォルト表示/非表示	説明
Implicitly required by multiple tasks - parallel (複数のタスクで暗黙的に要求されている - パラレル)	表示	オブジェクトバージョンは暗黙的に要求されています。これは、プロジェクト内の別のオブジェクトが複数のタスクと関連しているという理由で暗黙的に含まれるタスクに、関連付けられているからです。コンフリクトのあるオブジェクトバージョンは含まれません。このオブジェクトバージョンは、現在プロジェクト内にあるオブジェクトバージョンの平行バージョンです。
Explicitly specified but not included - parallel (明示的に指定されているが、含まれていない - パラレル)	表示	オブジェクトバージョンはプロジェクトで明示的に指定されていますが、プロジェクトに含まれていません。そのバージョンは現在のバージョンの平行バージョンで、マージが必要な場合があります。
<b>コンフリクト区分：問題タスク</b>		
Excluded task explicitly included (除外タスクが明示的に含まれている)	表示	除外したタスクがプロジェクトのプロジェクトグループピングに含まれています。
Excluded task implicitly included (除外タスクが暗黙的に含まれている)	表示	除外したタスクがプロジェクトのプロジェクトグループピングに暗黙的に含まれています。
Completed fix task not included (完了修正タスクが含まれない)	表示	問題のあるタスクがプロジェクトのプロジェクトグループピングに含まれており、修正の完了している問題のないタスクが含まれていません。
Assigned fix task not included (割り当て済み修正タスクが含まれない)	非表示	問題のあるタスクがプロジェクトのプロジェクトグループピングに含まれており、修正のための <i>task_assigned</i> (割り当てタスク) された問題のないタスクが含まれていません。
Task fixed by task not included (タスクによって修正されたタスクが含まれていない)	表示	問題のあるタスクは、プロジェクトのプロジェクトグループピングに含まれませんが、問題のないタスクは含まれます。

### タスクとオブジェクトの関係

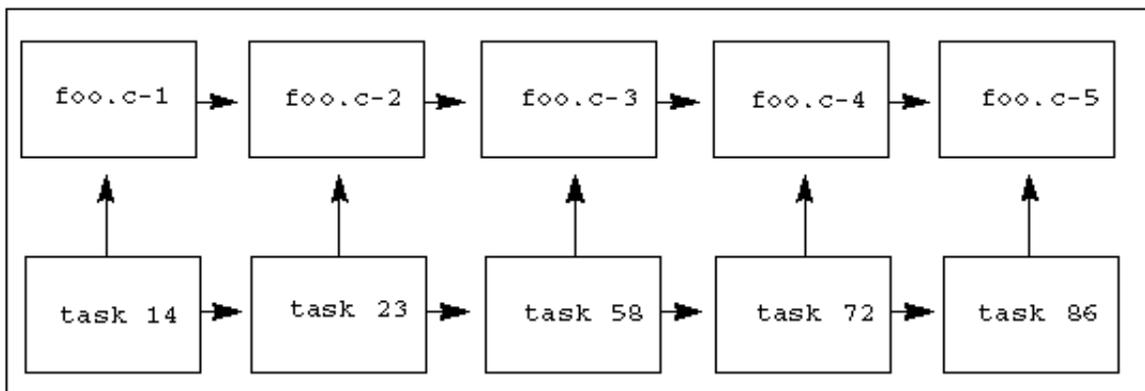
タスクと一連のオブジェクトバージョンは関係を持つことができます。Telelogic Synergy では一連のオブジェクトバージョンを1つのタスクと関連付けることができます。このタスクは、Telelogic Synergy にそれらのオブジェクトバージョンは一緒に使用する必要があり、互いの変更に依存することを知らせます。プロジェクトがタスクに関連する変更の一部のみ含む場合、そのプロジェクトはおそらくビルドに失敗します。あるいは、最悪の場合、実行に失敗します。

たとえば、関数のシグニチャを変更する場合は、その関数を呼び出すすべてのプログラムを更新してシグニチャを変更する必要があります。それらすべての変更は、まとめてプロジェクトに含めるか、全く含めないようにする必要があります。

### オブジェクトの履歴関係

タスクは、履歴関係を持ちますが、それはオブジェクトの履歴関係とは異なります。オブジェクトの履歴は、通常、数的に連続しています。タスクの履歴は、関連するファイルの履歴関係をベースにした単なる概念的な関係です。タスクは変更を完了するために必要なファイルをグループ化するため、タスクの履歴関係によって、現在の一連の変更は過去の一連の変更に依存することになります。

下図は、1つのオブジェクトと、オブジェクトの履歴を通してそのオブジェクトに関連する各タスクのバージョン履歴を示しています。



**foo.c** オブジェクトには5つのバージョンがあります。各バージョンは、異なるタスクと関連付けられています（各バージョンに関連するタスク番号がオブジェクトバージョンの下に表示されています）。

Telelogic Synergy は、オブジェクトバージョンの変更は、そのすべての直前オブジェクトバージョンの変更を含むものとみなします。したがって、上記の例では、バージョン3は、バージョン2と1の変更を含むものとみなします。

たとえば、バージョン2で関数のシグニチャを変更すると、バージョン3、バージョン4およびその後のすべてのバージョンはそのシグニチャの変更を含みます。変更は、他の変更の上に重なっていきます。他の変更の一部を取り除く変更でも、その履歴バージョンの上に積み重なります。ただし、**foo.c-3**の変更といった場合に、その変更とは**foo.c-2**に対しての変更ということになります。**foo.c-2**に変更を加えたのが**foo.c-3**であるからです。

---

## タスク依存関係

さらに、バージョン 3 はバージョン 1 と 2 からの変更を含むため、バージョン 3 の関連タスクはバージョン 1 と 2 に関連するタスクに依存するとみなされます。したがって、この例ではタスク 58 はタスク 23 と 14 に依存します。

### 明示的に指定された更新プロパティ

**foo.c-4** を含むプロジェクト **myproj-sue** を見てみましょう。

あるタスクがプロジェクトのプロジェクトグルーピングに含まれる場合、そのプロジェクトは、そのタスクに関連付けられたオブジェクトを含む必要があることを **明示的に指定** しています。たとえば、**myproj-sue** [プロジェクトの更新プロパティ](#) にタスク 72 と 23 が含まれる場合、それは、タスク 72 と 23 に関連付けられたオブジェクトバージョンを含む必要があることを明示的に指定しています。上記の図では、プロジェクトが明示的にタスク 72 と 23 を指定した場合、オブジェクトバージョン **foo.c-4** および **foo.c-2** も明示的に指定したことになります。

**foo.c-4** は、**foo.c-2** からの変更を含み、タスク 72 はタスク 23 に依存することを忘れないでください。

プロジェクトを更新すると、明示的に指定されたオブジェクトバージョンがその候補となります。更新は、もっとも適切な候補、通常は最新のものを選択します。したがって、この例では、**myproj-sue** はタスク 72 と 23 を使用して候補リスト **foo.c-4** と **foo.c-2** を決定し、最新候補として **foo.c-4** を選択します。したがって、このプロジェクトは **foo.c-4** と **foo.c-2** の両方からの変更を含みます。同じように、タスク 72 と 23 の両方からの変更も含みます。

### 暗黙的に指定された更新プロパティ

**myproj-sue** プロジェクトは **foo.c-4** を含むため、それはその [プロジェクトの更新プロパティ](#) が明示的に指定したタスク 72 を含みます。また、**foo.c-3** は **foo.c-4** の直前バージョンなので、プロジェクトは **foo.c-3** にも依存します。また、**foo.c-3** に関連するタスク 58 にも依存します。

ただし、タスク 58 (すなわち **foo.c-3**) が **myproj-sue** のプロジェクトの更新プロパティに明示的に指定されていないが変更はその履歴関係から含まれる場合、タスクとオブジェクトバージョンは両方ともプロジェクト内で **暗黙的に指定** されています。暗黙的に指定されたタスクに関連付けられたオブジェクトは、プロジェクトに自動的に含まれないことに注意してください。

## コンフリクト

プロジェクトをリリースする準備をしていると仮定します。あなたが、リリースはタスク 72 と 23 を含む必要があることを指定しましたが、タスク 58 を指定しなかったとします。ビルドを行った後、準備しているアプリケーションにタスク 58 が含まれていることに驚くかもし

---

れません。Telelogic Synergy は、あなたが依頼していないタスクが含まれることを警告できます。これをコンフリクトといいます。

コンフリクトにはいろいろな種類があります。プロジェクト内で **foo.c-5** を手動で使用したのに[プロジェクトの更新プロパティ](#)が明示的にタスク 86 を指定せず、明示的に指定したその他のタスクもタスク 86 に依存しない場合、それも一種のコンフリクトです。Telelogic Synergy は、あるオブジェクトバージョンがそのタスクを明示指定しないでプロジェクト内で使われているようだ、ということを警告できます。

もっと重大なコンフリクトもあります。

たとえば、チームは、どの変更がバグを修正したか知るのが困難なため、ファイルの 1 つのバージョンで 1 つ以上のバグを修正しないと決定します。さらに、あなたのチームは、各開発者は変更する各オブジェクトバージョンに 1 タスクのみ関連付ける必要があると決定します。この場合、もしリリース準備中のリリース内のオブジェクトバージョンが複数のタスクに関連付けられていたら、開発者にそれを止めさせるためにあらかじめ気が付く必要があります。もっとも、リリース準備をしているソフトウェアには必要な変更はすべて入っているので、さほど深刻なコンフリクトとはいえないでしょう。

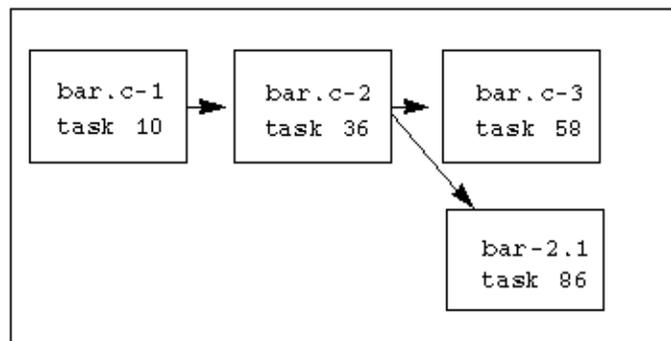
より重大なコンフリクトは、**どのタスクとも関連付けられていない**、暗黙的に含まれるオブジェクトバージョンです。

Telelogic Synergy は、どちらの種類のコフリクトについても警告できます。

### パラレル コンフリクト

もっとも重要なコンフリクト検出の 1 つに、パラレル オブジェクトバージョンの検出があります。

プロジェクトが明示的に変更を指定しているが、それが含まれない場合、それは重大なコンフリクトです。たとえば、2 つのパラレル オブジェクトが 2 つの異なるタスクと関連付けられていて、両タスクとも明示的に指定されている状態を考えてみましょう。この例では、**myproj-sue** に **bar.c-3** が含まれると仮定します。**bar.c** オブジェクトは、下図に示す履歴関係とタスク関連があります。



---

**myproj-sue** の [プロジェクトの更新プロパティ](#) は、タスク 58 と 86 が含まれるべきだと指定します。しかし、プロジェクトはタスク 58 に関連付けられている **bar.c-3** のみ含みます。パラレルブランチであるため、タスク 86 に関連付けられている **bar.c-2.1** も含むことは不可能です。**bar.c** のバージョンで、依頼した両方の変更を含むものはありません。これは、プロジェクトに含める必要があることがわかっているオブジェクトバージョンが欠落しているため、重大なコンフリクトです。

パラレルコンフリクトは変更の欠落を意味することもできますが、他の種類の変更の欠落もあります。

### 変更の欠落

**bar.c-2.1** を手動で **myproj-sue** プロジェクトに含めた場合にどうなるか考えてみましょう。タスク 58 と 86 両方の変更は、現在プロジェクト内にあるオブジェクトのバージョンよりも新しいため、明示的に指定されているにもかかわらず欠落します。

この変更は、明示的に指定されていますが欠落しています。[プロジェクトの更新プロパティ](#) に含まれるタスクがプロジェクトに含まれているかを確認して、欠落していることに気付くかもしれません。他の種類のコンフリクトは検出することがさらに困難です。

**myproj-sue** のプロジェクトの更新プロパティをリフレッシュして、タスク 86 と 58 ではなくタスク 86 と 36 を含めるとします。するとタスク 58 は明示的に指定されなくなります。タスク 86 は **foo.c-5** と関連付けられ、その直前バージョンはタスク 72 に関連付けられている **foo.c-4** です。したがって、タスク 86 は暗黙的にタスク 72 を含みます。あなたのプロジェクトが **foo.c-5** を含む場合、それは両方の変更を含み、何も問題ありません。しかし、**bar.c** はどうでしょうか。**bar.c-2.1** はタスク 86 に関連付けられているため明示的に指定されており、**bar.c-3** はタスク 58 (プロジェクトに暗黙的に含まれる) に関連付けられているため暗黙的に指定されています。したがって、今回もあなたのプロジェクトが依頼したすべての変更を含む **bar.c** のバージョンがありません。

### 大規模コンフリクト検出

次に、その履歴に多数のバージョンを持ち、それぞれ数百のオブジェクトメンバーを持つプロジェクトと数百のタスクを含むリリースを見てみましょう。どんなにチームが注意しても、プロジェクトが大きくなるにつれてエラーの可能性も増えます。たとえば、パラレル開発 (マージの見落とし) によるものや人的エラー (オブジェクト/タスク関連付けの見落とし) によるものがあります。解決方法は、エラーを見つけてビルドを行う前に修正することです。Telelogic Synergy は、大規模プロジェクトのコンフリクトを検出できるので、チームは、問題が大きくなる (ビルドを遅らせる) 前に解決できます。

Telelogic Synergy は、すべての履歴関係とタスク関係の知識を使用してこれらのコンフリクトを検出します。全体では 24 種類のコンフリクトを検出することができ、ほとんどはデフォルトで表示されます。他のものは重大ではないので、デフォルトでは表示されません。余分なコンフリクトを表示すると、実際にソフトウェアの信頼性に影響するコンフリクトに集中することが難しくなります。しかし、CM アドミニストレータは、**conflict\_parameters** モデル属性を変更することによってデフォルトで表示されるコンフリクトを変更できます。

---

Telelogic Synergy は、プロジェクトを分析してコンフリクトがあるか調べ、その後コンフリクトを表示します。

プロジェクトの大きさと特性によっては、コンフリクト検出に時間がかかることがあるため、コンフリクトを表示する最適な時期はあなたしかわかりません。ビルド管理プロジェクトの更新後、毎回ビルドマネージャがコンフリクトを表示します。開発者は、プロジェクトに問題を起こすパラレルバージョンや他のコンフリクトが含まれる疑いがなければ、コンフリクトを表示する必要がないかもしれません。

### ステップ ...

プロジェクトを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. コンフリクトを表示するプロジェクトまたはプロジェクトグルーピングを右クリックし、**メンバーシップ コンフリクトの検出**をポイントして、**プロジェクトのみ**または**プロジェクトとサブプロジェクト**のうち適切な方を選択します。

コンフリクトが検出されると、**メンバーシップ コンフリクト** ダイアログボックスが表示されます。

各コンフリクトは1つのカテゴリに含まれ、問題の原因を突き止めるのに役立つ具体的なコンフリクトメッセージを含みます。各コンフリクトの説明は、[コンフリクトメッセージの定義](#)表を参照してください。

2. コンフリクトを解決します。

#### 各コンフリクトの適切な解決方法を決定します。

以下のいずれかの方法で解決方法を選択します。

- コンフリクトを右クリックして適切な解決方法を選択する。

または

- コンフリクトを選択し、ツールバー内で適切な解決方法を表すアイコンを選択する。

Telelogic Synergy がコンフリクトを解決する選択肢を絞り込みます。解決するコンフリクトを選択すると、選択したコンフリクトに対して意味のある解決方法のみ有効になります。たとえば、**余分な変更**カテゴリのタスクと関連付けられているオブジェクトコンフリクトがある場合、推奨バージョンを使用するか、タスクをプロジェクトグルーピングに追加できます。他の解決方法もありますが、選択したコンフリクトに適しているのはこれらのみです。

1つ以上のコンフリクトを選択できますが、選択したものすべてに有効な操作のみ表示されます。選択したすべてのコンフリクトを解決する操作が無い場合は、各コンフリクトを個別に解決する必要があります。

---

Telelogic Synergy が自動的にコンフリクトの数を減らすもうひとつの方法として、同じコンフリクトが階層内の複数のプロジェクトで検出されてもプロジェクト グルーピングごとに一度だけそれを表示します。

**欠落した変更**または**余分な変更**カテゴリに複数のコンフリクトがある場合、をクリックして、これらすべてのオプションに**推奨バージョンを使用**オプションを使用できます。これにより、プロジェクトに対して更新を行った場合に持ち込まれるオブジェクトバージョンが使われます。すべてのコンフリクトを解決し、階層のすべてのメンバーを更新して再度コンフリクト検出を実行する準備ができるまでは、更新を行うよりもこの機能を使う方が安全かもしれません。

---

問題タスクカテゴリのコンフリクトがある場合、以下のいずれかの方法で解決できます。含まれないタスクによって修正されたタスクコンフリクトについては、修正タスクは[更新プロパティ](#)の一部ですが、修正されるタスクはそうではありません。以下のいずれかが有効な場合、解決方法として問題タスクをプロジェクト グルーピングに追加を選択します。

- 問題のあるタスクがプロジェクト グルーピングに必要な変更を含む。
- 問題のあるタスクは依然除外されているが、修正タスクが完了した時点で除外を解除する必要があった。

完了修正タスクが含まれないコンフリクトがある場合、問題のあるタスクは更新プロパティに含まれますが、修正タスクは含まれません。以下のいずれかが有効な場合、解決方法として問題タスクをプロジェクト グルーピングから削除を選択します。

- 問題のあるタスクは除外されているが、ユーザーがプロジェクト グルーピングの自動更新をオフにしているので問題のあるタスクが自動的に取り除かれていない。
- 修正タスクを作成したユーザーが、問題のあるタスクの除外を見落としている。
- まだ修正タスクが完了しておらず、部分修正は危険である。

プロジェクトまたはプロジェクトグルーピングが多数のコンフリクトを含む場合、コンフリクトをフィルタリングできます。をクリックし、メッセージなど、表示する条件を選択し（これで他の条件がフィルタリングされる）、リストボックスを使用して表示するコンフリクトメッセージを指定します。すべてのコンフリクトを表示するには、をクリックしてフィルタをオフを選択します。

フィルタリングするカラム内の固有な値が10個以下の場合、フィルタ値がリストボックスに表示されます。既存の値を追加できますが、そのフィールドに独自の値を入力することもできます。カラム内の固有な値が10個を超える場合は、それはテキストフィールドになり、フィルタリングを適用する値を入力できます。表示される条件のフィルタにJava正規表現を使用する方法については、[パターンマッチングと Telelogic Synergy](#) を参照してください。

いったんコンフリクトを解決すると、アクション済みカラムの対応するチェックボックスにチェックマークが付き、解決操作が行われたことを示します。対処する必要があるすべてのコンフリクトの解決を試みたら（チームプロセスによっては一部のコンフリクトが残る可能性があります）、もう一度更新とコンフリクト検出を行う準備ができたこととなります。それにはをクリックします。

コンフリクトを解決している最中およびその後は、一般的に以下の手順のいくつかを実行する必要があります。これらの手順を実行する順序は決まっていますが、以下はほとんどのユーザーに当てはまる作業フローです。

- [プロパティを表示する。](#)
- [オブジェクトの履歴を表示する。](#)

- 
- [パラレルバージョンを比較する。](#)
  - [2つのパラレルバージョンをマージする。](#)
  - [メンバーを更新して再度コンフリクト検出を行う。](#)
  - [再度メンバーシップ コンフリクト検出を行う。](#)
3. プロパティを表示する。  
コンフリクトを右クリックし、**プロパティ**を選択します。  
**プロパティ** ダイアログボックスにコンフリクトのあるオブジェクトのプロパティが表示されます。
  4. オブジェクトの履歴を表示する。  
コンフリクトを右クリックし、**履歴**を選択します。  
**履歴**ダイアログボックスが表示されます。ダイアログボックスの上部のアイコンを使用してパラレルバージョンの比較とマージを行うことができます。
  5. パラレルバージョンを比較する。  
コンフリクトを右クリックし、**比較**を選択します。  
**比較**ダイアログボックスに差分が表示されます。パラレルバージョンを比較すると、パラレルのマージが可能になります。
  6. 2つのパラレルバージョンをマージする。  
コンフリクトを右クリックし、**マージ**を選択します。  
**マージ**ダイアログボックスが表示されます。パラレルファイルをマージすると、マージ後のファイルが自動的にカレント タスクと関連付けられ、プロジェクトに置かれます。
  7. メンバーを更新して再度コンフリクト検出を行う。  
 をクリックし、この機能を使用してプロジェクトまたはプロジェクト グループのメンバーを更新して、再度コンフリクト検出を実行します。プロジェクトを更新する場合、**プロジェクトのみ**または**プロジェクトとサブプロジェクト**の更新を選択できます。プロジェクトグループを更新する場合、**すべてのプロジェクト**または**すべてのプロジェクトとサブプロジェクト**の更新を選択できます。  
これは、複数のコンフリクトを解決し、解決によって発生したメンバーシップ変更によってプロジェクトグループまたはプロジェクトグループを更新する準備ができたときに便利です。
  8. 再度メンバーシップ コンフリクト検出を行う。  
 をクリックして同じプロジェクトまたはプロジェクトに対してもう一度**メンバーシップ コンフリクトの検出**操作を行います。
-

---

この操作を実行して元のコンフリクトのリストをクリアし、プロジェクトまたはプロジェクト グループングに残っているコンフリクトを表示します。

メンバーシップ コンフリクト検出を実行して Telelogic Synergy がコンフリクトを返さなくなるか、プロジェクトで許されるコンフリクトのみ返すようになったら、製品のビルドを行う準備ができました。

#### 関連トピック

- [2つのファイルの比較](#)
- [パターンによるファイルの無視](#)
- [パターンマッチングと Telelogic Synergy](#)
- [パラレルバージョンの表示](#)
- [オブジェクトまたはリリースの履歴の表示](#)

## 深いコンフリクト検出の実行

コンフリクト検出は、プロジェクトのメンバーをその[更新プロパティ](#)と比較します。Telelogic Synergy は、[ベースライン](#)を使用して更新操作をスピードアップしますが、ベースライン作成時に使われるビルド管理プロジェクトにメンバーシップ コンフリクトがあると、それらのメンバーシップ コンフリクトは、ベースラインのユーザーから気づかれないままになる可能性があります。深いコンフリクト検出は、深い分析を行い、ベースラインの構成を確認します。

深いコンフリクト検出を選択した場合、プロセス ルールを使用するプロジェクトのコンフリクト検出のみ影響を受けます。プロジェクトのメンバーは、以下のように、ベースラインと多くのタスクの集まりと比較されます。

- プロジェクトのプロジェクトグルーピングのベースラインで処理されたタスクおよび手動で追加されたタスクが比較に使用される。
- ベースラインがプロジェクトと同じリリースを持つ場合、ベースラインのタスクも含まれる。

ベースライン内で、ベースライン作成操作によってベースラインのすべてのプロジェクトに含まれない可能性があるとして判断されたタスクは、追加されません。

### ステップ ...

1. メイン メニューでツールをクリックし、オプションを選択してオプション ダイアログを開きます。
2. アクションタブをクリックし、左のペインでメンバーシップ コンフリクトの検出をクリックします。
3. チェックボックスをクリックして深いコンフリクト検出の実行を選択します。
4. 変更を行った後デフォルトの設定に戻るには、デフォルト設定をクリックします。
5. 適用をクリックして変更を保存します。
6. 適切なプロジェクトグルーピングを右クリックし、メンバーシップ コンフリクトの検出を選択します。

### 関連トピック

- [パターンによるファイルの無視](#)
- [プロジェクト固有ディレクトリ テンプレートの修正](#)
- [プロジェクトまたはプロジェクト グルーピング内のメンバーシップ コンフリクトの解決](#)
- [プロジェクトの更新](#)
- [デフォルト ワークエリア パスの設定](#)

---

## ワークエリアとデータベースの同期

この手順により、ワークエリアのファイルをデータベースのファイルと比較し、差分を解決します。

この操作は、ファイル システム内のファイルをチェックアウトせずに手動で変更した場合や、ファイル システム内の変更によりプロジェクト更新が失敗した場合に有用です。ワークエリアを同期することにより、**ワークエリア コンフリクト** ダイアログボックスでコンフリクトを選択し、ファイル システム内のファイルとデータベース内のファイルの差分を比較できます。

以下の操作は、同期後にワークエリア コンフリクトを解決する方法を示します。

### ステップ ...

プロジェクトを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. 修正可能なプロジェクトを右クリックし、**ワークエリアの同期**をポイントして、**メンバーのみ**または**メンバーとサブプロジェクト**の適切な方を選択します。

コンフリクトが検出されると、**ワークエリア コンフリクト** ダイアログボックスが表示されます。

2. コンフリクトのリストを参照します。

3. コンフリクトを解決します。

コンフリクトは、ワークエリアの変更を破棄するか、ワークエリアの変更を保存する、または管理しないファイルが無視する、のいずれかの方法で解決できます。

#### ワークエリアの変更を破棄

ワークエリアの指定ファイルの変更を破棄する場合は、このアイコンをクリックします。ディレクトリを破棄すると、そのディレクトリとそのすべてのメンバーがワークエリアから削除されます。いずれの場合も、ワークエリアのファイルとディレクトリが最新のデータベース バージョンと置き換えられます。

#### ワークエリアの変更を保存

ワークエリアのディレクトリとファイルの変更をデータベースと同期させる場合は、このアイコンを選択します。ワークエリアにあってデータベースにはないファイルがデータベースに追加されるため、結果的に新しいファイルが追加されます。

#### Telelogic Synergy で管理しないファイルは無視

管理したくないファイルにコンフリクトがある場合は、[パターンによるファイルの無視](#)を選択できます。これを実行すると、**ワークエリアの同期**操作を実行後、指定したパターンのファイルがコンフリクトとして表示されないようにするフィルタが設定されます。

---

ファイルが無視するために使用されるパターンを表示または変更するには、をクリックします。

フィルタを設定した場合、もう一度同期を行って**ワークエリア コンフリクト** ダイアログボックスに表示される内容を最新の情報に更新する必要があります。

#### 関連トピック

- [2つのファイルの比較](#)
- [パラレルファイル/ディレクトリのマージ](#)

---

## 更新オプションの変更

更新オプションを使用してこの操作の働きを変更します。

### ステップ ...

1. メイン メニューで**ツール**をクリックし、**オプション**を選択して**オプション ダイアログ**を開きます。
2. **アクション**タブをクリックし、左のペインで**更新**をクリックします。
3. サブプロジェクトの設定を変更します。  
**更新**操作でサブプロジェクトを置き換えたくない場合は、**サブプロジェクトの置き換えを許可**チェックボックスを選択解除します。
4. **詳細メッセージを表示**チェックボックスを選択解除して**メッセージ ダイアログ**ボックスに表示されるメッセージ情報の詳細度を変更します。  
詳細メッセージには、**更新** 操作の詳細情報が表示されます。これは、特定のバージョンが選択された理由または選択されなかった理由を知りたい場合に便利です。
5. 更新操作を行うたびにメンバーシップ コンフリクトを検出するには、**プロジェクト更新後にメンバシップコンフリクトを検出**チェックボックスを選択します。
6. 変更を行った後デフォルトの設定に戻るには、**デフォルト設定**をクリックします。
7. **適用**をクリックして変更を保存します。

### 関連トピック

- [必須タスクの自動追加を停止](#)
- [パターンによるファイルの無視](#)
- [プロジェクト固有ディレクトリ テンプレートの修正](#)
- [プロジェクトの更新](#)
- [デフォルト ワークエリア パスの設定](#)

---

## パターンによるファイルの無視

この手順により、一定のパターンを持ったファイルが無視します。フィルタを設定すると、**ワークエリアの同期**操作実行後、指定したパターンの非管理ファイルがコンフリクトとして表示されなくなります。パターンを利用すると、一部の IDE によって作成された多数の一時ファイルが Telelogic Synergy データベースで管理されないようにできます。

### ステップ ...

1. メイン メニューで**ツール**をクリックし、**オプション**を選択して**オプション** ダイアログを開きます。
2. **アクション**タブをクリックし、左のペインで**ワークエリアの同期**をクリックします。
3. フィルタリストを変更します。

**データベース デフォルト**リストに、Telelogic Synergy が無視するファイルが一覧表示されます。このリストは、CM アドミニストレータによって設定され、すべてのユーザーによって共有されます。デフォルト リストに項目を追加したり、リストから項目を削除したりすることはできません。

**追加パターン**リストには、スクロールボックスに直接入力することにより、項目を追加できます。入力は 1 行に 1 パターンのみです。パターンを削除するには、ハイライト表示させて削除します。

また、パターン構文値を使用してさらにフィルタをカスタマイズすることもできます。構文は、標準のワイルドカード文字列と似ています。**\*** は任意の値 0 文字以上、**?** は任意の値 1 文字と一致し、**¥** (Windows) および **/** (UNIX) はディレクトリの区切りとなります。

たとえば、ディレクトリ名の後に **¥\*** が付いている場合は、ディレクトリとサブディレクトリのすべての内容と一致します (これは文字列の末尾に適用されます)。

以下に、パターンを使用してフィルタをカスタマイズする方法の例を示します。

- **myproj-me** プロジェクトの **tempfiles** サブディレクトリにフィルタを適用する場合  
**C:¥ccm\_wa¥mydb¥myproj-me¥myproj¥tempfiles¥\***
- 任意のプロジェクトの **tempfiles** サブプロジェクトにフィルタを適用する場合  
**tempfiles¥\***
- すべての **HTML** ファイルにフィルタを適用する場合  
**\*.html**
- **test** ディレクトリのすべての Java ファイルにフィルタを適用する場合  
**test¥\*.java**

---

チームのメンバーとフィルタを共有するには、CM アドミニストレータがデータベース デフォルトにフィルタを追加します。

4. 変更を行った後デフォルトの設定に戻るには、**デフォルト設定**をクリックします。
5. **適用**をクリックして変更を保存します。

#### 関連トピック

- [必須タスクの自動追加を停止](#)
- [更新オプションの変更](#)
- [ワークエリアとデータベースの同期](#)

---

## プロジェクトの更新プロパティの変更

更新プロパティは、プロジェクトの更新時に、どのオブジェクトバージョンを選択するかを決めるために使用するプロパティです。したがって、プロジェクトの更新プロパティを変更すると、プロジェクトのメンバーも変更することになります。

以下に、プロジェクトの更新プロパティを変更する方法を説明します。

- プロジェクトの更新方法を細かく制御したい場合は、特定のリリース向けのカスタムプロジェクトで使用されるベースラインとタスクの一覧を、手動で選択できます。詳細情報と手順については、[別のベースラインの使用](#)を参照してください。
- タスクをプロジェクト グルーピングに追加できます。これにより、プロジェクト グルーピングにビルドを進める上で必要な追加オブジェクトをすばやく集めることができます。逆に、タスクをプロジェクト グルーピングから削除することもできます。これにより、プロジェクト グルーピングはビルドを進める上で必要なオブジェクトだけをすばやく集めることができます。

以下の方法で、タスクをプロジェクト グルーピングに追加できます。

- タスクを右クリックする。これは、[プロジェクト グルーピングにタスクを追加](#)で説明しています。これは、[手動追加タスク](#)、[タスク](#)と[ベースライン](#)、または[ベースラインで処理されたタスク](#)を表示する必要がないユーザー用です。
- プロジェクト グルーピングを右クリックして、[プロジェクト グルーピング プロパティ](#) ダイアログボックスを開く。手順については、[タスクの追加](#)を参照してください。これは、手動で追加したタスク、タスクとベースライン、またはベースラインで処理されたタスクを表示および変更する必要があるユーザー用です。

以下の方法で、タスクをプロジェクト グルーピングから削除できます。

- タスクを右クリックする。手順については、[プロジェクト グルーピングからタスクを削除](#)を参照してください。
- プロジェクト グルーピングを右クリックして、[プロジェクト グルーピング プロパティ](#) ダイアログボックスを開く。手順については、[タスクの削除](#)を参照してください。

### タスクの追加

プロジェクト グルーピングは、プロジェクトを目的とリリース別にグループ化し、プロジェクトを更新するとき使用するタスクとベースラインを保持します。タスクをプロジェクト グルーピングに追加すると、プロジェクト グルーピングにビルドを進める上で必要なオブジェクトをすばやく集めることができます。

たとえば、開発者が **Insulated Development (個別開発)** プロジェクト グルーピングの作業を行っていてタスクを完了する準備ができたとします。しかし、その前にパラレルバージョンをマージする必要があります。彼は変更をマージし、その後マージしたばかり

---

のオブジェクトのタスクをプロジェクト グループに追加します。オブジェクトに関連するタスクをプロジェクト グループに追加したら彼はプロジェクトを更新してビルドを行います。

次に、ビルド マネージャがプロジェクト グループにタスクを追加する必要がある例を示します。ビルド マネージャは、おそらく最終の**システム テスト** ビルドを完了しました。SQE は、リリースする前に修正する必要がある問題を発見しました。開発側で問題を修正し、ビルド マネージャにタスクを渡します。彼は、タスクを**システム テスト** プロジェクトに追加し、もう一度ビルドを行います。

### ステップ ...

1. 適切なプロジェクト グループを右クリックし、**プロパティ**を選択します。

**プロパティ** ダイアログボックスが表示されます。

2. **タスク** タブをクリックします。

このタブには、このダイアログボックスまたは**タスク** コンテキスト メニューか**アクション** メイン メニューの**プロジェクト グループへ追加** オプションを使用してプロジェクト グループに手動で追加したタスクが表示されます。

プロジェクト グループ内には手動で追加したタスク以外のタスクもあることに注意してください。プロジェクト グループには、ベースラインを作成した後に完了したタスクも含まれます。

したがって、プロジェクト グループは以下のようなタイプのタスクを含むことができます。

- タスクはベースラインと関連付けられている。  
**ベースライン プロジェクト** タブをクリックしてからベースラインをダブルクリックして、これらのタスクを表示します。**プロパティ** ダイアログボックスの**タスク** タブにタスクが表示されます。
- タスクが[更新テンプレート](#)内にあるが、ベースライン内にはない。  
**タスク** タブをクリックして**ベースライン**で**処理されたタスク**リストにこれらのタスクを表示します。
- タスクを手動で追加している。  
**タスク** タブをクリックしてこれらのタスクを表示します (タスクを手動で追加すると、その必須タスクも追加されます)。

ベースライン上のどのタスクを使用するかを選択できます。

- ベースライン上のすべてのタスクを使用するには、**すべてを使用**をクリックします。

- 
- 使用するタスクを選択するには、適切な**使用**チェックボックスで各タスクをクリアまたは選択します。

### 3. タスクの追加ボタンをクリックします。

**タスクの選択**ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスを使用して、プロジェクト グループに追加するタスクを検索できます。

### タスクの削除

プロジェクト グループは、プロジェクトを目的とリリース別にグループ化し、プロジェクトを更新するとき使用するタスクとベースラインを保持します。タスクをプロジェクト グループから削除すると、プロジェクト グループにビルドを進める上で必要なオブジェクトだけをすばやく集めることができます。

タスクが手動で追加され、タスクが[更新テンプレート](#)によって自動的にプロジェクト グループに追加されている場合に、プロジェクト グループからタスクを削除できます。

### ステップ ...

1. **エクスプローラ** ペインの**プロジェクト** タブで、適切なプロジェクト グループを右クリックし、**プロパティ**を選択します。  
**プロパティ** ダイアログボックスが表示されます。
2. 削除するタスクがある場所に依じて、**タスク** タブをクリックして手動で追加したタスクまたはベースラインの上のタスクを表示します。
3. 削除するタスクを右クリックし、**プロジェクト グループから削除**を選択します。
4. [プロジェクトの更新](#)を行います。

### 関連トピック

- [タスクの作成](#)
- [ベースラインとタスクの更新](#)
- [タスクの除外](#)
- [修正タスクの作成](#)
- [ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正](#)
- [タスクのプロパティの修正](#)
- [ワークエリアとデータベースの同期](#)
- [プロジェクトの更新](#)
- [別のベースラインの使用](#)

- 
- [プロパティの表示](#)

## ベースラインを使用した変更

- [ベースラインとタスクの更新](#)
- [更新時のベースラインとタスクの変更の防止](#)
- [新規ベースラインの選択](#)
- [別のベースラインの使用](#)

---

## ベースラインとタスクの更新

デフォルトで、プロジェクトを更新すると Telelogic Synergy はプロジェクト グルーピングのベースラインとタスクを更新し、新しいタスクをベースに新しいメンバーを選択します。

**注意！** この操作による更新は恒久的です。プロジェクト グルーピング プロパティ ダイアログボックスから更新すると、元に戻すこともキャンセルすることもできません。ダイアログボックスでキャンセルしても更新はキャンセルされません。

### ステップ ...

- プロジェクト エクスプローラで、適切なプロジェクト グルーピングを右クリックし、プロパティを選択します。  
プロジェクト グルーピング プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
-  をクリックしてベースラインとタスクを最新の状態に更新します。

### 関連トピック

- [カレントタスクへ追加](#)
- [プロジェクトの更新プロパティの変更](#)
- [更新時のベースラインとタスクの変更の防止](#)
- [オブジェクトの再表示](#)
- [関連タスクの表示](#)

---

## 更新時のベースラインとタスクの変更の防止

デフォルトでは、プロジェクトを更新すると、Telelogic Synergy はプロジェクトグルーピングのベースラインとタスクを更新します。しかし、ベースラインとタスクの状態を更新したくない場合もあります。たとえば、単体テストの最中の開発者は、別の開発者による関連する変更は取り込みたいと考える一方で、新しいタスクは不要だと考えるでしょう。また、ビルドマネージャは、ビルド修正のためのタスクを追加したいと考える一方で、更新を実施したばかりなので新しいタスクを取り込みたくないと考えてでしょう。

ベースラインとタスクは、プロジェクト グルーピングの一部です。したがって、プロジェクトを更新するときにベースラインとタスクを更新したくない場合、プロジェクトが含まれるプロジェクト グルーピングで更新オプションをオフにできます。

### ステップ ...

- プロジェクト エクスプローラで、適切なプロジェクト グルーピングを右クリックし、**ベースラインとタスクの自動更新**を選択します。

これによってオプションの左側のチェックマークが選択解除されます。さらに、プロジェクト グルーピングの**プロパティ** ダイアログボックスを開くと、**自動更新** チェックボックスが選択解除されています。このチェックボックスは、選択するか、**プロジェクト エクスプローラ**でプロジェクト グルーピングを右クリックして**ベースラインとタスクの自動更新**を選択するまで、選択解除の状態になっています。

### 関連トピック

- [カレントタスクへ追加](#)
- [オブジェクトの再表示](#)
- [ベースラインとタスクの更新](#)
- [プロジェクト グルーピングからタスクを削除](#)
- [関連タスクの表示](#)

---

## 新規ベースラインの選択

開発者は、プロジェクトを **Custom Development** 目的を持つよう変更するか、**Custom Development** 目的の新規プロジェクトを作成すると、新規ベースラインを設定できます。これにより、新しいプロジェクト グルーピングが作成されます。開発者はプロジェクト グルーピング ベースラインを適切に設定する必要があります。

### ステップ ...

1. カスタム 目的と新規リリースを持つ[プロジェクトのコピー](#)を行います。
2. 新規プロジェクト グルーピングを右クリックし、**プロパティ**を選択します。  
プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
3. ベースラインを設定します。
  - a. **ベースライン プロジェクト** タブをクリックしてから**ベースライン選択**をクリックします。  
ベースライン選択ダイアログボックスが表示されます。デフォルトで、プロジェクト グルーピングのリリース (たとえば、**toolkit/2.0**) をベースに、結果フィールドにベースラインが表示されます。
  - b. ベースラインを選択し、**OK** ボタンをクリックします。
4. **OK** をクリックして変更を保存します。

### 関連トピック

- [ベースラインプロパティの修正](#)
- [別のベースラインの使用](#)

---

## 別のベースラインの使用

自分のプロジェクトの更新を完全に管理したい開発者は、目的が **Custom Development** に設定されているプロジェクト グループिंगを作成できます。すると、特定リリースの自分の全カスタムプロジェクトに使用するベースラインとタスクのリストを手動で選択できます。

たとえば、開発者が自分のプロジェクトを最新ベースラインとまったく同じ構成にして 4 つタスクを追加したい場合、目的を **Custom Development** に設定したプロジェクトを作成し、プロジェクト グループिंगのベースラインを最新リリースと一致するよう設定して 4 つのタスクを追加します（これは、ビルドマネージャの初期サポートなしでパッチを開発している少人数チームなどに便利です）。

別のベースラインを使用するのに必要な操作について説明します。

### ステップ ...

1. プロジェクトを変更し、目的をカスタムにします。
  - a. プロジェクトを右クリックし、**プロパティ**を選択します。  
**プロパティ** ダイアログボックスが表示されます。  
プロジェクトを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。
  - b. 目的を **Custom Development** に変更します。
  - c. **適用**をクリックして変更を保存します。
2. 適切なプロジェクト グループिंगを右クリックし、**プロパティ**を選択します。  
**プロパティ** ダイアログボックスが表示されます。
3. **ベースライン プロジェクト** タブをクリックして現在のベースラインを表示します。
4. プロジェクト グループINGの別の[ベースライン](#)を選択します。
  - a. **ベースライン選択**ボタンをクリックします。  
**ベースライン選択**ダイアログボックスが表示されます。デフォルトで、プロジェクト グループINGのリリース（たとえば、**toolkit/2.0**）をベースに、結果フィールドにベースラインが表示されます。
  - b. ベースラインを選択し、**OK** ボタンをクリックします。
5. プロジェクト グループINGに[タスクの追加](#)を行います。

### 関連トピック

- [ベースライン プロパティの修正](#)
- [新規ベースラインの選択](#)



## ファイルの変更

### [ファイル内容の変更](#)

- [チェックイン](#)
- [チェックアウト](#)
- [ファイル/ディレクトリ/サブプロジェクトの作成](#)
- [ファイルの編集](#)

### [ファイル配置の変更](#)

- [ディレクトリへの追加](#)
- [ファイルのタイプの変更](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [ファイルの移動](#)
- [プロジェクトファイルの名前変更](#)

## ファイル内容の変更

- [チェックイン](#)
- [チェックアウト](#)
- [ファイル/ディレクトリ/サブプロジェクトの作成](#)
- [ファイルの編集](#)

---

## チェックイン

この手順により、オブジェクトの変更を行った後チェックインを行います。これにより、他のユーザーがそのオブジェクトを使用できるようになります。

### ステップ ...

ファイル、ディレクトリ、プロジェクトを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

- チェックインするオブジェクトを右クリックし、**チェックイン**を選択します。

**チェックイン**操作の結果、[パラレルバージョン](#)が発生する場合、オブジェクトがチェックインされる前に警告メッセージが出ます。チェックインを続けるか、中止できます。

設定する必要がある必須属性を持つファイルをチェックインすると、**プロパティ** ダイアログボックスに、チェックインを行う前に設定する必要がある値が表示されます。必要な変更を行ってから**チェックイン**をクリックします。Telelogic Synergy は、変更を保存し、ファイルのチェックインを試みます。

ファイルまたはディレクトリをチェックインするときは、確認なしにチェックインが行われます。プロジェクトをチェックインするときは、チェックインを確認するよう要求されます。

### 関連トピック

- [カレントタスクの完了](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [パラレルファイル/ディレクトリのマージ](#)
- [2つのファイルバージョン](#)

## チェックアウト

この手順により、ファイルまたはディレクトリの新規バージョンをチェックアウトします。Telelogic Synergy により、ファイルがカレントタスクと関連付けられます。

**注記：**カレントタスクが設定されている必要があります。  
詳細については、[タスクの選択](#)を参照してください。

## ステップ ...

ファイルを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

- チェックアウトするファイルまたはディレクトリを右クリックし、**チェックアウト**を選択します。

## 関連トピック

- [チェックイン](#)
- [タスクの選択](#)

---

## ファイル／ディレクトリ／サブプロジェクトの作成

この手順により、[ファイル](#)、ディレクトリ、またはサブプロジェクトを作成します。

### ステップ ...

ディレクトリを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. 新しいファイル、ディレクトリ、またはサブプロジェクトを置くディレクトリを右クリックします。**メンバーの作成**をポイントし、**ファイル**、**ディレクトリ**、または**サブプロジェクト**のいずれかを選択します。

作成するオブジェクトの種類に対応するダイアログボックスが表示されます。

2. 新しいファイル、ディレクトリ、またはサブプロジェクトの名前を入力し、**OK** ボタンをクリックします。

### 関連トピック

- [ディレクトリへの追加](#)
- [カレントタスクへ追加](#)
- [プロジェクトの作成](#)
- [タスクの作成](#)
- [ファイルの編集](#)
- [プロジェクトファイルの名前変更](#)
- [タスクの選択](#)

## ファイルの編集

この操作により、ファイルの表示や修正を行うことができます。

注記：自分が変更可能なファイルのみ編集できます。

### ステップ ...

ファイルを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

- ファイルをダブルクリックします。

### 関連トピック

- [ディレクトリへの追加](#)
- [チェックアウト](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [プロジェクトファイルの名前変更](#)
- [プロジェクトの更新](#)
- [ファイルの別バージョンの使用](#)

---

## ファイル配置の変更

- [ディレクトリへの追加](#)
- [ファイルのタイプの変更](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [ファイルの移動](#)
- [プロジェクトファイルの名前変更](#)

## オブジェクトの削除

この操作を使用して、データベースから以下の 1 つまたは複数のオブジェクトを削除します。

- ファイル
- ディレクトリ
- フォルダ
- フォルダ テンプレート
- プロセス
- プロセス ルール
- プロジェクト
- タスク
- 保存クエリ
- リリース
- ベースライン
- プロジェクト グルーピング

ファイルの最初のバージョンを削除する場合は、ファイルは削除され、データベースからも削除されます。ファイルに祖先がある場合は、修正可能バージョンが削除され、祖先と置き換えられます。

**注記：**削除操作は、選択したオブジェクトをデータベースから完全に削除します。オブジェクトを削除せずに移動する場合は、**切り取り**を使用します。

### ステップ ...

オブジェクトを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。一度に同じ種類のオブジェクトを複数削除できます。

1. 削除するオブジェクトを右クリックし、**削除**を選択します。

**削除**ダイアログボックスが表示されます。

2. リストから削除するオブジェクト (1 つまたは複数) を選択します。

プロジェクトを表示する場合、**サブプロジェクトの削除**チェックボックスを選択してすべてのサブプロジェクトも削除することもできます。

プロジェクト グルーピングを削除する場合、プロジェクト グルーピング内のすべてのプロジェクトも削除されます。

---

ベースラインを削除して、ベースラインが削除されるようにマークされる場合、**オフライン保存と削除**機能を使用して取り除くよう設定できます。詳細については、Telelogic Synergy CLI ヘルプの [soad コマンド](#)を参照してください。

タスクを削除する場合、タスクに関連するオブジェクトは、**削除されません**。

リリースを削除する場合、リリースは使用中であってはなりません。

フォルダまたはフォルダ テンプレートを削除する場合、プロセス ルールがそれを使用していないことを確認してください（プロセス ルールが使用しているフォルダまたはフォルダ テンプレートは削除できません）。

プロセス ルールを削除する場合、プロセスがそれを使用していないことを確認してください。

プロセスを削除する場合は、そのプロセスがもはや不要になったことを確認してください。プロセスを削除しても、プロセスに関連するプロセス ルールは削除されません。

### 3. 削除をクリックします。

#### 関連トピック

- [ファイル システムへのプロジェクトのコピー](#)
- [プロジェクトの作成](#)
- [保存クエリの削除](#)
- [プロジェクト ファイルの名前変更](#)
- [更新の取り消し](#)

## ファイルの移動

この手順により、ファイルを別のディレクトリに移動します。

チェックアウトされたファイルやディレクトリはタスクと関連付けられます。これで、更新後のメンバーが正しく機能します。

### ステップ ...

1. 移動するファイルを右クリックし、**切り取り**を選択します。  
ファイルを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。
2. ファイルの移動先のディレクトリを選択します。
3. 適切なディレクトリを右クリックし、**貼り付け**を選択します。

### 関連トピック

- [オブジェクトの削除](#)
- [プロジェクトファイルの名前変更](#)
- [更新の取り消し](#)
- [ドラッグアンドドロップの使用](#)

---

## ディレクトリへの追加

以下の手順により、既存の[ファイル](#)、[ディレクトリ](#)、または[プロジェクト](#)をディレクトリに追加します。

### ステップ ...

ファイル、ディレクトリ、プロジェクトを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. 追加したいファイル、ディレクトリ、またはプロジェクトを右クリックし、**コピー**を選択します。
2. オブジェクトを追加するディレクトリを右クリックし、**貼り付け**を選択します。

### 関連トピック

- [オブジェクトのコピー](#)
- [ファイル/ディレクトリ/サブプロジェクトの作成](#)
- [プロジェクトの作成](#)
- [クエリの定義](#)
- [オブジェクトの使用箇所の検索](#)
- [オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ](#)
- [ドラッグアンドドロップの使用](#)

## プロジェクト ファイルの名前変更

この操作により、ファイルの名前を変更します。

ファイル名を変更するには、ファイルがチェックアウト済みで、修正可能なプロジェクトで使用されていない必要があります。同一ディレクトリ内の別のファイルと同じ名前を付けることはできません。

### ステップ ...

1. 名前を変更するファイルを右クリックし、**名前の変更**を選択します。  
ファイルを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。
2. 新しい名前を入力します。

### 関連トピック

- [ファイルのタイプの変更](#)
- [ファイルの移動](#)
- [ファイルの別バージョンの使用](#)

---

## ファイルのタイプの変更

Telelogic Synergy データベースにファイルを作成する際、拡張子によってファイル タイプが自動的に付加されます。たとえば、**foo.c** というファイルの場合は、Telelogic Synergy データベースで **csrc** というタイプになります。しかし、ファイルのタイプを変更しなければならない場合もあります。

### ステップ ...

ファイルを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. 修正可能なプロジェクトのメンバーであるファイルを選択します。

**注記：** 名前を変更するファイルは、修正可能であること、および 1 つのプロジェクトのメンバーであることが必要です。

2. **編集**メニューで、**タイプ変更**を選択します。
3. **タイプ変更**ダイアログボックスで新しいタイプを選択し、**了解**ボタンをクリックします。

ファイルが他のプロジェクトのメンバーでなければ、タイプが変更されます。

### 関連トピック

- [オブジェクトまたはリリースの履歴の表示](#)
- [プロパティの表示](#)



## タスクの作業

### 日常のタスク

- [タスクの選択](#)
- [カレントタスクの完了](#)
- [タスクの割り当て](#)
- [タスクの作成](#)
- [タスクの除外](#)
- [カレントタスクへ追加](#)
- [タスクをオブジェクトに追加またはオブジェクトから削除](#)
- [フォルダへのタスクの追加](#)
- [自分に割り当てられたタスクの表示](#)
- [関連タスクの表示](#)

### タスクの修正

- [タスクを指定して別タスクを修正](#)
- [修正タスクの作成](#)
- [プロジェクト グルーピングからタスクを削除](#)
- [プロジェクト グルーピングにタスクを追加](#)

### タスクと変更依頼

- [変更依頼に自動的に関連付けられるタスクの作成](#)
- [ファイルまたは変更依頼のタスクからの削除](#)
- [関連タスクの変更依頼の表示](#)
- [変更依頼の解決](#)
- [必須タスクの自動追加を停止](#)

## 日常のタスク

- [タスクの選択](#)
- [カレントタスクの完了](#)
- [タスクの割り当て](#)
- [タスクの作成](#)
- [タスクのコピー](#)
- [タスクの除外](#)
- [カレントタスクへ追加](#)
- [タスクをオブジェクトに追加またはオブジェクトから削除](#)
- [フォルダへのタスクの追加](#)
- [自分に割り当てられたタスクの表示](#)
- [関連タスクの表示](#)

---

## タスクの選択

この手順により、[カレントタスク](#)を変更します。カレントタスク設定後、作成または変更した**すべての**ファイルとディレクトリが Telelogic Synergy によってカレントタスクと関連付けられます。

クエリの結果を利用して[タスクのプロパティの修正](#)や[ファイルまたは変更依頼のタスクからの削除](#)を行うことができます。

### ステップ ...

1. 割り当てられたタスクを探すには、**タスク** エクスプローラを開き、**自分に割り当てられたタスク**の下タスクを見ます。
2. 選択するタスクを右クリックし、**カレントタスクとして設定**を選択します。  
これで、そのタスクの作業ができるようになります。

### 関連トピック

- [カレントタスクへ追加](#)
- [タスクの割り当て](#)
- [タスクの作成](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [タスクのプロパティの修正](#)
- [自分に割り当てられたタスクの表示](#)

## カレント タスクの完了

この手順により、[カレント タスク](#)を完了し、関連ファイルとディレクトリをチェックインします。

カレント タスクを完了すると**カレント タスク**ツールバーに表示されなくなり、変更もできなくなります。

### ステップ ...

1. 完了するタスクがカレント タスクであることを必ず確認してください。

カレント タスクはメイン メニューバーの下に表示されます。完了するタスクがカレント タスクとして設定されていない場合は、[タスクの選択](#)を参照して設定します。

2. **カレント タスク** ツールバーで  をクリックします。

コンフリクトがなければ、確認ダイアログボックスが表示され、タスクを完了できません。

カレント タスクがパラレルバージョンを持つオブジェクトに関連している場合、**パラレル** ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスからオブジェクトどうしを比較およびマージするか、マージを省略して**完了**をクリックすることでチェックインを完了できます。

チームが採用している方法論が、タスクが変更依頼と関連していることを要求し、タスクの属性が設定されていない場合は、**タスク プロパティ** ダイアログボックスが表示されます。設定されていない属性を入力し、もう一度タスクを完了してください。

### 関連トピック

- [カレント タスクへ追加](#)
- [タスクの割り当て](#)
- [タスクの作成](#)
- [タスクのプロパティの修正](#)
- [クエリの定義](#)
- [タスクの選択](#)
- [割り当てられた変更依頼の表示](#)
- [自分に割り当てられたタスクの表示](#)

---

## タスクの割り当て

この手順により、タスクを割り当てます。開発者は、自分で作成したタスクを自分に割り当てます。

### ステップ ...

タスクを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. タスクを右クリックし、**プロパティ**を選択します。

**プロパティ** ダイアログボックスが表示されます。

2. 新しい担当者の名前を**担当者**リストから選択します。

これでタスクを解決するユーザーが変更されます。新しい担当者は、タスクが割り当てられた旨のメールを受信します。ダイアログボックスに表示される他の属性は変わりません。

タスクが自分のカレント タスクの場合は、**カレント タスク** ツールバーから削除されます。したがって、続行するには新しいカレント タスクを設定する必要があります。詳細については、[タスクの選択](#)を参照してください。

### 関連トピック

- [カレントタスクの完了](#)
- [タスクを指定して別タスクを修正](#)
- [タスクの作成](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [タスクの除外](#)
- [クエリの定義](#)
- [タスクの選択](#)
- [関連タスクの変更依頼の表示](#)
- [自分に割り当てられたタスクの表示](#)
- [関連タスクの表示](#)

## タスクの作成

この手順により、タスクを作成します。タスクを作成すると、自動的に割り当てられ、カレント タスクとして設定されます。

タスクを作成してそれを自動的に変更依頼と関連付けたい場合は、[変更依頼に自動的に関連付けられるタスクの作成](#)を参照してください。

### ステップ ...

1. **カレント タスク** ツールバーで  をクリックします

**タスクの作成** ダイアログボックスに、チームの CM アドミニストレータが追加したカスタム フォーマットを含め、タスクを完了するために必要なすべてのフィールドが表示されます。

2. タスクの概要を入力します。
3. タスクを完了するために行う作業の説明を入力します。
4. タスクのリリースを **リリース** リストから選択して設定します。
5. 担当者の名前を **担当者** リストから選択します。

これでタスクを担当するユーザーが指定されます。担当者は、タスクが割り当てられた旨のメールを受信します。

6. 必要に応じて他のプロパティを入力します。
7. 変更依頼 ID を入力するか、 をクリックして、変更依頼をカレント タスクに関連付けます。

**変更依頼の選択** ダイアログボックスが表示されます。適切な変更依頼を選択して **OK** をクリックします。 **変更依頼** フィールドに変更依頼 ID が表示されます。

8. チームが Telelogic Synergy Distributed を使用する場合、**修正可能 DB** リストボックスを使用してタスクを別のデータベースのユーザーに割り当てることができます。  
適切なデータベースを選択し、**担当者** リストで担当者名を変更します。

9. **OK** をクリックします。

**注記:** 問題タスクを修正するためにタスクを作成した場合、このタスク（修正タスク）と問題タスクとの間に関係を作る必要があります。詳細については、[タスクを指定して別タスクを修正](#)を参照してください。

### 関連トピック

- [カレント タスクへ追加](#)
- [タスクの割り当て](#)

- 
- [カレントタスクの完了](#)
  - [オブジェクトの削除](#)
  - [タスクの除外](#)
  - [クエリの定義](#)
  - [セッション中に選択を最新の状態に更新](#)
  - [タスクの選択](#)
  - [関連タスクの変更依頼の表示](#)
  - [自分に割り当てられたタスクの表示](#)

## タスクのコピー

この手順により、タスクをコピーします。タスクをコピーすると、自動的に自分に割り当てられ、カレント タスクとして設定されます。

### ステップ ...

タスクを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. 適切なタスクを右クリックし、**タスクのコピー**を選択します。

**タスクのコピー** ダイアログボックスに、チームの CM アドミニストレータが追加したカスタム フォーマットを含め、タスクを完了するために必要なすべてのフィールドが表示されます。ダイアログボックスのすべてのフィールドには、コピー元のタスクの情報が入ります。

2. タスクの新しい概要を入力します。
3. タスクを完了するために行う作業の説明を入力します。
4. 必要に応じて、タスクのリリースを**リリース**リストから選択して変更します。
5. 必要に応じて担当者の名前を**担当者**リストから選択して変更します。

これでタスクを担当するユーザーが指定されます。担当者は、タスクが割り当てられた旨のメールを受信します。

6. 必要に応じて他のプロパティを入力します。
7. 新しい変更依頼 ID を入力するか、 をクリックして、カレント タスクに関連付けられている変更依頼を変更します。

**変更依頼の選択** ダイアログボックスが表示されます。適切な変更依頼を選択して **OK** をクリックします。**変更依頼** フィールドに変更依頼 ID が表示されます。

8. チームが Telelogic Synergy Distributed を使用する場合、**修正可能 DB** リストボックスを使用してタスクを別のデータベースのユーザーに割り当てることができます。

適切なデータベースを選択し、**担当者**リストで担当者名を変更します。

9. **OK** をクリックします。

**注記:** 問題タスクを修正するためにタスクを作成した場合、このタスク（修正タスク）と問題タスクとの間に関係を作る必要があります。詳細については、[タスクを指定して別タスクを修正](#)を参照してください。

### 関連トピック

- [カレント タスクへ追加](#)
- [タスクの割り当て](#)

- 
- [カレントタスクの完了](#)
  - [タスクの作成](#)
  - [オブジェクトの削除](#)
  - [タスクの除外](#)
  - [クエリの定義](#)
  - [セッション中に選択を最新の状態に更新](#)
  - [タスクの選択](#)
  - [関連タスクの変更依頼の表示](#)
  - [自分に割り当てられたタスクの表示](#)

## タスクの除外

タスクを除外すると、どのプロジェクト グループでも、自動的に使用されなくなります。これにより、たとえば、ビルドを破壊するオブジェクトがプロジェクト内で使用されるのを防ぎます。

ビルド マネージャは、まずこのオプションを使用して他のチーム メンバーが問題タスクを受け取るのを防いでから[タスクを指定して別タスクを修正](#)することができます。あるいは、ビルド マネージャはリリースから取り除かれる機能を含むタスクを除外することができます。この場合、修正タスクを作る必要はありません。

完了したタスクのみ除外できます。

### ステップ ...

- 適切な完了タスクを右クリックし、**除外**を選択します。  
これでタスクが除外されます。タスクアイコンの上に小さな赤い x が表示されます。  
タスクを除外しない場合、タスクを右クリックして**除外の取消し**を選択します。

### 関連トピック

- [タスクの割り当て](#)
- [カレントタスクの完了](#)
- [修正タスクの作成](#)
- [タスクを指定して別タスクを修正](#)
- [オブジェクトの検索](#)
- [クエリの定義](#)
- [タスクの選択](#)
- [関連タスクの変更依頼の表示](#)
- [自分に割り当てられたタスクの表示](#)

---

## カレント タスクへ追加

この手順により、特定のファイル、ディレクトリ、プロジェクト、または変更依頼をカレント タスクに追加します。

### ステップ ...

ファイル、ディレクトリ、プロジェクト、または変更依頼を検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

- カレント タスクに追加するファイル、ディレクトリ、プロジェクト、または変更依頼を右クリックし、**カレント タスクへ追加**を選択します。

ファイル、ディレクトリ、プロジェクト、または変更依頼がカレントタスクに追加されます。

ファイル、ディレクトリ、プロジェクト、または変更依頼をカレントタスクから削除するには、同じファイル、ディレクトリ、プロジェクト、または変更依頼を右クリックし、**カレント タスクから削除**を選択します。

Telelogic Change を使用している場合、現在作業をしているタスクに変更依頼の追加が必要になることもあり得ます。Telelogic Synergy と Telelogic Change は、顧客の変更依頼から修正方法の詳細を示すタスクまで、修正に必要な情報を実際に修正の対象となるファイルと結びつけられるように連動します。

### 関連トピック

- [フォルダへのタスクの追加](#)
- [カレント タスクの完了](#)
- [タスクの作成](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [クエリの定義](#)
- [タスクの選択](#)
- [割り当てられた変更依頼の表示](#)
- [自分に割り当てられたタスクの表示](#)

## フォルダへのタスクの追加

通常、ユーザーが手動でタスクをフォルダへ追加する必要はありません。しかし、特殊な状況が発生する場合があります。たとえば、開発者は、DCM を使用して他のサイトに転送するためにビルド マネージャに渡すフォルダに、タスクを追加する場合があります。また、ビルド マネージャは、手動で入力したホット リストのためにフォルダを共有する場合に、手動でタスクをフォルダへ追加します。

### ステップ ...

- **タスク** エクスプローラで、フォルダへ追加するタスクを右クリックし、**フォルダに追加**を選択します。  
フォルダ**選択**ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで、タスクを追加するフォルダを検索します。

### 関連トピック

- [カレントタスクへ追加](#)
- [タスクの作成](#)
- [自分に割り当てられたタスクの表示](#)
- [関連タスクの表示](#)

---

## タスクをオブジェクトに追加またはオブジェクトから削除

以下では、[タスクをオブジェクトに追加](#)または[オブジェクトに関連付けられたタスクを削除](#)する方法を説明しています。

### タスクをオブジェクトに追加

#### ステップ ...

1. 適切なオブジェクトを右クリックし、**プロパティ**を選択します。  
プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
2. **タスク** タブをクリックします。
3. **タスクの追加** ボタンをクリックします。  
タスクの**選択** ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで、オブジェクトに追加するタスクを検索します。
4. **OK** をクリックして変更を適用します。

### オブジェクトに関連付けられたタスクを削除

#### ステップ ...

1. 適切なオブジェクトを右クリックし、**プロパティ**を選択します。  
プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
2. **タスク** タブをクリックします。
3. 変更可能なタスクを右クリックし、**切り取り**を選択します。
4. **OK** をクリックして変更を適用します。

## 自分に割り当てられたタスクの表示

次の手順に従って特定のリリースで自分に割り当てられたすべてのタスクを表示します。

ステップ ...

- **タスク** エクスプローラで**自分に割り当てられたタスク**をクリックします。

関連トピック

- [カレントタスクへ追加](#)
- [カレントタスクの完了](#)
- [タスクの作成](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [クエリの定義](#)
- [プロジェクトグルーピングからタスクを削除](#)
- [タスクの選択](#)
- [割り当てられた変更依頼の表示](#)
- [関連タスクの表示](#)

---

## 関連タスクの表示

この手順により、ファイル、ディレクトリ、プロジェクト、変更依頼と関連付けられたタスクを表示します。

### ステップ ...

ファイル、ディレクトリ、プロジェクト、または変更依頼を検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

- 適切なファイル、ディレクトリ、プロジェクト、または変更依頼を右クリックし、**タスク プロパティ**を選択します。  
プロパティ ダイアログボックスに関連タスクのプロパティが表示されます。

### 関連トピック

- [2つのファイルの比較](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [パラレルファイル/ディレクトリのマージ](#)
- [パラレルバージョンの表示](#)



## タスクの修正

- [タスクを指定して別タスクを修正](#)
- [修正タスクの作成](#)
- [プロジェクトグルーピングからタスクを削除](#)
- [プロジェクトグルーピングにタスクを追加](#)

---

## タスクを指定して別タスクを修正

この操作は、2つの無関係なタスクを作成した後、一方を修正するためにもう一方が必要なことがわかったとき使用します。この手順は、たとえばコンフリクトの検知などを目的に、2つの無関係なタスク間に必要な関係を作成する方法です。

この関係は、[「このタスクが修正するタスク」テーブルの使用](#)によって問題（破損）タスクから作ることもできれば、[「このタスクを修正するタスク」テーブルの使用](#)によって修正タスクから作ることもできます。

### 「このタスクが修正するタスク」テーブルの使用

タスクを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

#### ステップ ...

1. 修正タスクを右クリックし、**プロパティ**を選択します。  
修正タスクの状態は、*working*（作業中）または *completed*（完了）が可能です。  
**プロパティ** ダイアログボックスが表示されます。
2. **タスク修正**タブをクリックします。
3. **このタスクが修正するタスク** テーブルでプラス記号をクリックします。  
**タスクの選択**ダイアログボックスが表示されます。このダイアログで、修正タスクに追加する問題タスクを検索します。  
修正タスクは、修正対象の問題タスクと特別な関係を持つ通常のタスクです。これらのタスクは、互いに依存関係を持つようになります。
4. **OK** をクリックして変更を保存します。

### 「このタスクを修正するタスク」テーブルの使用

タスクを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

#### ステップ ...

1. 問題タスクを右クリックし、**プロパティ**を選択します。  
問題タスクの状態は、*completed*（完了）または *excluded*（除外）でなければなりません。  
**プロパティ** ダイアログボックスが表示されます。
2. **タスク修正**タブをクリックします。
3. **このタスクを修正するタスク** テーブルでプラス記号をクリックします。

---

**タスクの選択**ダイアログボックスが表示されます。このダイアログで、問題タスクに追加する修正タスクを検索します。

修正タスクを作成する必要がある場合、**修正タスクの作成**をクリックして**修正タスクの作成**ダイアログボックスを開き、修正タスクを作成できます。この方法で修正タスクを作成すると、修正タスクと問題タスクの間に関係ができ、修正タスクが自動的にカレントタスクとして設定されます (**修正タスクの作成**ダイアログボックスの詳細については、[修正タスクの作成](#)を参照してください)。

修正タスクは、修正対象の問題タスクと特別な関係を持つ通常のタスクです。これらのタスクは、互いに依存関係を持つようになります。

4. **OK** をクリックして変更を保存します。

#### 関連トピック

- [修正タスクの作成](#)
- [タスクの作成](#)
- [タスクの除外](#)
- [タスクのプロパティの修正](#)

---

## 修正タスクの作成

破損タスクは、以下の理由で発生します。

- 完了したタスクが変更依頼を完全に修正していない。
- 完了したタスクが修正が必要なバグを作成した。

いずれの場合にも、次のような状況が想定できます。完了すべきタスクがあります。カレントタスクに設定し、タスク完了に必要なすべてのオブジェクトをチェックアウトし、作業を行いました。そしてカレントタスクと関連するすべてのオブジェクトを完了しました。その後、完了したばかりのタスクに問題を発見しました。

以下に、問題タスクを修正する作業の流れを説明します。

1. 既存のタスクを修正するもっともよい方法を確認します。
2. 既存のタスクを修正するタスクを作成します (**修正タスクの作成**ダイアログボックスを使用)。これにより、修正タスクと問題タスクの間の関係が自動的に作成されます。

タスクを作成すると、自動的に割り当てられ、カレントタスクとして設定されます。

修正タスクは、修正する完了したタスクまたは除外 (破損) タスクと特別な関係を持つ通常のタスクです。以下に説明するとおり、これらのタスクには、互いに依存する必要がある場合と、一緒に使用できない場合があります。

問題タスクがその原因となる問題とは無関係の正しい変更を含み、それをビルドに含める必要がある場合、除外 (破損) タスクを適切なプロジェクト グルーピングに戻す必要があります。つまり、問題タスクとそれを修正するタスクの両方が、ともにビルドに含まれることとなります。修正タスクを作成し、修正タスクと問題タスクの間に関係を作成し、そして修正タスクを完了したら問題タスクの除外を取り消す必要があります (手順については、[タスクの除外](#)を参照してください)。

除外したタスクが製品に悪影響を及ぼす変更を含んでおり、かつ修正タスクがこの悪影響を修正する変更を含む場合は、除外したタスクを再度取り込む必要はありません。

3. 問題タスクを修正する作業を完了します。
4. 修正タスクとすべての関連オブジェクトを完了します。

**タスクの作成**ダイアログボックスを使用して修正タスクを作成した場合、修正タスクと問題タスクの間の関係を作る必要があります。説明については、[タスクを指定して別タスクを修正](#)を参照してください。

ステップ ...

1. 完了したタスクまたは修正する除外タスクを右クリックし**修正タスクの作成**をクリックします。

**修正タスクの作成**ダイアログボックスが表示されます。

- 
2. タスクの説明を入力します。
  3. タスクのリリースをリリースリストに設定します。
  4. 担当者ではない場合、**担当者**リストにタスクの担当者を設定します。
  5. 必要に応じて他のプロパティを入力します。
  6. 変更依頼 ID を入力するか、 をクリックして、変更依頼をカレントタスクに関連付けます。

**変更依頼の選択**ダイアログボックスが表示されます。適切な変更依頼を選択して **OK** をクリックします。**変更依頼** フィールドに変更依頼 ID が表示されます。

7. 必要に応じて、**タスクの除外** タスクチェックボックスを変更します。

開発者またはチームリーダーは、まずこのオプションを設定して他のチームメンバーが問題タスクを受け取るのを防ぐことができます。たとえば、チームリーダーが統合ビルドに失敗した場合、問題タスクを調べ、開発者に修正タスクを割り当ててから問題タスクを除外します。その後、彼は更新を行ってプロジェクトから問題タスクのオブジェクトを削除してもう一度ビルドを行います。

**更新**または**ベースラインとタスクの再表示**操作を行ったとき、タスクを誰のプロジェクトグルーピングとも関連付けたくない場合にこのオプションを設定します。

8. **OK** をクリックします。

#### 関連トピック

- [カレントタスクへ追加](#)
- [タスクの割り当て](#)
- [カレントタスクの完了](#)
- [タスクを指定して別タスクを修正](#)
- [タスクの作成](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [タスクの除外](#)
- [クエリの定義](#)
- [タスクの選択](#)
- [関連タスクの変更依頼の表示](#)
- [自分に割り当てられたタスクの表示](#)

---

## プロジェクト グループングからタスクを削除

タスクをプロジェクト グループングから削除できます。これにより、プロジェクト グループングがビルドを進める上で必要なオブジェクトだけをすばやく集めることができます。以下の操作は、これをタスクから行う方法を示します。別の方法としてプロジェクト グループングから行うこともできます。操作は、[プロジェクトの更新プロパティの変更](#)で説明しています。この方法は、[手動追加タスク](#)、タスクとベースライン、または[ベースラインで処理されたタスク](#)の表示と修正を行う必要があるユーザーを対象としています。

### ステップ ...

タスクを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. タスクを右クリックし、**プロジェクト グループングから削除**を選択します。  
プロジェクト グループング選択ダイアログボックスが表示されます。
2. タスクを削除するプロジェクト グループングを選択します。
3. **OK** をクリックします。

### 関連トピック

- [プロジェクト グループングにタスクを追加](#)
- [タスクの作成](#)
- [修正タスクの作成](#)
- [タスクの除外](#)
- [ファイルまたは変更依頼のタスクからの削除](#)
- [関連タスクの表示](#)

---

## プロジェクト グループिंगにタスクを追加

タスクをプロジェクト グループिंगに追加できます。これにより、プロジェクト グループिंगにビルドを進める上で必要な追加オブジェクトをすばやく集めることができます。以下の操作は、これをタスクから行う方法を示します。別の方法としてはプロジェクト グループングから行うこともできます。操作は、[プロジェクトの更新プロパティの変更](#)で説明しています。この方法は、[手動追加タスク](#)、タスクとベースライン、または[ベースラインで処理されたタスク](#)の表示と修正を行う必要があるユーザーを対象としています。

### ステップ ...

タスクを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. タスクを右クリックし**プロジェクト グループングへ追加**を選択します。  
プロジェクト グループング選択ダイアログボックスが表示されます。
2. タスクを追加するプロジェクト グループングを選択します。
3. **OK** をクリックします。

### 関連トピック

- [修正タスクの作成](#)
- [タスクの作成](#)
- [タスクの除外](#)
- [ファイルまたは変更依頼のタスクからの削除](#)
- [プロジェクト グループングからタスクを削除](#)
- [関連タスクの表示](#)



## タスクと変更依頼

- [変更依頼に自動的に関連付けられるタスクの作成](#)
- [ファイルまたは変更依頼のタスクからの削除](#)
- [関連タスクの変更依頼の表示](#)
- [変更依頼の解決](#)
- [必須タスクの自動追加を停止](#)

---

## 変更依頼に自動的に関連付けられるタスクの作成

この手順により、タスクを作成し、それを自動的に変更依頼に関連付けます。この方法でタスクを作成すると、自身に自動的に割り当てられ、変更依頼に関連付けられ、変更依頼の概要を与えられ、カレントタスクとして設定されます。

新規タスクへの変更依頼の関連付けを作成したくない場合は、[タスクの作成](#)を参照してください。破損しているタスクを修正するには、[修正タスクの作成](#)を参照してください。

### ステップ ...

1. **変更依頼** エクスプローラで適切な変更依頼を右クリックし、**タスクの作成**を選択します。  
**タスクの作成** ダイアログボックスが表示されます。
2. タスクを完了するために行う作業の説明を入力します。
3. タスクのリリースを **リリース** リストから選択して設定します。
4. 別の人に割り当てる場合は、**担当者** リストの担当者名を変更します。
5. 必要に応じて他のプロパティを入力します。
6. チームが Telelogic Synergy Distributed を使用する場合、**修正可能 DB** リストボックスを使用してタスクを別のデータベースのユーザーに割り当てることができます。  
適切なデータベースを選択し、**担当者** リストで担当者名を変更します。
7. **OK** をクリックします。

### 関連トピック

- [カレントタスクへ追加](#)
- [タスクの割り当て](#)
- [カレントタスクの完了](#)
- [修正タスクの作成](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [タスクの除外](#)
- [クエリの定義](#)
- [タスクの選択](#)
- [タスクを指定して別タスクを修正](#)
- [関連タスクの変更依頼の表示](#)
- [割り当てられた変更依頼の表示](#)

---

## ファイルまたは変更依頼のタスクからの削除

この操作により、指定タスクからの[ファイルの削除](#)または[変更依頼の削除](#)を実行します。

### ファイルの削除

タスクを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

#### ステップ ...

1. 適切なタスクを右クリックし、**プロパティ**を選択します。  
プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
2. **オブジェクト** タブを選択します。
3. 適切なファイルを右クリックし、**切り取り**を選択します。

### 変更依頼の削除

タスクを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

#### ステップ ...

1. 適切なタスクを右クリックし、**プロパティ**を選択します。  
プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
2. **変更依頼** タブをクリックします。
3. 適切な変更依頼を右クリックし、**切り取り**を選択します。

### 関連トピック

- [カレントタスクへ追加](#)
- [カレントタスクの完了](#)
- [タスクを指定して別タスクを修正](#)
- [タスクの作成](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [クエリの定義](#)
- [タスクの選択](#)
- [関連タスクの変更依頼の表示](#)
- [自分に割り当てられたタスクの表示](#)

---

## 関連タスクの変更依頼の表示

Telelogic Changeを使用してアプリケーションに対して提出された変更依頼を追跡する場合、任意のタスクに関連する変更依頼を表示できます。Telelogic Synergy と Telelogic Change は、タスクを修正する方法に関する詳細情報を簡単に得られるよう協調して動作します。以下の手順は、タスクが割り当てられるきっかけとなった変更依頼内に含まれる、提出者のコメントを表示する方法です。

### ステップ ...

- 適切なタスクを右クリックし、**変更依頼プロパティ**を選択します。  
変更依頼のプロパティは、Telelogic Change インターフェイスに表示されます。このダイアログボックスのヘルプは、インターフェイスの上部のメインメニューからヘルプをクリックします。

### 関連トピック

- [タスクの割り当て](#)
- [修正タスクの作成](#)
- [タスクの作成](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [タスクの除外](#)
- [ファイルまたは変更依頼のタスクからの削除](#)
- [関連タスクの表示](#)
- [自分に割り当てられたタスクの表示](#)

---

## 変更依頼の解決

Telelogic Change を使用している場合は、解決操作を使用して割り当てられた変更依頼を完成します。この操作によって、Telelogic Change インターフェイスが起動します。このインターフェイスから変更依頼を解決します。

### ステップ ...

- 適切な変更依頼を右クリックし、**解決**を選択します。  
これで Telelogic Change が開始します。インターフェイスは、変更依頼を解決できる画面を表示します。このダイアログボックスのヘルプは、インターフェイスの上部のメインメニューからヘルプをクリックします。

### 関連トピック

- [関連タスクの表示](#)
- [割り当てられた変更依頼の表示](#)

---

## 必須タスクの自動追加を停止

以下の手順は、プロジェクト グループिंगに手動で追加したタスクに対する必須タスクの自動追加を停止する方法です。追加されたタスクに必要とするタスクがあり、そのタスクがまだプロジェクトグループिंगのベースラインとプロジェクトのタスクに含まれていないとき、そのタスクを必須タスクといいます。

### ステップ ...

1. メイン メニューで**ツール**をクリックし、**オプション**を選択して**オプション** ダイアログを開きます。
2. **アクション**タブをクリックし、左のペインで**タスクをプロジェクト グループिंगに追加**をクリックします。
3. 必須タスクの追加設定を変更します。  
タスクをプロジェクト グループिंगに追加する際に、暗黙的に必要なタスクも常に追加されます。  
このオプションを選択解除するには、チェックボックスをクリックして**適用**をクリックします。
4. デフォルト設定に戻るには、**デフォルト設定**をクリックしてから**適用**をクリックします。

### 関連トピック

- [パターンによるファイルの無視](#)
- [プロジェクト固有ディレクトリ テンプレートの修正](#)
- [プロジェクトの更新](#)
- [デフォルト ワークエリア パスの設定](#)

## プロパティの使用

### オブジェクトプロパティの変更

- ベースラインプロパティの修正
- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- フォルダのプロパティの修正
- プロジェクトのプロパティの修正
- プロジェクトグルーピングのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- ワークエリアの設定の修正
- プロパティの表示

### プロパティ設定からの変更

- プロジェクトグルーピングにプロジェクトを追加
- デフォルトアプリケーションツールの変更
- オブジェクトのセキュリティ設定の変更
- ユーザープロパティのカスタマイズ

## オブジェクトプロパティの変更

- [ベースラインプロパティの修正](#)
- [ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正](#)
- [フォルダのプロパティの修正](#)
- [プロジェクトのプロパティの修正](#)
- [プロジェクトグループリングのプロパティの修正](#)
- [タスクのプロパティの修正](#)
- [ワークエリアの設定の修正](#)
- [プロパティの表示](#)

---

## ベースライン プロパティの修正

この手順により、ベースラインの情報を変更します。

### ステップ ...

ベースラインを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. プロパティを修正するベースラインを右クリックし、**プロパティ**を選択します。  
**プロパティ** ダイアログボックスが表示されます。

2. 必要に応じて**プロパティ** タブのフィールドを修正します。

ベースラインがリリースされていない場合、ビルドマネージャはビルドと名前プロパティを変更できます。以下にデフォルトで変更可能なフィールドを説明します。

- **名前**

ベースラインの名前を指定します。デフォルトで、**Telelogic Synergy** は、作成日を使用してベースラインに名前を付けます。たとえば、20060309 は、2006年3月9日を意味します。

- **ビルド**

ビルドプロパティは、ベースラインに関連するビルドの識別子（文字、数字、またはその組み合わせ）を示します。ビルド識別子は、最大 64 文字まで含むことができます。

3. **プロジェクト** タブ、**タスク** タブ、および**変更依頼**タブは修正できませんが、これらはベースラインと変更依頼の重要な情報を示します。

**プロジェクト** タブは、ベースライン内のプロジェクト（ベースラインプロジェクト）を示します。

**タスク** タブは、ベースライン内のタスクを示します。

### 関連トピック

- [新規ベースラインの選択](#)
- [別のベースラインの使用](#)

## ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正

この手順により、ファイル、ディレクトリ、プロジェクトに関する情報を変更します。

### ステップ ...

ファイル、ディレクトリ、プロジェクトを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. プロパティを修正するファイル、ディレクトリ、プロジェクトを右クリックし、**プロパティ**を選択します。  
プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
2. 必要に応じて**プロパティ** タブのフィールドを修正します。以下に変更可能なフィールドを説明します。
  - **バージョン**  
バージョンはファイル、ディレクトリ、プロジェクトの特定のバリエーションです。
  - **リリース**  
リリースは、アプリケーションの特定のリリース固有のプロジェクトまたはタスクを識別する属性です。
  - **プラットフォーム**  
プラットフォームは、オブジェクトに特定の種類のハードウェアを指定する属性です。
  - **プロダクト指定**  
プロダクトは、他のファイルを処理することによってビルドされるファイルです。プロダクトの例としては、**.class** ファイル、**.jar** ファイル、**.exe** ファイルなどがあります。
3. [オブジェクトのセキュリティ設定の変更](#)を行います。  
グループ セキュリティ ライセンスを持ち、そのデータベースにグループを設定しているチームでは、このダイアログボックスに**セキュリティ** タブが表示されます。**セキュリティ** タブを使用して、選択したオブジェクトの修正とチェックアウトをユーザーに許可/禁止したり、オブジェクトのソースの表示を許可/禁止できます。
4. **適用**をクリックして変更を保存します。

### 関連トピック

- [ファイル/ディレクトリ/サブプロジェクトの作成](#)
- [ワークエリアとデータベースの同期](#)
- [プロパティの表示](#)

---

## フォルダのプロパティの修正

この手順により、フォルダの情報を変更します。

### ステップ ...

フォルダを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. プロパティを修正するフォルダを右クリックし、**プロパティ**を選択します。  
プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
2. 必要に応じて**プロパティ** タブのフィールドを修正します。

**注記：**フォルダのプロパティを変更すると、そのフォルダはフォルダ テンプレートによって管理できなくなります。このフォルダを引き続きフォルダ テンプレートによって管理したい場合は、**フォルダ テンプレートのプロパティ** ダイアログボックスでフォルダ プロパティを変更します。

以下に変更可能なフィールドを説明します。

- **詳細**

フォルダの簡単な説明です。

- **修正可能者**

フォルダを変更する権限を持つ人のリストです。選択肢には、**なし**、**所有者**、**ビルド マネージャ**、および**全員**があります。

3. 必要に応じて、**タスク** タブでタスク選択モードを変更します。

- クエリを使用するには**クエリ使用**をクリックします。
- 手動で変更を加える場合は**手動**をクリックします。

フォルダのタスク選択モードが手動の場合、タスクを追加または削除することもできます。

- タスクを追加するにはプラス記号アイコンをクリックします。**タスクの選択** ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで、フォルダに追加するタスクを検索します。
- タスクを削除するには、タスクをクリックしてマイナス記号アイコンをクリックします。

4. **適用**をクリックして作業を保存します。

5. [オブジェクトのセキュリティ設定の変更](#)を行います。

グループ セキュリティ ライセンスを持ち、そのデータベースにグループを設定しているチームでは、このダイアログボックスに**セキュリティ** タブが表示されます。**セ**

セキュリティ タブを使用して、選択したフォルダの修正およびコピーをユーザーに許可／禁止できます。

6. **適用**をクリックして変更を保存します。

#### 関連トピック

- [プロパティの表示](#)

---

## プロジェクトのプロパティの修正

この手順により、プロジェクトの情報を変更します。

### ステップ ...

プロジェクトを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. プロパティを修正するプロジェクトを右クリックし、**プロパティ**を選択します。  
プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
2. 必要に応じて**プロパティ** タブのフィールドを修正します。

以下にデフォルトで変更可能なフィールドを説明します。

- **バージョン**

バージョンはファイル、ディレクトリ、プロジェクトの特定のバリエーションです。

- **リリース**

リリースは、特定のリリース固有のプロジェクトを識別するプロパティです。

- **目的**

プロジェクトの目的は、**Insulated Development (個別開発)**、**Integration Testing (統合テスト)**、**System Testing (システム テスト)** などのように、それが何に使われるかを定義します。プロジェクトの目的を変更すると、Telelogic Synergy はプロジェクトまたはプロジェクト グループの更新時に異なる選択基準を使用します。

- **プラットフォーム**

プラットフォームは、オブジェクトに特定の種類のハードウェアを指定するプロパティです。

- **プロジェクト グループ**

このフィールドは変更できませんが、プロジェクト グループ名を右クリックしてコンテキストメニューを使用することによって操作を行うことができます。

- **ベースライン プロジェクト**

このフィールドは変更できませんが、ベースライン プロジェクト名を右クリックしてコンテキストメニューを使用することによって操作を行うことができます。

自分のプロジェクトのベースにするプロジェクトバージョンを、そのベースラインプロジェクトと呼びます。ベースラインプロジェクトは、プロジェクト グループ プロパティに設定されているベースラインの一部です。たとえば、「**editor-2.0**」プロジェクトのベースラインプロジェクトは、「**editor-1.0**」です。

プロジェクトの新規バージョンをチェックアウトすると、そのベースラインプロジェクトは自動的に設定されます。

3. 必要に応じて[ワークエリアの設定の修正](#)を行います。

4. 必要に応じて[オブジェクトのセキュリティ設定の変更](#)を行います。

グループセキュリティライセンスを持ち、そのデータベースにグループを設定しているチームでは、このダイアログボックスに**セキュリティ**タブが表示されます。**セキュリティ**タブを使用して、選択したプロジェクトの修正およびコピーをユーザーに許可/禁止できます。

5. **適用**をクリックして変更を保存します。

### 関連トピック

- [プロジェクトグルーピングのプロパティの修正](#)
- [タスクのプロパティの修正](#)
- [ワークエリアの設定の修正](#)
- [ワークエリアとデータベースの同期](#)
- [プロパティの表示](#)

---

## プロジェクト グルーピングのプロパティの修正

この手順により、プロジェクト グルーピングの情報を変更します。

### ステップ ...

プロジェクト グルーピングを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. プロパティを修正するプロジェクト グルーピングを右クリックし、**プロパティ**を選択します。

**プロパティ** ダイアログボックスが表示されます。

2. 必要に応じて**プロパティ** タブのフィールドを修正します。以下のフィールドが修正可能です。

- **自動更新**チェックボックスはデフォルトで選択されています。このオプションが選択されていると、プロジェクトの更新時に**ベースラインとタスクの更新**が行われます。選択を解除すると、[更新時のベースラインとタスクの変更の防止](#)されません。

3. **プロジェクト** タブでプラス記号をクリックして、プロジェクトをプロジェクト グルーピングに追加できます。

**プロジェクトの選択**ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで、プロジェクト グルーピングにプロジェクトを追加します。

4. 必要に応じて**ベースラインプロジェクト** タブのフィールドを修正します。

以下のフィールドが修正可能です。

- **ベースライン選択**ボタンは、プロジェクト グルーピングが使用するプロセス ルールがベースラインの選択を許可するよう設定されている場合にアクティブになっています。ベースラインを選択するには、**ベースライン選択**をクリックします。

**ベースライン選択**ダイアログボックスが表示されます。デフォルトで、プロジェクト グルーピングのリリース（たとえば、**toolkit/2.0**）をベースに、結果フィールドにベースラインが表示されます。

- このプロジェクト グルーピングのベースラインがある場合、**ベースラインテーブル**に表示されます。プロジェクト グルーピングが使用するプロセス ルールが**最新の静的またはビルド管理プロジェクト**に設定されていると、このテーブルは空になります。
- **コピーを保持しているベースラインプロジェクト** テーブルには、プロセス ルールがベースラインプロジェクトとして検出し、このプロジェクト グルーピングにコピーがあるプロジェクトが含まれます。プロセス ルールがベースラインを使用する場合、これらのプロジェクトはベースラインからのプロジェクトです。プロセス ルールが**最新の静的またはビルド管理プロジェクト**を使用する場合、これらのプロジェクトは最新のプロジェクト ルールで検出されます。

- **コピーを保持していないベースライン プロジェクト** テーブルには、プロセス ルールがベースラインプロジェクトとして検出したが、このプロジェクト グルーピングにコピーがないプロジェクトが含まれます。
5. 必要に応じて**タスク** タブのフィールドを修正します。以下のフィールドが修正可能です。
- **ベースラインで処理されたタスク** テーブルには、プロセス ルールがベースラインを使用する場合、プロセス ルールによって提供されたがベースラインの一部ではないタスクが含まれます。プロセス ルールが**最新の静的またはビルド管理プロジェクト**を使用する場合、このテーブルはプロセス ルールによって提供されたすべてのタスクを含みます。
  - ベースライン上のすべてのタスクを使用するには、**すべてを使用**をクリックします。
  - **手動追加タスク** テーブルには、プロジェクト グルーピングに手動で追加したタスクと暗黙的に必要なタスクが含まれます。さらにタスクを追加するにはプラス記号をクリックします。
- タスクの選択**ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスを使用して、プロジェクト グルーピングに追加するタスクを検索できます。
6. **適用**をクリックして変更を保存します。

#### 関連トピック

- [プロジェクトの更新プロパティの変更](#)
- [タスクのプロパティの修正](#)
- [ワークエリアとデータベースの同期](#)
- [別のベースラインの使用](#)
- [プロパティの表示](#)

---

## タスクのプロパティの修正

この手順により、タスクの情報を変更します。

### ステップ ...

タスクを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. プロパティを修正するタスクを右クリックし、**プロパティ**を選択します。  
**プロパティ** ダイアログボックスが表示されます。
2. 必要に応じて**プロパティ** タブのフィールドを修正します。

以下にデフォルトで変更可能なフィールドを説明します。

- **概要**  
概要は、1行にまとめたタスクの説明です。
- **リリース**  
リリースは、特定の製品に使用された固有のプロジェクトまたはタスクを識別するプロパティです。
- **優先度**  
優先度は、タスクの重要度を測るプロパティです。
- **サブシステム**  
サブシステムは、タスクのソフトウェアサブシステムを指定します。たとえば、クライアント/サーバーソフトウェアアプリケーションを開発する場合、サブシステムは **client**、**server**、および **communication** かもしれません。
- **プラットフォーム**  
プラットフォームは、論理的変更に応用可能なハードウェア プラットフォームを指定するプロパティです。
- **担当者**  
担当者は、タスクを完了する人の名前です。
- **予定作業 / 実作業**  
タスク作業の予想または実時間を任意の間隔（時間、日、月）で追加できます。
- **完了予定日**  
カレンダーを使用してタスクの完了予定日を追加します。
- **修正可能 DB**  
チームが Telelogic Synergy Distributed を使用する場合、**修正可能 DB** リストボックスを使用してデータベースの名前を変え、**担当者**リストを使用して担当者の名

前を設定することによって、タスクを異なるデータベースのユーザーに割り当てることができます。

3. 必要に応じて**詳細**タブの説明を修正します。このタブでは、タスクを修正するために行ったコード変更に関して、複数行の説明を加えることができます。

4. 必要に応じて**オブジェクト**タブでオブジェクトを追加または削除します。

オブジェクトを追加するにはプラス記号をクリックします。**オブジェクトの選択**ダイアログボックスが表示されます。このダイアログで、タスクに追加する1つまたは複数のオブジェクトを選択します。

オブジェクトを削除するには、削除するオブジェクトを選択してマイナス記号をクリックします。

5. **タスク修正**タブを使用して[タスクを指定して別タスクを修正](#)します。

6. **変更依頼**タブを使用して関連する変更依頼を追加または削除します。

7. [オブジェクトのセキュリティ設定の変更](#)を行います。

グループセキュリティライセンスを持ち、そのデータベースにグループを設定しているチームでは、このダイアログボックスに**セキュリティ**タブが表示されます。**セキュリティ**タブを使用して、選択したタスクの修正およびコピーをユーザーに許可/禁止できます。

8. **適用**をクリックして変更を保存します。

### 関連トピック

- [タスクの作成](#)
- [タスクのコピー](#)
- [プロパティの表示](#)
- [自分に割り当てられたタスクの表示](#)

---

## ワークエリアの設定の修正

この手順により、ワークエリア設定を変更します。

### ステップ ...

プロジェクトを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. ワークエリア設定を修正するプロジェクトを右クリックし、**プロパティ**を選択します。

**プロパティ** ダイアログボックスが表示されます。

2. **ワークエリア**タブをクリックします。
3. 必要に応じてフィールドを修正します。

以下にデフォルトで変更可能なフィールドを説明します。

- **ワークエリア**

このオプションを選択する (**On**) と、Telelogic Synergy によってプロジェクトのコピーがワークエリアに保持されます。また、このオプションを選択すると、**適用** ボタンをクリックした時にプロジェクトが自動的に同期されます。

このオプションを選択解除する (**Off**) と、Telelogic Synergy はプロジェクトのコピーをワークエリアに保持せず、このダイアログボックスのすべてのオプションがグレー表示になります。

- **パス**

**パス** フィールドには、プロジェクトのワークエリア ディレクトリが表示されます。ただし、パスを変更したい場合は、新しいパスを直接入力するか、[...] (表示) ボタンをクリックして参照するか、[デフォルトパス使用](#) ボタンをクリックして変更できます。

ワークエリア ディレクトリはインターフェイス ホストから見えていなければなりません。

- **デフォルトパス変更**

このボタンをクリックしてプロジェクトのコピーオプションの**オプション**ダイアログボックスの**アクション**タブで設定されているパスを表示します (パスは、**全てのワークエリアにデフォルトパスを使用** フィールドに表示されます)。

詳細については、[デフォルトワークエリアパスの設定](#)を参照してください。

- **デフォルトパス使用**

このボタンをクリックしてプロジェクトのコピーオプションの**オプション**ダイアログボックスの**アクション**タブで設定されているデフォルトパスを使用します。

詳細については、[デフォルトワークエリアパスの設定](#)を参照してください。

- **親プロジェクトへの相対ワークエリア**

このオプションを選択すると、ワークエリアは相対ワークエリアとなります。すなわち、ワークエリアが親プロジェクトのワークエリア内のサブディレクトリになります。

相対ワークエリア内のサブディレクトリは、親プロジェクトのワークエリアに置かれているため、サブプロジェクトとして一度だけ使用できます。ただし、相対プロジェクトが静的な場合、複数のプロジェクトで使用できます。

このオプションを選択解除すると、ワークエリアは絶対ワークエリアとなります。

ファイルシステムでは、絶対ワークエリアは別のディレクトリ構造として存在します。他のプロジェクトで、絶対ワークエリア内のサブプロジェクトを検索して使用できます。

- **プロジェクト固有のディレクトリをワークエリアパスに含む**

このオプションを選択すると、プロジェクト固有ディレクトリがワークエリアに作成されます。プロジェクトのすべてのディレクトリとファイルは、このプロジェクト固有ディレクトリに作成されます。

詳細については、[プロジェクト固有ディレクトリ テンプレートの修正](#)を参照してください。

- **全てのファイルを編集可能にする**

このオプションを使用して、すべてのファイルを修正できるワークエリアを作成します。すべてのファイルを修正可能にすると、ActiveCM を使用する場合や、Telelogic Synergy データベース外で作業中にファイルを変更しなければならない場合に便利です。

- **コピーされた時刻を更新時刻に使用**

このオプションを選択すると、ファイルの最終修正時刻でなく、ファイルがワークエリアにコピーされた時刻がタイムスタンプとして使用されます。

- **ASCII ファイルの改行コードを変換**

このオプションは、Windows ユーザーのみが使用できます。

このオプションを選択すると、CR/LF 文字が正しいフォーマット (Windows クライアントと UNIX サーバーの間でファイルをコピーする場合に UNIX 用または Windows 用に設定) に変換されます。

このオプションを選択解除すると、変換は行われません。

**4. 適用**をクリックして変更を保存します。

---

## 関連トピック

- [ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正](#)
- [プロジェクト グループの プロパティの修正](#)
- [タスクのプロパティの修正](#)
- [プロパティの表示](#)

## プロパティの表示

この手順により、ファイル、フォルダ、フォルダ テンプレート、ディレクトリ、タスク、プロジェクト、プロジェクト グループ、プロセス、プロセス ルール、ベースライン、リリース、変更依頼に関する情報を表示します。

### ステップ ...

適切なオブジェクトを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

- 適切なオブジェクトを右クリックし、**プロパティ**を選択します。  
選択したオブジェクトの**プロパティ**ダイアログボックスが表示されます（変更依頼を除く）。適切なタブをクリックして情報を参照します。  
変更依頼のプロパティは、Telelogic Change インターフェイスに表示されます。このダイアログボックスのヘルプは、インターフェイスの上部のメインメニューから**ヘルプ**をクリックします。

または

- 関連オブジェクトのプロパティを表示するには、適切なオブジェクトを右クリックして選択します。  
たとえば、ファイルに関連するタスクのプロパティを表示するには、ファイルを右クリックして**タスク プロパティ**を選択します。**タスク プロパティ**ダイアログボックスに選択したファイルのタスク情報が表示されます。

または

-  をクリックしてカレント タスクのプロパティを表示します。  
**プロパティ** ダイアログボックスが表示されます。適切なタブをクリックして情報を参照します。

または

- オブジェクトを選択し、**表示**メニューから**プロパティ**を選択します。

### 関連トピック

- [ベースライン プロパティの修正](#)
- [ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正](#)
- [フォルダのプロパティの修正](#)
- [プロジェクトのプロパティの修正](#)
- [プロジェクト グループのプロパティの修正](#)
- [タスクのプロパティの修正](#)
- [ワーク ペインでプロパティを表示](#)

---

## プロパティ設定からの変更

- [プロジェクト グループにプロジェクトを追加](#)
- [デフォルト アプリケーションツールの変更](#)
- [ユーザー プロパティのカスタマイズ](#)
- [コピーベース モードによる Telelogic Synergy の使用](#) (UNIX ユーザーのみ)

## ユーザー プロパティのカスタマイズ

Telelogic Synergy が使用するエディタ、テキスト ビューア、マージ ツール、および比較 ツールを変更できます。

**ccm.user.properties** ファイルには、Telelogic Synergy インターフェイスのローカル ユーザー設定が格納されています。

### ステップ ...

1. Windowsユーザー:C:\¥Documents and Settings¥usernameにある **ccm.user.properties** ファイルを開きます。  
UNIX ユーザー: ホームディレクトリ \$HOME にある **.ccm.user.properties** ファイルを開きます。
2. テキストエディタを使用して[デフォルト アプリケーションツールの変更](#)を行います。
3. ファイルを保存して閉じます。

### 関連トピック

- [比較](#)
- [マージ](#)

---

## デフォルト アプリケーションツールの変更

マージツール、比較ツール、エディタは、Windows ではクライアントの **etc** ディレクトリにある **ccm.properties** ファイル、UNIX では **ccm.user.properties** ファイルにデフォルトで設定されています。

注記：Telelogic Synergy では、区切りに 2 つの連続した円記号を使用する必要があります。

- [Windows のデフォルト アプリケーション](#)
- [UNIX のデフォルト アプリケーション](#)

### Windows のデフォルト アプリケーション

Windows のオプション	説明
<b>windows.tool.edit.project</b>	Windows システムでプロジェクトを編集するために使用するユーティリティを定義します。
<b>windows.tool.edit.dir</b>	Windows システムでディレクトリを編集するために使用するユーティリティを定義します。
<b>windows.tool.view.project</b>	Windows システムでプロジェクトを表示するために使用するユーティリティを定義します。
<b>windows.tool.view.dir</b>	Windows システムでディレクトリを表示するために使用するユーティリティを定義します。
<b>windows.tool.compare.ascii</b>	Windows システムでファイルを比較するために使用するユーティリティを定義します。
<b>windows.tool.merge.ascii</b>	Windows システムでファイルをマージするために使用するユーティリティを定義します。

```
windows.tool.compare.ascii = %ccm_compare
windows.tool.compare.binary = FAIL
windows.tool.merge.ascii = %ccm_merge
windows.tool.merge.binary = FAIL
windows.tool.edit.ascii = "%ccm_home%¥¥bin¥¥util¥¥ccm_exec"
"%file1"
windows.tool.edit.binary = "%ccm_home%¥¥bin¥¥util¥¥ccm_exec"
```

```
"%file1"  
windows.tool.edit.executable = "%file1"  
windows.tool.edit.project = explorer.exe "%file1"  
windows.tool.edit.dir = explorer.exe "%file1"  
windows.tool.view.ascii = "%ccm_home%¥¥bin¥¥util¥¥ccm_exec"  
"%file1"  
windows.tool.view.binary = "%ccm_home%¥¥bin¥¥util¥¥ccm_exec"  
"%file1"  
windows.tool.view.executable = "%file1"  
windows.tool.view.project = explorer.exe "%file1"  
windows.tool.view.dir = explorer.exe "%file1"
```

**注記：**ここに示す値は例です。他のコマンドを使用することもできます。

以下のキーワードを使用できます。

```
edit: %file1, %ccm_home  
view: %file1, %ccm_home  
help: %file1, %ccm_home  
FAIL: operation is not supported for that command  
compare: %file1, %file2, %file1_label, %file2_label, %ccm_home  
merge: %outfile, %ancestor %file1, %file2, %file1_label,  
%file2_label, ccm_home
```

上記で、%file1 は 1 番目のファイルの名前、%ccm\_home はクライアントがインストールされているディレクトリ、%file2 は 2 番目のファイルの名前、%file1\_label と %file2\_label は各ファイルのラベル、%ancestor はマージに使用される共通祖先ファイル、%outfile はマージの結果です。

---

## UNIX のデフォルト アプリケーション

UNIX のオプション	説明
<code>unix.tool.edit.project</code>	UNIX システムでプロジェクトを編集するために使用するユーティリティを定義します。
<code>unix.tool.edit.dir</code>	UNIX システムでディレクトリを編集するために使用するユーティリティを定義します。
<code>unix.tool.view.project</code>	UNIX システムでプロジェクトを表示するために使用するユーティリティを定義します。
<code>unix.tool.view.dir</code>	UNIX システムでディレクトリを表示するために使用するユーティリティを定義します。
<code>unix.tool.compare.ascii</code>	UNIX システムでファイルを比較するために使用するユーティリティを定義します。
<code>unix.tool.merge.ascii</code>	UNIX システムでファイルをマージするために使用するユーティリティを定義します。

```
unix.tool.compare.ascii = %ccm_compare
unix.tool.compare.binary = FAIL
unix.tool.merge.ascii = %ccm_merge
unix.tool.merge.binary = FAIL
unix.tool.edit.ascii = xterm -geometry 80x40 -e vi %file1
unix.tool.edit.binary = FAIL
unix.tool.edit.project = /bin/sh -c ^(cd '%file1'; xterm)^
unix.tool.edit.dir = /bin/sh -c ^(cd '%file1'; xterm)^
unix.tool.view.ascii = xterm -geometry 80x40 -e vi %file1
unix.tool.view.binary = FAIL
unix.tool.view.project = /bin/sh -c ^(cd '%file1'; xterm)^
unix.tool.view.dir = /bin/sh -c ^(cd '%file1'; xterm)^
```

注記：ここに示す値は例です。他のコマンドを使用することもできます。

以下のキーワードを使用できます。

```
edit: %file1, %ccm_home
view: %file1, %ccm_home
```

```
help: %file1, %ccm_home
FAIL: operation is not supported for that command
compare: %file1, %file2, %file1_label, %file2_label, %ccm_home
merge: %outfile, %ancestor %file1, %file2, %file1_label,
      %file2_label, ccm_home
```

上記で、%file1 は 1 番目のファイルの名前、%ccm\_home はクライアントがインストールされているディレクトリ、%file2 は 2 番目のファイルの名前、%file1\_label と %file2\_label は各ファイルのラベル、%ancestor はマージに使用される共通祖先ファイル、%outfile はマージの結果です。

### 関連トピック

- [ユーザープロパティのカスタマイズ](#)

---

## オブジェクトのセキュリティ設定の変更

プロパティダイアログボックスの**セキュリティ** タブを使用して、ユーザーに選択オブジェクトの修正とチェックアウトまたはコピーの許可/禁止およびオブジェクトのソースの表示の許可/禁止を行います。

### データベースのセキュリティについて

Telelogic Synergy データベースには、各種オブジェクトを多数含むことができます。すべてのユーザーにすべてのオブジェクトのチェックアウト、コピー、修正、および表示を許可するのは必ずしも適切ではありません。セキュリティの設定により、これらの権限を、指定したユーザーのグループに制限できます。

以下のオブジェクトの指定セキュリティ設定を変更できます。

- ファイル：表示、修正、およびチェックアウト権限
- ディレクトリ：修正およびチェックアウト権限
- フォルダ：修正およびコピー権限
- タスク：修正およびコピー権限
- プロジェクト：修正およびコピー権限
- リリース：修正およびコピー権限

一般ペインで、**オプション** ダイアログボックスの**表示**タブで**オブジェクトのセキュリティ** プロパティを表示チェックボックスを設定していると、**セキュリティ** タブが表示されます。また、これらのオプションはオブジェクトを所有する場合にのみ有効です。

このオプションは、グループセキュリティライセンスを持ち、そのデータベースにグループを設定しているチームが使用できます。これらのチームは、一部のユーザーに特定のオブジェクトのチェックアウト、変更、および表示を許可し、他のユーザーに禁止する必要があるかもしれません。

すべての**プロパティ**ダイアログボックスから**セキュリティ**タブを削除する方法については、[プロパティダイアログボックスのセキュリティタブの表示](#)を参照してください。

### ステップ ...

1. セキュリティ設定を変更するオブジェクトに対応する**プロパティ** ダイアログボックスを開きます。
2. フォルダ、タスク、プロジェクト、またはリリースのセキュリティ設定を変更する場合、これらのオブジェクトを修正およびコピーできるユーザーのグループを変更できます。

すべてのユーザーにこのフォルダ、プロジェクト、リリースの修正およびコピーを許可するには**全員にこのobjectの修正とコピーを許可**を選択します。このオプションはデフォルトで選択されています。

設定を制限するには、**オブジェクトの修正とチェックアウト**を以下のグループに限定のデフォルト設定を残し、制限するグループをクリックします。

3. ファイルおよびディレクトリのセキュリティ設定を変更する場合、これらのオブジェクトの修正およびチェックアウトを許可するユーザーのグループを変更したり、ファイルのソースの表示を許可するユーザーのグループも変更できます。

すべてのユーザーにこのファイルまたはディレクトリの修正およびコピーを許可する場合は、**全員にこの object の修正とコピーを許可**を選択します。このオプションはデフォルトで選択解除されています。

設定を制限するには、**オブジェクトの修正とチェックアウト**を以下のグループに限定を選択し、制限するグループをクリックします。

すべてのユーザーにこのファイルの読み出しを許可する場合は、**全員にこのオブジェクトソースの閲覧を許可**を選択します。このオプションはデフォルトで設定されています。

設定を制限するには、**オブジェクトソースへのアクセス**を以下のグループに限定のデフォルト設定を残し、制限するグループをクリックします。

4. **適用**をクリックして変更を保存します。

#### 関連トピック

- [ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正](#)
- [フォルダのプロパティの修正](#)
- [プロジェクトのプロパティの修正](#)
- [タスクのプロパティの修正](#)

---

## プロジェクト グルーピングにプロジェクトを追加

プロジェクト グルーピング機能により、プロジェクトを目的とリリース別にグループ化し、プロジェクトを更新するとき使用するタスクとベースラインを保持します。プロジェクト グルーピングにプロジェクトを追加することで、プロジェクトを異なる目的とリリースで簡単に再利用できます。

開発者は、目的の異なる複数のプロジェクト階層を使って作業することがあります。プロジェクトによっては **Insulated Development (個別開発)** に使われるものもあれば **Collaborative Development (共同開発)** に使われるものもあり、さらに開発者がチームリーダーでもある場合、**統合テスト**に使用するプロジェクトを持つこともあります。通常、開発者がビルドするのは数個のプロジェクト程度ですが、さらに多くをビルドする必要が生じることもあります。たとえば、**Collaborative Development (共同開発)** でプロジェクトをビルドできない場合、そのプロジェクトを制御可能な環境である **Insulated Development (個別開発)** プロジェクト グルーピングへ移すことがあります。

プロジェクトをプロジェクト グルーピングに追加するという事は、異なるプロジェクトを現在開発を行っているワークスペースへ移動することであると考えられます。プロジェクトのコピーを作る代わりに、単にプロジェクトを異なるプロジェクト グルーピングへ移し、その後[プロジェクトの更新](#)を行うことができます。

### ステップ ...

1. 適切なプロジェクト グルーピングを右クリックし、**プロパティ**を選択します。  
プロパティ ダイアログボックスが表示されます。
2. プロジェクトタブをクリックします。
3. プロジェクトの追加ボタンをクリックします。  
プロジェクトの**選択**ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで、プロジェクト グルーピングに追加するプロジェクトを選択します。

### 関連トピック

- [プロジェクトの更新プロパティの変更](#)
- [別のベースラインの使用](#)
- [プロジェクト グルーピングのプロパティの修正](#)
- [プロジェクトの更新](#)



## ファイルの検索とその他

### [オブジェクトの検索](#)

- [オブジェクトの検索](#)
- [オブジェクトの使用箇所の検索](#)
- [オブジェクトまたはリリースの履歴の表示](#)
- [割り当てられた変更依頼の表示](#)

### [クエリの設定](#)

- [クエリのカスタマイズ](#)
- [クエリの定義](#)
- [クエリの保存](#)
- [クエリを新しい名前で保存](#)
- [保存クエリの名前変更](#)
- [保存クエリの表示](#)

### [定義済みクエリの使用](#)

- [保存クエリの編集](#)
- [オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ](#)
- [保存されたクエリの実行](#)

## オブジェクトの検索

- [オブジェクトの検索](#)
- [オブジェクトの使用箇所の検索](#)
- [オブジェクトまたはリリースの履歴の表示](#)
- [オブジェクトまたはリリースの履歴の表示](#)
- [割り当てられた変更依頼の表示](#)

---

## オブジェクトの検索

**クエリ** ダイアログボックスを使用して任意の種類オブジェクトを検索できます。**検索** メニューには、タスク、オブジェクト、変更依頼、プロジェクト、プロジェクト グループ ping、ベースライン、リリース、フォルダ、プロセス、プロセス ルール、フォルダ テンプレートなど、検索できる各種オブジェクトが表示されます。

**検索** メニューを使用して検索するオブジェクトの種類を選択するとき、**クエリ** ダイアログボックスにそのオブジェクトのクエリを作成するための正しい情報が表示されます。

### ステップ ...

- メインメニューで、**検索** をクリックし、**タスク、オブジェクト、変更依頼、プロジェクト、プロジェクト グループ ping、ベースライン、リリース、フォルダ、プロセス、プロセス ルール、フォルダ テンプレート** のいずれかを選択します。

**クエリ** ダイアログボックスは、選択したオブジェクトタイプのクエリに適した情報を表示します。

クエリの定義に関する詳細な情報については、[クエリの定義](#) を参照してください。

### 関連トピック

- [保存されたクエリの検索メニューへの追加](#)
- [クエリのカスタマイズ](#)
- [保存されたクエリの実行](#)
- [クエリの保存](#)
- [クエリを新しい名前保存](#)

## オブジェクトの使用箇所の検索

この手順により、特定のファイル、プロジェクト、ディレクトリ、またはタスクを使用するプロジェクト、ベースライン、プロジェクト グループング、またはフォルダをデータベースから検索します。特定の變更依頼を使用するベースラインおよびプロジェクト グループングを検索することもできます。

### ステップ ...

- ファイル、プロジェクト、ディレクトリ、またはタスクを右クリックし、**検索**をポイントし、**使用しているプロジェクト**、**使用しているフォルダ**、**使用しているベースライン**、または**使用しているプロジェクト グループング**を選択します。

變更依頼 ID を右クリックして**検索**をポイントし、次に**使用しているベースライン**または**使用しているプロジェクト グループング**を選択することもできます。

**クエリ** ダイアログボックスが表示されます。結果フィールドにすべてのプロジェクト、フォルダ、ベースライン、またはプロジェクト グループングが表示されます。

### 関連トピック

- [クエリのカスタマイズ](#)
- [オブジェクトの使用箇所の検索](#)
- [オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ](#)
- [クエリの保存](#)
- [クエリを新しい名前保存](#)

---

## オブジェクトまたはリリースの履歴の表示

以下では、オブジェクトまたはリリースの名前とバージョンがわかっているかどうかに関わらず、オブジェクトまたはリリースの履歴を表示する方法を示します。

この機能は、**履歴**ダイアログボックス内に表示するオブジェクトまたはリリースの名前とバージョンがわかっている場合に使用します。**履歴の表示**ダイアログボックスを使用してオブジェクトまたはリリースを表示すると最初にクエリする必要がなく、クエリ結果を使用して**履歴**ダイアログボックスにプロジェクトを表示できます。

あるいは、オブジェクトまたはリリースの名前とバージョンがわからない場合、クエリして検索し、クエリ結果を使用して、バージョン履歴の表示、パラレルの確認、プロジェクトを最新のバージョンからコピーしているか確認、および DCM 転送の後に履歴関係の更新ができます。

### ステップ ...

1. Telelogic Synergy の任意の場所で、**Ctrl-H** キーを押します。

**履歴の表示**ダイアログボックスが表示されます。

2. オブジェクトの履歴を表示するには、名前（例、**newdoc.txt**）、バージョンの区切り文字で区切った名前とバージョン（例、**newdoc.txt-beta**）、または、オブジェクト名、バージョン、タイプ、インスタンスの 4 つの部分からなる 4 部名称（例、**newdoc.txt-beta:ascii:ccmintdb#1**）を入力します。

入力したオブジェクト名が複数のバージョンに対応する場合、**オブジェクト選択**ダイアログボックスが表示されます。適切なオブジェクトを選択して **OK** をクリックします。

3. リリースの履歴を表示するには、完全なリリース名（例、**editor/2.0**）またはコンポーネントリリース（例、**3.2\_patch**）を入力します。

Telelogic Synergy が入力されたリリース名からリリースを判断できない場合、**リリース選択**ダイアログボックスに入力された名前と一致するリリース類が表示されます。適切なリリース名を選択して **OK** をクリックします。

完全な名前またはバージョンが不明な場合、疑問符（**?**）とアスタリスク（**\***）文字で、4 部名称、コンポーネント、またはコンポーネント名の不明部分を置き換えても結果を得ることができます。

または

- 適切なファイル、ディレクトリ、プロジェクトを右クリックし、**履歴**を選択します。オブジェクトまたはリリースを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

**履歴**ダイアログボックスに、オブジェクトまたはリリースの全バージョンが表示されます。

Telelogic Synergy Distributed を使用して DCM 転送の後、履歴関係を更新する場合は、 をクリックします。

#### 関連トピック

- [ワーク ペインでプロジェクトを開く](#)
- [ワーク ペインからのタブの削除](#)
- [ワーク ペインでプロパティを表示](#)

---

## 割り当てられた変更依頼の表示

この手順により、割り当てられているすべての変更依頼を表示します。

### ステップ ...

- **エクスプローラ ツールバーで、変更依頼**をクリックします。  
割り当てられているすべての変更依頼が保存クエリ **自分に割り当てられた変更依頼**の下に表示されます。

### 関連トピック

- [カレント タスクへ追加](#)
- [クエリの定義](#)
- [ファイルまたは変更依頼のタスクからの削除](#)
- [変更依頼の解決](#)
- [関連タスクの表示](#)



## クエリの設定

- [クエリの定義](#)
- [保存クエリの名前変更](#)
- [クエリの保存](#)
- [クエリを新しい名前で作成](#)
- [保存クエリの表示](#)
- [クエリのカスタマイズ](#)

---

## クエリの定義

現在持っている情報と次の手順を使用して、データベース内でタスク、プロジェクト、オブジェクト、変更依頼、ベースライン、またはプロジェクトグルーピングを検索します。クエリの結果を使用すると、プロジェクトまたはデータベースからオブジェクトプロパティの表示、オブジェクトの追加、オブジェクトの削除などを行うことができます。さらに、適切なエクスプローラ内から[保存されたクエリのエクスプローラへの追加](#)または[保存されたクエリの検索メニューへの追加](#)を行うこともできます。

### ステップ ...

1. メイン メニューで、**検索**をクリックし、検索するオブジェクトの種類として、**タスク、オブジェクト、変更依頼、プロジェクト、プロジェクトグルーピング、ベースライン、リリース、フォルダ、プロセス、プロセス ルール、フォルダ テンプレート**のいずれかを選択します。

クエリダイアログボックスに選択したオブジェクトの種類が表示されます。

2. **検索**の下のリストボックスから条件を選択し、右のボックスに値を正しく設定します。

さらにフィールドを追加するにはプラス記号アイコンをクリックします。条件の詳細情報については、[クエリのカスタマイズ](#)を参照してください。便利なクエリとそれを使うシナリオは、下記の「クエリ例」を参照してください。

さらに、既存の保存クエリから新しいクエリをビルドし、**名前をつけて保存**をクリックして新しいクエリを作成できます。

### クエリの例

- タスクを完了したが、変更依頼の解決を忘れたと仮定します。以下の手順により、リリース **XX/10** 用にマークされ、タスクを完了した割り当て済み変更依頼をすべて集めるクエリを作成します。

メインメニューで**検索**をクリックし、**変更依頼**を選択します。リストボックスで**カスタム**を選択して以下を入力します。

```
release='XX/10' and crstatus='assigned' and resolver='%user' and has_associated_task(status='completed')
```

- それぞれ関連するオブジェクトを持つ複数のタスクが割り当てられ、同時に複数のタスクで作業を行う必要があると仮定します。以下のクエリは、割り当てられたタスクを関連するオブジェクトと共に集めます。これにより、変更を含むタスクを簡単に選択し、カレント タスクにできます。

- a. メインメニューで**検索**をクリックし、**タスク**を選択します。
- b. **割り当て日付**を `%user` に設定します。
- c. **カスタム**に `not has_no_associated_cv()` と入力します。

- 
- **ico-1** プロジェクトのメンバーである作業中状態のオブジェクトを検索する必要がありますと仮定します。

メインメニューで**検索**をクリックし、**オブジェクト**を選択します。リストボックスで**カスタム**を選択して以下を入力します。

```
status='working' and is_member_of('ico-1')
```

- タスク 374 に関連するすべての **executable (実行形式)** オブジェクトバージョンを検索して表示する必要がありますと仮定します。

メインメニューで**検索**をクリックし、**オブジェクト**を選択します。リストボックスで**カスタム**を選択して以下を入力します。

```
type='executable' and is_associated_cv_of('task374-1:task:dbid')
```

3.  をクリックします。

結果フィールドにすべての結果が表示されます。

さらに、保存していないが再度実行したいビルド済みクエリを使用できます。上部のダイアログボックスの左にある左右の矢印を使用してクエリスタックから**セッション内**に実行したクエリを検索します。これにより、クエリをビルドし直さずに実行できます。

4. 保存クエリを作成する場合、[クエリの保存](#)を行います。

#### 関連トピック

- [保存クエリの編集](#)
- [オブジェクトの使用箇所の検索](#)
- [オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ](#)
- [保存クエリの名前変更](#)
- [保存されたクエリの実行](#)
- [クエリの保存](#)
- [クエリを新しい名前で作成](#)
- [クエリのカスタマイズ](#)

---

## クエリの保存

クエリダイアログボックスを使用して[クエリの定義](#)および[クエリの保存](#)を行うことができます。いったんタスク、オブジェクト、変更依頼、プロジェクト、プロジェクトグルーピング、ベースライン、リリース、フォルダ、プロセス、プロセスルール、またはフォルダ テンプレートのクエリ定義を作成したら、適切なエクスプローラ内から[保存されたクエリのエクスプローラへの追加](#)または[保存されたクエリの検索メニューへの追加](#)を行うことができます。

### ステップ ...

クエリを定義する場合は、[クエリの定義](#)を参照してください。

1. クエリダイアログボックスで  をクリックします。  
クエリダイアログボックスに**保存クエリ**タブが表示され、作成したクエリの名前を修正できます。
2. 保存クエリに固有の名前を入力します。  
クエリは削除されるまでは常にクエリ ダイアログボックスの**保存クエリ** タブに表示されます。

### 関連トピック

- [保存されたクエリのエクスプローラへの追加](#)
- [保存されたクエリの検索メニューへの追加](#)
- [クエリのカスタマイズ](#)
- [保存クエリの編集](#)
- [保存クエリの名前変更](#)
- [クエリを新しい名前で作成](#)

---

## クエリを新しい名前で保存

保存クエリを使用して、クエリを新しい名前で**クエリ**ダイアログボックスに保存できます。既存のクエリを使用して新しいクエリをすることにより、必要に応じて条件を変更して新しいクエリの条件に使用できます。

さらに、適切なエクスプローラ内から[保存されたクエリのエクスプローラへの追加](#)または[保存されたクエリの検索メニューへの追加](#)を行うこともできます。

### ステップ ...

クエリを検索する場合は、[保存クエリの表示](#)を参照してください。

1. **クエリ**ダイアログボックスで、必要に応じて既存のクエリのプロパティを変更します。
2.  をクリックします。  
クエリダイアログボックスに**保存クエリ**タブが表示され、作成したクエリの名前を修正できます。
3. 保存クエリに固有の名前を入力します。  
クエリは削除されるまでは常に**クエリ**ダイアログボックスの**保存クエリ**タブに表示されます。

### 関連トピック

- [保存されたクエリのエクスプローラへの追加](#)
- [保存されたクエリの検索メニューへの追加](#)
- [クエリのカスタマイズ](#)
- [保存クエリの編集](#)
- [保存クエリの名前変更](#)
- [クエリの保存](#)

---

## 保存クエリの表示

以下の手順は、保存クエリのクエリ条件を詳しく調べる方法です。

### ステップ ...

- 適切なエクスプローラで、保存クエリ（例、**My Project Groupings**、**My Assigned Tasks**、**My Assigned Change Requests**）を右クリックし、**表示**を選択します。

条件がクエリダイアログボックスに表示されます。

クエリの編集、保存クエリの作成、既存クエリを新しいクエリとして保存など、いろいろな作業を行うことができます。

### 関連トピック

- [クエリの保存](#)
- [クエリを新しい名前で作成](#)
- [保存クエリの削除](#)
- [保存クエリの編集](#)
- [保存クエリの名前変更](#)
- [保存されたクエリの実行](#)

---

## 保存クエリの名前変更

以下の操作は、クエリの名前を変更する方法を示します。自分が修正可能なクエリのみ名前を変更できます。

### ステップ ...

- **クエリ**ダイアログボックス内またはいずれかのエクスプローラから、適切な保存クエリを右クリックして**名前の変更**を選択します。

クエリの名前が修正可能になります。

修正を行って変更を保存したら、クエリが表示されるすべての箇所（たとえば**検索メニュー**、**検索リスト**、エクスプローラなど）で新しい名前が使用されます。

### 関連トピック

- [保存されたクエリのエクスプローラへの追加](#)
- [保存されたクエリの検索メニューへの追加](#)
- [クエリのカスタマイズ](#)
- [保存クエリの編集](#)
- [保存されたクエリの実行](#)
- [クエリの保存](#)
- [クエリを新しい名前で作成](#)

---

## クエリのカスタマイズ

Telelogic Synergy データベース内でオブジェクト、プロジェクト、タスク、ベースライン、変更依頼、プロジェクト グループングを検索するクエリを作成する方法は 2 つあります。1 つは定義を使った方法、もう 1 つは文節条件を使った方法です。

クエリ定義を使用して、データベース内に定義された特定の情報を検索できます。たとえば、**自分に割り当てられたタスク**や**自分に割り当てられた変更依頼**などです。

関数、比較演算子など、さまざまな条件を使用してカスタム クエリを組み立てるには、文節条件を使用します。

### 関連トピック

- [クエリ文節条件](#)
- [クエリ定義](#)
- [属性値と関数テスト文節の両方を使用したクエリ](#)
- [キーワードを使用したクエリ](#)
- [ネストされたクエリ](#)

## クエリ定義

クエリ定義を使用してクエリを組み立てます。コンボボックスの一連の値を選択し、テキストボックスに情報を入力することにより、クエリを構成できます。カスタム クエリを選択してカスタム クエリ文を入力することもできます。

### 検索

必要なクエリのタイプを指定します。選択肢は以下のとおりです。

- [ベースライン](#)
- [変更依頼](#)
- [フォルダ](#)
- [フォルダ テンプレート](#)
- [オブジェクト](#)
- [プロセス](#)
- [プロセス ルール](#)
- [プロジェクト](#)
- [プロジェクト グループング](#)
- [リリース](#)
- [タスク](#)

---

## ベースライン

検索リストから**ベースライン**を選択した場合、クエリをさらに細かく定義する条件を1つ以上選択できます。詳細については、[クエリ条件テーブル](#)を参照してください。

## 変更依頼

検索リストから**変更依頼**を選択した場合、クエリをさらに細かく定義する条件を1つ以上選択できます。詳細については、[クエリ条件テーブル](#)を参照してください。

## フォルダ

検索リストから**フォルダ**を選択した場合、クエリをさらに細かく定義する条件を1つ以上選択できます。詳細については、[クエリ条件テーブル](#)を参照してください。

## フォルダ テンプレート

検索リストから**フォルダ テンプレート**を選択した場合、クエリをさらに細かく定義する条件を1つ以上選択できます。詳細については、[クエリ条件テーブル](#)を参照してください。

## オブジェクト

検索リストから**オブジェクト**を選択した場合、クエリをさらに細かく定義する条件を1つ以上選択できます。詳細については、[クエリ条件テーブル](#)を参照してください。

## プロセス

検索リストから**プロセス**を選択した場合、クエリをさらに細かく定義する条件を1つ以上選択できます。詳細については、[クエリ条件テーブル](#)を参照してください。

## プロセス ルール

検索リストから**プロセス ルール**を選択した場合、クエリをさらに細かく定義する条件を1つ以上選択できます。詳細については、[クエリ条件テーブル](#)を参照してください。

## プロジェクト

検索リストから**プロジェクト**を選択した場合、クエリをさらに細かく定義する条件を1つ以上選択できます。詳細については、[クエリ条件テーブル](#)を参照してください。

## プロジェクト グループینگ

検索リストから**プロジェクト グループینگ**を選択した場合、クエリをさらに細かく定義する条件を1つ以上選択できます。詳細については、[クエリ条件テーブル](#)を参照してください。

---

## リリース

リリースを選択した場合、クエリをさらに細かく定義する条件を1つ以上選択できます。詳細については、[クエリ条件テーブル](#)を参照してください。

## タスク

検索リストからタスクを選択した場合、クエリをさらに細かく定義する条件を1つ以上選択できます。詳細については、[クエリ条件テーブル](#)を参照してください。

## クエリ条件テーブル

### クエリ条件オプション

下表は、使用できるクエリ条件オプションとその動作を示します。

条件	動作
割り当て日付	task_assigned 状態のすべてのタスクを検索します。
担当者で検索	特定ユーザーに割り当てられたすべてのタスクを検索します。
自動更新	プロジェクトを更新する際、ベースラインとタスクを自動的に更新するよう設定されているすべてのプロジェクトグルーピングを検索します。
ベースラインとタスクを再表示	TRUE に設定されていると、プロジェクトを更新する際、ベースラインとタスクを自動的に更新するよう設定されているすべてのプロジェクトグルーピングを検索します。FALSE に設定されていると、プロジェクトを更新する際、ベースラインとタスクを自動的に更新しないよう設定されているすべてのプロジェクトグルーピングを検索します。
完了日付	task_assigned 状態のすべてのタスクを検索します。
完了担当者	特定日付で完了したすべてのタスクを検索します。
データベースで完了したオブジェクト	特定のデータベース内で完了したすべてのオブジェクトを検索します。
作成済み	特定の日付または日付の範囲の前、当日、後に作成されたすべてのオブジェクトを検索します。
データベースに作成されたオブジェクト	特定のデータベース内で作成されたすべてのオブジェクトを検索します。
カスタム	指定した条件ですべてのオブジェクトを検索します。
完了予定日付	特定の日付または日付の範囲に完了予定のすべてのタスクを検索します。
変更依頼番号	特定の変更依頼に関連付けられたすべてのタスクを検索します。
コンポーネント	特定のコンポーネント名の付いたすべてのリリースを検索します。
プラットフォームで検索	特定プラットフォームのすべてのオブジェクトを検索します。
リリースで検索	特定リリースのすべてのオブジェクトを検索します。
特定プロセス内	TRUE に設定するとプロセス内のプロセスルール、FALSE に設定するとプロセス内にはないプロセスルールを検索します。
状態で検索	要求された状態のすべてのオブジェクトを検索します。このボックスは編集できません。

条件	動作
プロダクト指定	製品として定義されているファイルを検索します。
データベースにローカルなオブジェクト	オブジェクトが初期化または作成されたデータベースのデータベース ID を持つオブジェクトまたはプロジェクトを検索します。
タイプで検索	特定タイプ値を持つすべてのファイルを検索します。
修正可能者で検索	修正可能者がなし、所有者、ビルド マネージャ、または全員である、フォルダとフォルダ テンプレートを検索します。
データベースで修正可能なオブジェクト	特定のデータベース内で修正できるすべてのオブジェクトを検索します。
更新済み	特定の日付の前、当日、または後に修正されたすべてのオブジェクトを検索します。
アクティブ	アクティブ ( <b>true</b> ) または非アクティブ ( <b>false</b> ) のすべてのリリースを検索します。
ベースラインプロジェクトの検索条件	指定されたプロセスルール条件を使用するベースラインプロジェクトを検索します。
次の値を使用する	関係を探そうとしているオブジェクトを検索します。指定オブジェクトに対して表示されるオブジェクトの種類は指定オブジェクトに依存します。
クエリを使用	クエリを使用する ( <b>true</b> ) または使用しない ( <b>false</b> ) フォルダまたはフォルダ テンプレートを検索します。
実作業時間	特定の実作業時間を示すすべてのタスクを検索します。
ビルドで検索	指定したビルドを使用するすべてのベースラインを検索します。
概要で検索	特定の詳細を持つタスク、フォルダ、またはフォルダテンプレートを検索します。これは大文字と小文字が区別されます。
予定作業時間	特定の予測作業時間を示すすべてのタスクを検索します。
ID で検索	特定の ID を持つタスクまたはフォルダを検索します。大文字と小文字が区別されます。
インスタンスで検索	特定のインスタンス値を持つすべてのオブジェクトを検索します。
管理ワークエリア	ワークエリアを維持または維持しないすべてのプロジェクトを検索します。
名前で検索	特定の名前の付いたすべてのオブジェクトを検索します。
所有者で検索	特定の所有者の名前が付いたすべてのオブジェクトを検索します。
パラレル制約条件	指定のパラレル制約条件を持つすべてのリリースを検索します。
優先度で検索	特定の優先度値を持つすべてのタスクを検索します。

条件	動作
目的で検索	特定の目的値を持つすべてのプロジェクト、プロジェクトグルーピング、プロセスルール、またはベースラインを検索します。
相対ワークエリア	相対 ( <b>true</b> ) または絶対 ( <b>false</b> ) 作業域を持つすべてのプロジェクトを検索します。
サブシステムで検索	特定のサブシステム値を持つすべてのタスクを検索します。
バージョンで検索	特定のバージョンの付いたすべてのオブジェクトを検索します。

### 属性値文節を使用したクエリ

属性値に基づくクエリ文節は、一致する属性を持つ（または持たない）すべてのオブジェクトバージョンを検索します。

このタイプの文節の構文は、以下のように属性名 (*attr\_name*)、比較演算子 (*relative\_operator*)、および属性値 (*constant*) で構成されています。

```
"attr_name relative_operator 'constant'"
```

#### 例

- ステータスが「*working*」のすべてのオブジェクトバージョンを検索します。  

```
ccm query "status='working'"
```
- バージョンが「2」であるすべてのオブジェクトバージョンを検索して表示します。  

```
ccm query "version='2'"
```

### 関数テスト文節を使用したクエリ

関数テストをもとにしたクエリ文節は、関数結果に一致するすべてのオブジェクトバージョンを検索します。

このタイプの文節の構文は、以下のように関数 (*function*) とその引数で構成されています。

```
"function('function_arguments')"
```

関数はあらかじめ定義されています。関数の説明については、[関数](#)を参照してください。

#### 例

- 祖先 `ico-1:executable:2` を持つすべてのオブジェクトバージョンを検索します。  

```
ccm query "has_predecessor('ico-1:executable:2')"
```

```
ccm delete @
```
- タイプ `wdt` のすべてのオブジェクトバージョンを検索して選択します。

---

```
ccm query "type='wdt'"
```

## 属性値と関数テスト文節の両方を使用したクエリ

クエリ文節を組み合わせて検索を細かく指定できます。以下にクエリ文節を組み合わせる方法を示します。

```
"not query_clause"  
"query_clause and query_clause"  
"query_clause or query_clause"
```

### 例

- プロジェクトのメンバーではないすべてのオブジェクトバージョンを検索します。  
ccm query "not is\_bound()"
- プロジェクトのメンバーで、2001年12月12日より古い修正日付を持つすべてのオブジェクトバージョンを検索します。

```
ccm query "is_bound() and modify_time < time('Fri Dec 12  
2001')"
```

## キーワードを使用したクエリ

### 有効なキーワード

クエリ式には、日付に関する特定のキーワードを使用できます。下表に有効なキーワードを示します。

キーワード	説明
%today_begin	今日の 00:00:00
%today_end	今日の 23:59:59
%this_week_begin	今週の終わり 23:59:59 注記 1 を参照
%this_week_end	先週の始め 00:00:00 注記 1 を参照
%last_week_begin	先週の始め 00:00:00 注記 1 を参照
%last_week_end	先週の終わり 23:59:59 注記 1 を参照
%this_month_begin	今月の始め 00:00:00
%this_month_end	今月の終わり 23:59:59
%last_month_begin	先月の始め 00:00:00

キーワード	説明
%last_month_end	先月の終わり 23:59:59
%this_year_begin	今年 1 月 1 日 00:00:00
%this_year_end	今年 12 月 31 日 23:59:59
%today_minus<N>days	今日から <N> 日前 00:00:00
%today_plus<N>days	今日から <N> 日後 00:00:00
%today_minus<N>weeks	今日から <N> 週間前 00:00:00
%today_plus<N>weeks	今日から <N> 週間後 00:00:00
%today_minus<N>months	今日から <N> 月前 00:00:00 注記 2 を参照
%today_plus<N>months	今日から <N> 月後 00:00:00 注記 2 を参照
%today_minus<N>years	今日から <N> 年前 00:00:00 注記 3 を参照
%today_plus<N>years	今日から <N> 年後 00:00:00 注記 3 を参照

**注記 1:** 週の始まりの日は、デフォルトでは日曜日です。モデル属性 `start_day_of_week` を設定してこのデフォルトを変更できます。値 1 は月曜、2 は火曜、以下同様に意味します。

**注記 2:** 月を足し引きする場合、今日の日付が結果の月の日数より多い場合、有効日はその月の最終日になります。いずれの場合も時刻は 00:00:00 です。たとえば、今日が 2003 年 1 月 30 日の場合、`%today_plus1month` は、2003 年 2 月 28 日の 00:00:00 になります。

**注記 3:** 年を足し引きする場合、今日の日付が結果の年のその月の日数より多い場合、有効日はその月の最終日になります。たとえば、今日が 2004 年 2 月 29 日の場合、`%today_plus1years` は、2005 年 2 月 28 日の 00:00:00 になります。

#### 例

- 今日作成された `file1.c` という名のファイルをすべて表示します。  

```
ccm query "name='file1.c' and create_time > time('%today_begin')"
```

---

## ネストされたクエリ

ネストされたクエリとは、関数テストを使用するタイプで、引数の1つ以上がクエリ式であるようなクエリ式です。

クエリ関数は、通常以下の構文を使用します。

```
query_function('object_name'|
               'project_name'|
               'type_name'|
               'attr_name'|
               'privilege_name'
               [,sort_order])
```

評価結果が適切なタイプのオブジェクトになるクエリ式を使って、オブジェクト名引数、プロジェクト名引数、またはタイプ名引数を置き換え可能です。クエリのネストの深さは無制限です。

### 例

- editor という名前のすべてのプロジェクトのすべてのメンバーを検索する。  
ccm query "is\_member\_of(cvtype='project' and name='editor')"
- toolkit-1.0と同じメンバーを持つすべてのバージョン1.0プロジェクトを検索する。  
ccm query "has\_member(is\_member\_of('1/project/toolkit/1.0'))  
and version = '1.0'"
- もっとも速い検索方法を使用して (**none** を指定して) editor というプロジェクト内のすべてのサブプロジェクトを検索する。  
ccm query "hierarchy\_asm\_members(cvtype='project' and name =  
'editor', 'none')"
- 祖先としてオブジェクト save.c-1 (タイプ csrc) を持つすべてのオブジェクトを検索する。  
ccm query "has\_predecessor(cvtype='csrc' and name='save.c' and  
version='1')"
- プロジェクト editor-fcheng のディレクトリ sources-1 で使用されているすべてのオブジェクトを検索する。  
ccm query "is\_child\_of('sources-1:dir:1', cvtype='project' and  
name='editor' and version='fcheng')"
- タスクのリリース値が 1.0 に設定されているタスクに関連するオブジェクトを含むすべてのプロジェクトを検索する。  
ccm query "has\_member(is\_associated\_cv\_of(cvtype='task' and  
release='1.0'))"

---

注記：クエリダイアログボックスでクエリ式を作成するとき、外側のクエリ式を二重引用符で囲む必要はありません。

### クエリ文節条件

クエリ文節は、個別の条件で構成されます。以下の条件を使用してカスタム クエリ文節を組み立てることができます。

- [関数](#)
- [比較演算子](#)
- [論理演算子](#)
- [定数](#)

---

## 関数

以下の関数引数および関数を使用して、関数ベースのカスタム クエリ文節を組み立てることができます。

- [関数引数](#)
- [関数定義](#)

### 関数引数

関数引数を以下に示します。

#### **attr\_name**

*is\_product* や *platform* など、属性の名前を指定します。

#### **object\_name**

オブジェクトバージョンのオブジェクト参照形式を指定します。

*name-version:type:instance*

#### **order\_spec**

検索順序を指定します。*order\_spec* に値 **depth** を使用すると、縦型検索が行われます。値 **breadth** を使用すると、横型検索が行われます。*order\_spec* に値 **none** を使用すると、順序には意味がなくなり、検索は任意の順序で行うことができます (最速の方法が使用されます)。

*none | depth | breadth*

#### **privilege\_name**

*read* (読み出し) や *write* (書き込み) など、権限の名前を指定します。

#### **project\_name**

プロジェクトのオブジェクトバージョンの名前を指定します。

*project\_name-version*

### 関数定義

クエリ関数を以下に示します。

#### **baseline ('baseline\_spec')**

データベースを検索し、指定した情報と一致するベースラインを探します。

#### **build ('build\_string')**

データベースを検索し、指定したビルド文字列を持つベースラインを探します。このクエリ関数は、"*cvtype='baseline'* と *build='build\_string'*" に展開され、これは、指定したビルド文字列を持つすべてのベースラインを返します。

---

**cr ('cr\_id')**

データベースを検索し、指定した番号を持つ変更依頼を探します。

**folder ('folder\_id')**

データベースを検索し、指定した番号を持つフォルダを探します。

**has\_attr ('attr\_name')**

データベースを検索し、*attr\_name* 属性 (*is\_product* や *platform* など) を持つすべてのオブジェクトバージョンを探します。

**has\_child ('object\_name','project\_name')**

データベースを検索し、プロジェクト *project\_name* にオブジェクト *object\_name* をメンバーとして持つすべてのディレクトリ オブジェクトバージョンを探します。

**has\_member ('object\_name')**

データベースを検索し、指定したオブジェクトバージョンがメンバーになっているすべてのプロジェクト オブジェクトバージョンを探します。

**has\_model ('object\_name')**

データベースを検索し、指定したモデル オブジェクトバージョンをモデルとして使用するすべてのオブジェクトバージョンを探します。

たとえば、Base Model を使用する場合、このクエリは `has_model(base-1:model:base')` となります。

**has\_no\_relationship ()**

データベースを検索し、どのオブジェクトともその名前との関係を持たないオブジェクトを探します。

たとえば、`has_no_successor` は、子孫を持たないすべてのオブジェクトを返します。

**has\_predecessor ('object\_name')**

データベースを検索し、指定したオブジェクトバージョンが直接祖先となっているすべてのオブジェクトバージョンを探します。

**has\_priv ('privilege\_name')**

*privilege\_name* は、*read* (読み出し) や *write* (書き込み) など、権限の名前を指定します。

**has\_purpose ('purpose\_name')**

データベースを検索し、指定した目的を持つすべてのプロジェクトを探します。

**has\_relationship ('object\_name')**

---

データベースを検索し、オブジェクト `object_name` との関係のタイプが `relationship` であるすべてのオブジェクトバージョンを探します。たとえば、Telelogic Synergy では `has_successor` を使用して履歴ダイアログボックスに履歴の関係が表示されます。

`relationship` は、`associated_cv` や `associated_task` など、定められた任意の関係を指します。

`is_relationship('objectspec', 'operator', time)` は、`has_relationship_of('objectspec', 'operator', time)` の逆クエリです。

関係の作成方法については、Telelogic Synergy CLI ヘルプの [history コマンド](#) を参照してください。

### **has\_type ('type\_name')**

データベースを検索し、タイプが `type_name` のすべてのオブジェクトバージョンを探します。

たとえば、クエリ `has_type('csrc-1:cvtype:base')` により、`HelloWorld-1:csrc:1` が検索されます。

### **hierarchy\_project\_members ('project\_name', order\_spec)**

データベースを検索し、`project_name` で指定したプロジェクト階層のすべてのプロジェクトを探します。`order_spec` 引数により、`order_spec` で説明したように検索順序を指定します。

クエリにより、オブジェクトバージョン名の整列リストが返されます。このクエリを他のクエリと組み合わせて使用すると、結果の順序が変わる場合があります。

このクエリにより、`project_name` が返されます。

`order_spec` については、[order\\_spec](#) を参照してください。

### **is\_bound()**

データベースを検索し、いずれかのプロジェクトのメンバーであるオブジェクトバージョンを探します。このクエリは、プロジェクト名など他の限定オプションを指定する場合に便利です。

### **is\_child\_of('object\_name','project\_name')**

データベースを検索し、プロジェクト `project_name` の `object_name` というディレクトリで使用されているすべてのオブジェクトバージョンを探します。

### **is\_hist\_leaf()**

データベースを検索し、履歴ダイアログボックスでリーフ ノードであるオブジェクト (子孫を持たないオブジェクト) を探します。

### **is\_hist\_root()**

---

データベースを検索し、履歴ダイアログボックスでルートノードであるオブジェクト（祖先を持たないオブジェクト）を探します。

#### **is\_member\_of ('project\_name')**

データベースを検索し、指定プロジェクトのメンバであるすべてのオブジェクトバージョンを探します。

#### **is\_model\_of ('object\_name')**

データベースを検索して、指定オブジェクトバージョンに関連するモデルオブジェクトバージョンを探します。

#### **is\_no\_relationship ()**

データベースを検索して、どのオブジェクトともその名前の関係のターゲットではないすべてのオブジェクトを探します。

たとえば、is\_no\_successor は、子孫ではないすべてのオブジェクトを返します。

#### **is\_predecessor\_of ('object\_name')**

データベースを検索し、指定オブジェクトバージョンの直接祖先であるすべてのオブジェクトバージョンを探します。

#### **is\_relationship\_of ('objectspec', 'operator', time)**

関係作成時間が指定演算子 (=、!=、>、<=、>、または >=) および時刻値と一致する指定オブジェクトから指定関係を持つすべてのオブジェクトを検索します。

例：

```
is_associated_cv_of ('task23-1:task:M', '>', time ('May 1, 2002'))
```

このクエリは、タスク M#23 の、2002 年 5 月 1 日以降に関連したすべての関連オブジェクトを探します。

has\_relationship('objectspec', 'operator', time) は、is\_relationship\_of('objectspec', 'operator', time) の逆クエリです。

関係の作成方法については、Telelogic Synergy CLI ヘルプの [history コマンド](#) を参照してください。

#### **is\_type\_of ('object\_name')**

object\_name の作成に使用したモデル内で type オブジェクトバージョンを検索します。

#### **recursive\_is\_member\_of ('project\_name', order\_spec)**

データベースを検索し、project\_name で指定したプロジェクト階層のすべてのプロジェクトのすべてのメンバーを探します。

---

クエリにより、オブジェクトバージョン名のリストが返されます。プロジェクトでないものがリストの初めに表示され、階層のメンバーであるプロジェクトが後に続きます。検索順序に関するものは、結果におけるプロジェクトの場所のみです。このクエリを他のクエリと組み合わせて使用すると、結果の順序が変わる場合があります。

このクエリでは、`project_name` は返されません。

`order_spec` については、[order\\_spec](#) を参照してください。

#### **task ('task\_id')**

データベースを検索し、指定した番号を持つタスク依頼を探します。

#### **versions\_in\_a\_baseline ('project\_spec')**

ベースラインからプロジェクトバージョンを検索します。このクエリ関数は、`"cvtype='project' と name='<project_name>' と instance='<project_subsystem>' と not is_no_project_in_baseline()"` に展開され、これはプロジェクトオブジェクトに対して任意のベースライン内にあるすべてのプロジェクトバージョンを返します。

---

## 比較演算子

クエリには比較演算子を使用できます。下表に、カスタムクエリ文節の構成に使用できる比較演算子を示します。

演算子	説明
=	属性の値が定数の値と同じである必要があります。
!=	属性の値が定数の値と同じであってはなりません。ただし、属性が必要です。
<	属性の値が定数の値より小さい必要があります。
<=	属性の値が定数の値より小さいか、同じである必要があります。
>	属性の値が定数の値より大きい必要があります。
>=	属性の値が定数の値より大きいか、同じである必要があります。
match	属性の値が定数の値と一致する必要があります。定数にはワイルドカード文字 * および ? を含めることができます。ワイルドカード文字 * は任意の数の任意の文字、ワイルドカード文字 ? は任意の 1 文字の代わりに使用します。match 演算子では、大文字と小文字が区別されます。 ワイルドカードは、属性の初めの 63 文字についてのみ使用できます。
!match	属性の値は定数となり得る値のいずれとも一致してはなりません。
smatch	属性の値は文字列と一致する必要があります。smatch 演算子では、大文字と小文字が区別されます。

---

## 論理演算子

カスタム クエリ文節を組み立てるのに使用できる論理演算子は **and**、**or**、**not** です。

- *query\_clause1 and query\_clause2*

両方の *query\_clause* の条件と一致するオブジェクト バージョンのみが選択されます。

- *query\_clause1 or query\_clause2*

いずれかの *query\_clause* の条件と一致するオブジェクト バージョンが選択されます。

- **not** *query\_clause*

*query\_clause* の条件と一致しないオブジェクト バージョンのみが選択されます。

**not** 演算子は **and** 演算子に優先します。**and** 演算子は **or** 演算子に優先します。この優先ルールを無効にするには、クエリにかっこ「**()**」を使用します。

---

## 定数

下表に、カスタム クエリ文節に使用できる定数を示します。属性タイプのクラスは指定した定数によって決まります。たとえば、定数が文字列の場合、文字列属性（文字列のサブタイプである属性）のみが一致します。

定数のタイプ	コメント
文字列	一重引用符で囲みます。
整数	範囲は 0 ~ +/-2147483647 です。
ブール値	<b>TRUE</b> または <b>FALSE</b> のいずれかです。
時間	時間値は日付フォーマットにする必要があります。詳細については、Telelogic Synergy CLI ヘルプの <a href="#">Date Formats</a> を参照してください。

---

## クエリ文節のグループ

かっこ「()」を使用してクエリ文節をグループ化できます。深さに制限はありません。

## 定義済みクエリの使用

- [オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ](#)
- [保存されたクエリの実行](#)
- [保存クエリの編集](#)

---

## オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ

定義済みバージョン条件の **Prep Versions**、**All Versions**、**Released Versions**、または **Working Versions** を選択します。

### ステップ ...

- オブジェクトを右クリックし、**検索メニュー**から適切な定義済みバージョン条件として **Prep** バージョン、**すべてのバージョン**、**リリース バージョン**、または **ワーキングバージョン** を選択します。

**クエリ** ダイアログボックスが表示されます。結果フィールドに条件に一致するすべてのオブジェクトが表示されます。

### 関連トピック

- [クエリのカスタマイズ](#)
- [オブジェクトの使用箇所の検索](#)
- [保存されたクエリの実行](#)

---

## 保存されたクエリの実行

以下の操作は、保存されたクエリを実行する方法を示します。

### ステップ ...

- 適切なエクスプローラで、保存クエリを右クリックして**クエリ**を選択します。  
**クエリ** ダイアログボックスが表示されます。検索条件に一致するすべてのオブジェクトが結果フィールドに表示されます。

または

1. メインメニューで、**表示**をクリックし、**クエリ**を選択します。  
**クエリ** ダイアログボックスが表示されます。  
**検索**リストボックスには、セッション中に実行した保存クエリと、デフォルトクエリと作成したすべての保存クエリが表示されます。
2. **保存クエリ** タブをクリックします。
3. 実行する保存クエリをダブルクリックします。  
**クエリ**の**定義**タブを表示し、結果フィールドにクエリ結果を含む**クエリ** ダイアログボックスが表示されます。

### 関連トピック

- [保存されたクエリのエクスプローラへの追加](#)
- [保存されたクエリの検索メニューへの追加](#)
- [クエリのカスタマイズ](#)
- [保存クエリの編集](#)
- [保存クエリの名前変更](#)
- [クエリの保存](#)
- [クエリを新しい名前で作成](#)

---

## 保存クエリの編集

新規リリースの作業に移行したとき、別のチームメンバーのオブジェクトを検索するとき、異なる完了日のタスク情報を集めるときなど、クエリを編集する必要がある場合があります。

### ステップ ...

1. メインメニューで、**表示**をクリックし、**クエリ**を選択します。  
クエリ ダイアログボックスが表示されます。
2. **保存クエリ** タブをクリックします。
3. 編集するクエリを右クリックし、**編集**を選択します。  
クエリの定義タブにクエリ条件が表示されます。
4. 必要に応じてフィールドを削除、追加、または変更してクエリ条件を編集します。
5.  をクリックして変更を保存します。

### 関連トピック

- [保存されたクエリのエクスプローラへの追加](#)
- [保存されたクエリの検索メニューへの追加](#)
- [クエリのカスタマイズ](#)
- [保存クエリの名前変更](#)
- [クエリの保存](#)
- [クエリを新しい名前でも保存](#)

## マージと比較

### マージ

- [2つのファイルバージョン](#)
- [パラレルファイル/ディレクトリのマージ](#)
- [マージ結果の編集](#)
- [次のマージ差分の表示](#)
- [コンフリクトのないマージの適用](#)
- [マージ済みファイルの保存](#)
- [マージ変更のクリア](#)

### 比較

- [2つのファイルの比較](#)
- [パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較](#)
- [パラレルバージョンの表示](#)
- [2つの類似オブジェクトの比較](#)

## マージ

Telelogic Synergy のマージと比較では、デフォルトのツールとして SiberMerge を使用します。以下の情報は、マージと比較の両方に当てはまります。

SiberMerge は、各種の文字コードで書かれたファイルをサポートします。比較またはマージを行うすべてのファイルは、同じファイルコードで書かれている必要があります。たとえば、Shift-JIS で書かれているファイルを UTF-16 で書かれているファイルと比較することはできません。

最初に実行するとき、SiberMerge は2つのファイル `.ccm_merge.enc` と `.ccm_merge.dat` を作成します。

`.ccm_merge.enc` というファイルは、(UNIX) ホームまたは (Windows) プロファイルディレクトリにあり、コード化メニューで提供されるファイルコードのリストを含みます。最初は、このリストにはサポートされているすべてのコードが含まれますが、使用しないコードを削除してメニューを短縮できます。

`.ccm_merge.dat` という名のファイルは、(UNIX) ホームまたは (Windows) プロファイルディレクトリにあり、空白を無視するかどうかなどデフォルトの比較/マージオプションを含みます。このファイルを編集してデフォルトの比較/マージオプションを変更できます。

- [2つのファイルバージョン](#)
- [パラレルファイル/ディレクトリのマージ](#)
- [マージ結果の編集](#)
- [次のマージ差分の表示](#)
- [コンフリクトのないマージの適用](#)
- [マージ済みファイルの保存](#)
- [マージ変更のクリア](#)

---

## 2つのファイルバージョン

この手順により、2つのファイルバージョンの情報をマージします。2つのバージョンをマージすると、新しい3つ目のバージョンが作成されます。

### ステップ ...

1. ファイルを右クリックし、**履歴**を選択します。  
ファイルを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。
2. **履歴**ダイアログボックスで、マージする2つのオブジェクトを選択します。1番目のオブジェクトをクリックし、**Ctrl** キーを押しながら2番目のオブジェクトをクリックします。  
2つのオブジェクトが両方とも反転表示されます。  
先に選択したファイルが、マージユーティリティで **First File** になり、2番目に選択したファイルが **Second File** になります。
3. **履歴**ダイアログボックスのツールバーの選択オブジェクトの**マージ**をクリックします。  
**Merge** ダイアログボックスが表示されます。
4. すべてのコンフリクトを解決し、必要に応じて結果を修正したら、[マージ済みファイルの保存](#)を行います。

### 関連トピック

- [マージ変更のクリア](#)
- [マージ結果の編集](#)
- [コンフリクトのないマージの適用](#)
- [マージ済みファイルの保存](#)
- [次のマージ差分の表示](#)

## パラレルファイル/ディレクトリのマージ

この手順により、2つのパラレルファイルまたはパラレルディレクトリをマージします。

### ステップ ...

ファイルまたはディレクトリを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. マージするファイルまたはディレクトリを右クリックし、**パラレルの表示**を選択します。

**パラレル** ダイアログボックスが表示されます。

複数のパラレルが表示された場合は、**履歴**ダイアログを開いて[オブジェクトまたはリリースの履歴の表示](#)を行い、どのファイルまたはディレクトリにマージすればよいか判断してください。

2. 選択したバージョンとマージするバージョンを選択し、をクリックします。

マージ後のファイルまたはディレクトリが自動的にカレントタスクと関連付けられ、プロジェクトに置かれます。

### 関連トピック

- [2つのファイルの比較](#)
- [パラレルバージョンの表示](#)
- [プロジェクトまたはプロジェクト グループ内のメンバーシップ コンフリクトの解決](#)
- [プロパティの表示](#)

---

## マージ結果の編集

この手順により、マージ結果を変更します。

### ステップ ...

1. **Merge** ダイアログボックスの結果ペインで、編集するセクションを選択します。
2. **Edit** メニューから **Edit** を選択します。  
必要に応じて変更します。セクションが桃色になり、変更が加えられたことが示されます。

### 関連トピック

- [マージ変更のクリア](#)
- [コンフリクトのないマージの適用](#)
- [2つのファイルバージョン](#)
- [マージ済みファイルの保存](#)
- [次のマージ差分の表示](#)

### 次のマージ差分の表示

この手順により、次の差分を画面上部に表示します。

#### ステップ ...

- **Merge** ダイアログボックスのツールバーの **Next change** をクリックします。

#### 関連トピック

- [マージ変更のクリア](#)
- [マージ結果の編集](#)
- [コンフリクトのないマージの適用](#)
- [2つのファイルバージョン](#)
- [マージ済みファイルの保存](#)

---

## コンフリクトのないマージの適用

この手順により、左側のペインと右側のペインでコンフリクトのない変更をすべて結果ペインに適用します。

### ステップ ...

- **Merge** ダイアログボックスのツールバーの **Apply all nonconflicting changes**  をクリックします。

### 関連トピック

- [マージ変更のクリア](#)
- [マージ結果の編集](#)
- [2つのファイルバージョン](#)
- [マージ済みファイルの保存](#)
- [次のマージ差分の表示](#)

## マージ済みファイルの保存

この手順により、マージ結果をファイルに保存します。

**注記：**マージ済みファイルはデフォルト ファイル名で保存する必要があります。そうしないと、Telelogic Synergy がそのファイルをデータベースにコピーできません。

### ステップ ...

- **Merge** ダイアログボックスのツールバーの **Save File** をクリックします。

### 関連トピック

- [マージ変更のクリア](#)
- [マージ結果の編集](#)
- [コンフリクトのないマージの適用](#)
- [2つのファイルバージョン](#)
- [次のマージ差分の表示](#)

---

## マージ変更のクリア

この手順により、結果フィールドから変更をクリアし、マージを再度開始します。マージをやり直すと、結果フィールドの前の内容が完全に変更されます。

### ステップ ...

- **Merge** ダイアログボックスのツールバーの **Back to base blocks**  をクリックします。

### 関連トピック

- [マージ結果の編集](#)
- [2つのファイルバージョン](#)
- [マージ済みファイルの保存](#)
- [次のマージ差分の表示](#)



## 比較

Telelogic Synergy のマージと比較では、デフォルトのツールとして **SiberMerge** を使用します。以下の情報は、マージと比較の両方に当てはまります。

**SiberMerge** は、各種の文字コードで書かれたファイルをサポートします。比較またはマージを行うすべてのファイルは、同じファイルコードで書かれている必要があります。たとえば、Shift-JIS で書かれているファイルを UTF-16 で書かれているファイルと比較することはできません。

最初に実行するとき、**SiberMerge** は2つのファイル **.ccm\_merge.enc** と **.ccm\_merge.dat** を作成します。

**.ccm\_merge.enc** というファイルは、(UNIX) ホームまたは (Windows) プロファイルディレクトリにあり、コード化メニューで提供されるファイルコードのリストを含みます。最初は、このリストにはサポートされているすべてのコードが含まれますが、使用しないコードを削除してメニューを短縮できます。

**.ccm\_merge.dat** という名のファイルは、(UNIX) ホームまたは (Windows) プロファイルディレクトリにあり、空白を無視するかどうかなどデフォルトの比較/マージオプションを含みます。このファイルを編集してデフォルトの比較/マージオプションを変更できます。

- [2つのファイルの比較](#)
- [2つの類似オブジェクトの比較](#)
- [パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較](#)
- [パラレルバージョンの表示](#)

---

## 2つのファイルの比較

この手順により、履歴ダイアログボックスを使用して2つのファイルバージョンの類似点や差分を確認します。

バージョンは書き込み可能でもよく、共通祖先がなくてもかまいません。比較は、2番目に選択したバージョンを基準として行います。

### ステップ ...

ファイルを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. 比較するファイルを右クリックし、履歴を選択します。  
履歴ダイアログボックスが表示されます。
2. 比較する1番目のファイルをクリックし、Ctrl キーを押しながら2番目のファイルをクリックします。選択したものが両方ともハイライト表示されます。
3. 履歴ダイアログボックス ツールバーのをクリックします。  
Compare ダイアログボックスに差分が表示されます。

### 関連トピック

- [オブジェクトを関連オブジェクトと比較](#)
- [パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較](#)
- [パラレルファイル/ディレクトリのマージ](#)
- [パラレルバージョンの表示](#)
- [オブジェクトまたはリリースの履歴の表示](#)

---

## パラレルファイル／ディレクトリと直前バージョンの比較

この手順により、ファイルまたはディレクトリを直前バージョンと比較します。

### ステップ ...

ファイルまたはディレクトリを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

- 比較するファイルまたはディレクトリを右クリックし、**直前バージョンの比較**を選択します。

適切な **Compare** ダイアログボックスに選択したオブジェクト間の差分が表示されます。

### 関連トピック

- [オブジェクトを関連オブジェクトと比較](#)
- [2つのファイルの比較](#)
- [2つの類似オブジェクトの比較](#)
- [パラレルバージョンの表示](#)
- [オブジェクトまたはリリースの履歴の表示](#)

---

## パラレルバージョンの表示

パラレル コンフリクトは、1つのファイルまたはディレクトリに複数のパラレルバージョンがある場合に発生します。プロジェクト内でパラレルバージョンを発見した場合、ファイルと比較してマージ、ファイル履歴の表示、およびファイルのプロパティの表示を行うことができます。

実行する操作によって、意図的に**パラレル** ダイアログボックスを開く場合もあれば、Telelogic Synergy がそれを開いてパラレルについて警告することもあります。

### ステップ ...

ファイルまたはディレクトリを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

- パラレルを表示するファイルまたはディレクトリを右クリックし、**パラレルの表示**を選択します。

**パラレル** ダイアログボックスにパラレルがあるオブジェクトと、パラレルがあるオブジェクトのマージ候補が表示されます。

ダイアログの上部のツールバーを使用して [2つのファイルの比較](#)、[2つのファイルバージョン](#)、[オブジェクトまたはリリースの履歴の表示](#)、および[プロパティの表示](#)を行います。

または

1. 完了するタスクを右クリックして**完了**を選択します。  
タスクがパラレルバージョンを持つオブジェクトを含む場合、**パラレル** ダイアログボックスにコンフリクトが表示されます。
2. [2つのファイルバージョン](#)を行うか、**完了**をクリックしてパラレルを無視し、タスクを完了できます。

または

1. チェックインするファイルまたはディレクトリを右クリックし、**チェックイン**を選択します。  
ファイルまたはディレクトリがパラレルバージョンを含む場合、**パラレル** ダイアログボックスにコンフリクトが表示されます。
2. [2つのファイルバージョン](#)を行うか、**チェックイン**をクリックしてパラレルを無視し、チェックインを続けることができます。

### 関連トピック

- [オブジェクトを関連オブジェクトと比較](#)
- [2つのファイルの比較](#)

- 
- [2つの類似オブジェクトの比較](#)
  - [プロジェクトまたはプロジェクト グループ内のメンバーシップ コンフリクトの解決](#)

---

## オブジェクトを関連オブジェクトと比較

この手順により、オブジェクトバージョンとその関連オブジェクトとの間の類似点および相違点を調べます。プロジェクトをそのベースラインプロジェクトと、プロジェクトグルーピングをそのベースラインと、およびプロセスルールをそのプロセスと比較できます。

### ステップ ...

プロジェクト、プロジェクトグルーピング、またはプロセスルールを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. 適切なオブジェクトを右クリックし、**ベースラインプロジェクトと比較、ベースラインと比較、またはプロセスのプロセスルールと比較**を選択します。

適切な **Compare** ダイアログボックスが表示されます。タブを使用して固有のメンバーおよび共通のメンバーを表示します。

2. オブジェクトを選択して  をクリックし、オブジェクトのプロパティを表示します。
3. オブジェクトを選択して  をクリックし、オブジェクトの履歴を表示します。
4. 最初のバージョンをクリックし、次に **Ctrl** キーを押しながら 2 番目のバージョンをクリックしてから  をクリックして 2 つのオブジェクトバージョンを比較します。

### 関連トピック

- [2つのファイルの比較](#)
- [パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較](#)
- [2つの類似オブジェクトの比較](#)
- [パラレルバージョンの表示](#)
- [プロパティの表示](#)

---

## 2つの類似オブジェクトの比較

この手順により、2つの同一種類のオブジェクト間の類似点および相違点を調べます。以下の種類のオブジェクトを比較できます。

- ディレクトリ
- フォルダ
- フォルダ テンプレート
- プロセス ルール
- プロジェクト
- プロジェクト グルーピング

ファイルも比較できますが、実際はファイルのプロパティではなくファイルの内容が比較されます。

### ステップ ...

1. 必要に応じて[オブジェクトの検索](#)を行います。
2. 適切なオブジェクトを右クリックし、**比較**を選択します。  
選択ダイアログボックスが表示されます。
3. 指定したオブジェクトと比較するオブジェクトを選択し、**OK**をクリックします。  
適切な **Compare** ダイアログボックスに以下の情報が表示されます。
  - ディレクトリ：固有エントリと共通エントリ
  - フォルダとプロセスルール：プロパティとタスク
  - フォルダ テンプレート：プロパティ
  - プロジェクト：固有メンバーと共通メンバー
  - プロジェクト グルーピング：プロパティ、プロジェクト、およびタスク
4. オブジェクトを選択してをクリックし、オブジェクトのプロパティを表示します。
5. オブジェクトを選択してをクリックし、オブジェクトの履歴を表示します。
6. 最初のバージョンをクリックし、次に **Ctrl** キーを押しながら 2 番目のバージョンをクリックしてから をクリックして2つのオブジェクトバージョンを比較します。

### 関連トピック

- [オブジェクトを関連オブジェクトと比較](#)
- [2つのファイルの比較](#)
- [パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較](#)
- [パラレルバージョンの表示](#)

- 
- [プロパティの表示](#)

## ビルドの管理

これらの操作はすべて Telelogic Synergy ヘルプにあります。ここではより一般的な用途を説明し、手法とプロセスは説明していません。このセクションは、**統合テスト**プロジェクトで作業を行うビルド マネージャのニーズに合わせた内容となっています。

- [破損ビルドの修復](#)
- [ビルドの実行](#)
- [再ビルドの実行](#)
- [特定のタスクを使用するビルド](#)
- [ビルドのスナップショットの作成](#)
- [ベースラインなしの再ビルド](#)

## ビルド

- [破損ビルドの修復](#)
- [ビルドの実行](#)
- [再ビルドの実行](#)
- [特定のタスクを使用するビルド](#)
- [ビルドのスナップショットの作成](#)
- [ベースラインなしの再ビルド](#)

---

## 破損ビルドの修復

プロジェクト グループにタスクを追加するかタスクを削除して、ビルドを破壊している関連オブジェクトの修正が必要になる場合があります。タスクの追加または削除を行った後は、更新を行って変更に関連するすべてのファイルを追加または削除する必要があります。

### ステップ ...

1. ビルドの破損の原因となっているオブジェクトを確認します。
2. プロジェクトグループからそのタスクと関連オブジェクトを追加または削除します。  
  
ワーク ペインで、適切なファイルまたはディレクトリを右クリックし、**タスクをプロジェクト グループに追加**または**タスクをプロジェクト グループから削除**を選択します。  
  
**プロジェクト グループ選択**ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで、タスクを追加するプロジェクト グループを選択します。
3. 適切なプロジェクト グループを右クリックし、**ベースラインとタスクの自動更新**を選択します（オプションの左のチェックマークが解除されていることを確認します）。  
  
これにより、他の新規タスクが取得されるのを防ぎます。
4. プロジェクトを更新します（[プロジェクトの更新](#)参照）。
5. 再度プロジェクトをビルドします。
6. 同じプロジェクト グループ（[ステップ 3](#)）を右クリックし、**ベースラインとタスクの自動更新**を選択してこのオプションを有効にします。

### 関連トピック

- [カレントタスクへ追加](#)
- [ベースラインとタスクの更新](#)
- [オブジェクト、タスク、または変更依頼のコピーおよび貼り付け](#)
- [更新時のベースラインとタスクの変更の防止](#)
- [プロジェクトグループからタスクを削除](#)
- [関連タスクの表示](#)

## ビルドの実行

**注記：**これらの操作はすべて Telelogic Synergy ヘルプにあります。ここではより一般的な用途を説明し、手法とプロセスは説明していません。このセクションは、**統合テスト**プロジェクトで作業を行うビルド マネージャのニーズに合わせて内容となっています。

ユーザーのアプリケーションは、プロジェクト階層に分かれた多数のプロジェクトを含んでいます。ここでは、**統合テスト**プロジェクトと呼ばれるビルド管理プロジェクト階層を作成します。これらのプロジェクトは、**統合テスト**プロジェクト グルーピングの一部となり、開発者がチェックインした最新の完了タスクを収集、ビルド、およびテストできます。このプロジェクト階層のメンバーは、特定リリース用のすべての完了タスクに対するクエリ操作を行うことによって取り込まれます。

開発者が完了したタスクをまとめてビルドアプリケーションが正常に稼動することを確認したい、またはテスト用の共通エリアを開発者に提供したい、などの理由から、この**統合テスト** プロジェクトは頻繁にビルドされるでしょう。数多くの開発チームがこういった**統合テスト**プロジェクトをビルドしています。チームのニーズに合ったビルドのスケジュールを立てることも当然といえるでしょう。

### ステップ ...

プロジェクト グルーピングを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

1. 適切な**統合テスト**プロジェクト グルーピングを右クリックし、**更新**をポイントし、**すべてのプロジェクト**を選択します。

更新操作は、すべての完了タスクをクエリし、**統合テスト**プロジェクト グルーピング内でそれらを置き換え、プロジェクトのメンバーシップを更新します。

2. メンバーシップ コンフリクトを特定して解決します (詳細については、[プロジェクトまたはプロジェクト グルーピング内のメンバーシップ コンフリクトの解決](#)を参照してください)。
3. 製品をビルドします。

ビルドが無事終了したら、アプリケーションの開始、頻繁に使用する操作の実行、アプリケーションの終了など、一連の基本的な操作を行ってビルドの整合性を確認し、ビルドの結果をテストする必要があります。

**注記：**ビルドが失敗した場合は、[再ビルドの実行](#)を参照してください。

4. [ビルドのスナップショットの作成](#)を行います。

さらにテストを行うためチームのテストベースラインを作成する場合、全員が使用するためのベースラインの公開およびリリースは行わないでください。

---

開発者がすぐに統合テストビルドを使用できるようにするには、ベースラインの作成時に**公開**チェックボックスを設定します。

**注記：**チームの要件が変わり、ビルドにタスクを追加するかビルドからタスクを除外する必要がある場合は、[再ビルドの実行](#)を参照してください。

## 再ビルドの実行

**注記：**これらの操作はすべて Telelogic Synergy ヘルプにあります。ここではより一般的な用途を説明し、手法とプロセスは説明していません。このセクションは、**統合テスト**プロジェクトで作業を行うビルド マネージャのニーズに合わせて内容となっています。

ビルドを行うということは、**統合テスト**プロジェクトグループのすべての完了タスクを集めて統合テスト用にビルドすることです。再ビルドを行うということは、**統合テスト**プロジェクトグループに手動でタスクを追加するか除外し、変更だけを再ビルドすることです。

### 破損ビルドの再ビルドについて

以下の理由でチームのアプリケーションを再ビルドする必要があるかもしれません。

- ビルドの要件が変わり、新しい機能を追加する必要がある。
- ビルドの要件が変わり、新しい機能を削除する必要がある。
- テスト チームがテスト時に問題を発見し、新しいビルドを必要とする。
- ビルドに必要なタスクが含まれていない（たとえば、時間までに完了しなかった、またはリリースが正しく設定されていないなど）。
- タスクに関連するオブジェクトがビルドを破壊しているため除去する必要がある。
- 開発者が、誤動作するタスクを修正するタスクを完了したので、その修正タスクをビルドに追加する必要がある

ビルドが破損している理由に拠らず、通常は再ビルドを行って修正します。再ビルドは、プロセス内の任意のタイミングで起きる可能性があります。また、ビルドの破損は、任意のマイルストーンで発生し得ます。要件の変更がいつでも起こりうるのと同じです。**統合テスト**プロジェクトを頻繁にビルド（通常は**システム テスト**プロジェクトほどは安定していませんので）していれば、同様に再ビルドも頻繁に行われ得ます。再ビルドの作業フローは以下のとおりです。

- **統合テスト**プロジェクト グループのベースラインとタスクが更新時に変更されないようにする。
- **統合テスト**プロジェクト グループのタスクを手動で追加、削除、または除外する。  
1 つまたは複数のタスクの追加、追加と削除、除外、またはその任意の組み合わせを行うことがあります。これをすばやく行うこともあれば、数日かけて行うこともあります。
- **統合テスト**プロジェクト グループを更新する。
- メンバーシップコンフリクトを特定して解決する。

---

自分でコンフリクトを解決するかチームメンバーがコンフリクトを解決します。すばやく解決することも、数日かけて解決することもあります。

- 製品を再ビルドします。  
1つか2つのタスクを追加または削除する小さな製品をビルドする場合、ビルドがすぐ終わり、テストが直ちに成功する可能性があります。しかし、もし製品をビルドできない場合には、規模にかかわらず[ベースラインなしの再ビルド](#)を参照して作業をしてください。
- ベースラインを作成する。
- **統合テストプロジェクト** グルーピングのベースラインとタスクが更新時に変更されるようにする。

以下の手順では、[ビルドにタスクを追加](#)するか[ビルドからタスクを削除](#)してから再ビルドする方法を示します。

### ビルドにタスクを追加

プロジェクト グルーピングを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

#### ステップ ...

1. 適切な**統合テストプロジェクト**グルーピングを右クリックして**プロパティ**を選択します。  
**プロパティ** ダイアログボックスが表示されます。
2. **自動更新**チェックボックスを選択解除し、**適用**をクリックします。  
これにより、更新操作時にベースラインとタスクが変更されなくなります。詳細については、[更新時のベースラインとタスクの変更の防止](#)を参照してください。
3. **タスク**タブをクリックします。  
このタブには、このダイアログボックスまたは**タスク** コンテキスト メニューか**アクション** メイン メニューの**プロジェクト グルーピングへ追加**オプションを使用してプロジェクト グルーピングに手動で追加したタスクが表示されます。  
タスクをプロジェクト グルーピングに追加する各種の方法の詳細については、[プロジェクトの更新プロパティの変更](#)の「タスクの追加」を参照してください。
4. **タスクの追加**ボタンをクリックします。  
**タスク**選択ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスを使用して、プロジェクト グルーピングに追加するタスクを検索できます。
5. タスクを選択して **OK** をクリックします。  
1つまたは複数のタスクを選択できます。

6. **統合テストプロジェクトグルーピング**を右クリックし、**更新**をポイントし、**すべてのプロジェクト**を選択します。

更新操作は、新しいタスクから変更を取り込みます。

7. **メンバーシップコンフリクト**を特定して解決します（詳細については、[プロジェクトまたはプロジェクトグルーピング内のメンバーシップコンフリクトの解決](#)を参照してください）。

タスクを追加すると、依存関係が破損した結果、コンフリクトが発生することがあります。たとえば、追加したタスクに依存するタスクで追加していないものがある場合、これらの依存関係を調べ、コンフリクトを解決する最善の方法を決定する必要があります。

8. 製品を再ビルドします。

再ビルドが無事終了したら、アプリケーションの開始、頻繁に使用する操作の実行、アプリケーションの終了など、ビルドの整合性を確認する一連の基本的な操作を行ってビルドの結果をテストする必要があります。

9. [ビルドのスナップショットの作成](#)を行います。

さらにテストを行うためチームのテストベースラインを作成する場合、全員が使用するためのベースラインの公開およびリリースは行わないでください。

開発者がすぐに統合テストビルドを使用できるようにするには、ベースラインの作成時に**公開**チェックボックスを設定します。

10. **統合テストプロジェクトグルーピングのプロパティダイアログボックス**で**プロパティ**タブをクリックし、**自動更新**チェックボックスを選択します。

これでベースラインとタスクが次の更新操作時に変更できるようになります。

### ビルドからタスクを削除

#### ステップ ...

1. 適切な**統合テストプロジェクトグルーピング**を右クリックして**プロパティ**を選択します。

**プロパティ** ダイアログボックスが表示されます。

2. **自動更新** チェックボックスを選択解除します。

これにより、更新操作時にベースラインとタスクが変更されなくなります。詳細については、[更新時のベースラインとタスクの変更の防止](#)を参照してください。

3. [タスクの削除](#)を行います。

4. あるいは、[タスクの除外](#)を行うこともできます。

---

タスクを除外することにより、それが**統合テストプロジェクト** グルーピングおよびチームメンバーのプロジェクトが更新されると、それらと関連付けられるのを防ぎます。これはビルドを破損するオブジェクトを**統合テストプロジェクト**および開発者のプロジェクトに入れないために必要です。

チームメンバーが不良タスクを得るのを防ぐためにタスクを除外している場合、[タスクを指定して別タスクを修正](#)する必要もあるかもしれません。この操作は、問題タスクとそれを修正するタスクの間関係を作ります（この関係は、コンフリクト検出を使用する場合に便利です）。

5. **統合テストプロジェクト** グルーピングを右クリックし、**更新**をポイントし、**すべてのプロジェクト**を選択します。

機能を削除する場合、更新操作は除外したタスクからオブジェクトを除外します。修正タスクを作成した場合、更新操作は、修正タスクが完了していればそこから変更を取り込みます。新規修復タスクのみ使用する場合、それを追加できます（[ビルドにタスクを追加](#)を参照してください）。

6. コンフリクトを特定し、解決します（詳細については、[プロジェクトまたはプロジェクト グルーピング内のメンバーシップ コンフリクトの解決](#)を参照してください）。

タスクを削除すると、依存関係の破損からコンフリクトが発生することがあります。たとえば、削除したタスクに依存する他のタスクがある場合、これらの依存関係を調べ、コンフリクトを解決する方法を決定する必要があります。

7. 製品を再ビルドします。
8. [ビルドのスナップショットの作成](#)を行います。

さらにテストを行うためチームのテストベースラインを作成する場合、全員が使用するためのベースラインの公開およびリリースは行わないでください。

開発者がすぐに統合テストビルドを使用できるようにするには、ベースラインの作成時に**公開**チェックボックスを設定します。

9. **統合テストプロジェクト** グルーピングの**プロパティ** ダイアログボックスで**プロパティ** タブをクリックし、**自動更新**チェックボックスを選択します。

これでベースラインとタスクが次の更新操作時に変更できるようになります。

**注記：**問題タスクによる変更を含むベースラインを作成して公開すると、そのタスクを除外してもビルドになんら効果はありません。問題タスクに起因する変更をバックアウトするために、修正タスクと新しいバージョンを作成する必要があります。その後で、別のベースラインを作成、公開して開発者が変更を利用できるようにします。

バックアウトまたは修正を簡単に行うことができない場合は、ベースラインに削除のマークを付けてピックアップされる（そして前のベースラインが使われる）のを防ぎます。

---

## 特定のタスクを使用するビルド

**注記：**これらの操作はすべて Telelogic Synergy ヘルプにあります。ここではより一般的な用途を説明し、手法とプロセスは説明していません。このセクションは、**統合テスト**プロジェクトで作業を行うビルド マネージャのニーズに合わせて内容となっています。

チームがほとんどのアプリケーションをコーディングし終わり、コードの凍結を完了した後に、選択的ビルドを行うことができます。これらのビルドは、すべての完了タスクを含むわけではありません。特定のタスクのみを含めることができます。

### 大小のチームにおける作業フロー

チームが小規模で、アプリケーションが大きなアプリケーションの一部である場合、ユーザー自身がビルドに含めるタスクを決定する唯一の人かもしれません。作業フローは以下のようになります。

- コードの凍結は終了し、開発者とテスターがアプリケーションを使用しています。彼らは、開発者 Joe のエリアで修正する必要がある問題を見つけます。
- Joe がタスクを作成し、自分自身に割り当てます。彼は修正を作成し、タスクを完了します。
- Joe はビルド マネージャの Bob にこのタスクを含める必要があることとその理由を通知します。Bob は、変更を許可し、手動でそのタスクを次のスケジュール ビルドに追加します。

チームが大規模で、アプリケーションが納品物であるような場合は、あなたは変更管理委員会の一人として動き、要件を満足する高品質製品を納品するために必要なタスクを決定しなければならないでしょう。その場合のフローは以下のようになります。

- コードの凍結は終了し、SQE がアプリケーションをテストしています。いくつかの問題がみつき、Telelogic Change を使用してその問題を提出します。
- プログラム マネージャは、各変更管理委員会メンバーに SQE からの変更依頼のリストを渡し、チームはどれを修正するかを決定します。
- ビルド マネージャは修正するタスクをチーム メンバーに割り当て、彼らに次のビルド日付を通知します。
- 開発者が割り当てられたタスクを完了すると、彼らはビルド マネージャに通知し、ビルド マネージャは手動で完了したタスクをビルドに追加します。

この時点で、ビルド マネージャは次の方法でタスクをビルドに追加できます。

ステップ ...

1. 適切な**統合テストプロジェクト グループ**を右クリックし、**ベースラインとタスクの自動更新**を選択し、チェックマークが解除されていることを確認します。  
これにより、更新操作時にベースラインとタスクが変更されなくなります。詳細については、[更新時のベースラインとタスクの変更の防止](#)を参照してください。
2. 承認されたタスクを以下の方法でプロジェクト グループに追加します。
  - 承認されたタスクをプロジェクトグループにドラッグアンドドロップする。
  - 承認されたタスクを右クリックする。説明については、[プロジェクトグループにタスクを追加](#)を参照してください。
  - **プロジェクトグループプロパティ** ダイアログボックスの**タスク** タブで**手動で追加されたタスク**テーブルを使用する。手順については、[再ビルドの実行](#)の「変更の追加」を参照してください。
3. **統合テストプロジェクト グループ**を右クリックし、更新をポイントし、**すべてのプロジェクト**を選択します。  
更新操作は、新しいタスクから変更を取り込みます。
4. コンフリクトを特定し、解決します（詳細については、[プロジェクトまたはプロジェクトグループ内のメンバーシップコンフリクトの解決](#)を参照してください）。
5. 製品を再ビルドします。
6. [ビルドのスナップショットの作成](#)を行います。  
ビルドの品質に満足したら、テスト ベースラインを作成できます。このテスト ベースラインは、SQE が使用できるように、また開発者がビルドの変更を確認できるように、保存したビルドのコピーであり、チーム全員が使用できるように公開、リリースしたものではありません。  
**統合テストプロジェクト グループ**に対して**自動更新**はまだ無効になっています。再びすべての完了タスクを受け入れる準備ができればそれを有効にできます。

---

## ビルドのスナップショットの作成

**注記：**これらの操作はすべて Telelogic Synergy ヘルプにあります。ここではより一般的な用途を説明し、手法とプロセスは説明していません。このセクションは、**統合テスト**プロジェクトで作業を行うビルド マネージャのニーズに合わせた内容となっています。

無事**統合テスト**プロジェクトをビルドしたら、テスターがそのテストを開始し、開発者がテストされるビルドに含まれるものを確認できるようビルドのスナップショットを作ることができます。このスナップショットは、テスト ベースラインです。つまり、まだ全員に公開する準備はできていません。

SQE がビルドをテストし、それがテストに合格したら開発者が使用するためにベースラインを公開できます。

以下にテストベースラインを作成する手順を示します。

- ビルド マネージャが**統合テスト**プロジェクトを作成し、ビルドが成功する。
- ビルド マネージャがテスト ベースラインを作成する。
- ベースライン テストが開始し、開発者はビルドに含まれるものを確認することができます。
- ビルドがテストに合格し、ビルド マネージャが開発者に公開する準備ができる。

### ステップ ...

1. 適切な**統合テスト**プロジェクトグルーピングを右クリックして**ベースラインの作成**を選択します。

**ベースラインの作成**ダイアログボックスが表示されます。

**注記：**ベースラインを作成するとき、ベースラインに含めるプロジェクトのリストを選択します。参照用に完全なセットができるよう、必ずベースラインに関連する**すべて**のプロジェクトを含めてください。

2. 必要な場合、**名前**、**詳細**、および**ビルド** プロパティを変更します。

- **名前**

ベースラインの名前を指定します。これは、このデータベース内でベースラインを一意に識別します。デフォルトで、Telelogic Synergy は、作成日を使用してベースラインに名前を付けます。たとえば、20040309 は、2004 年 3 月 9 日を意味します。ただし、これは変更できます。/ ¥ ¡ " : ? \* [ ] @ - # は、禁止されており、名前には使用できません。

**注記：**複数のデータベースにベースラインを作成し、Telelogic Change を使用してこれらのビルドのレポートを作成する場合、各データベースで同じベースライン名を使用します。これにより、複数のデータベースで関連するベースラインを持つビルド レポートを作成できます。

- **詳細**

作成するベースラインの説明を入力します。

- **ビルド**

ビルド プロパティは、ベースラインに関連するビルドの識別子（文字、数字、またはその組み合わせ）を示します。ビルド識別子は、最大 64 文字まで含むことができます。

3. **OK** をクリックします。

4. ビルドがテストに合格すると、ビルド マネージャは開発者にテストベースラインを公開できます。

上記のステップは、単にビルド マネージャがテスト ベースラインを作成して使用方法を説明しています。ベースライン管理ではさらにいろいろなことを考慮する必要があります。たとえば、ベースライン内のプロジェクトの変更、作成時のベースラインの公開、作成時のベースラインおよびオブジェクトのリリースなど。

---

## ベースラインなしの再ビルド

**注記：**これらの操作はすべて Telelogic Synergy ヘルプにあります。ここではより一般的な用途を説明し、手法とプロセスは説明していません。このセクションは、**統合テスト**プロジェクトで作業を行うビルド マネージャのニーズに合わせて内容となっています。

ベースラインを作成するとき、公開したベースラインを通してチームに追加、削除、または除外したタスクを通知します。たとえば、タスクを除外した場合、チーム メンバーはプロジェクトを更新して新しいベースラインを得るとタスクが除外されたことを知ります。

アプリケーションがビルドできなかった、またはテストに失敗したなどの理由でベースラインが作れなかった場合、別の方法でチームに通知する必要があります。

このケースでは、ビルドの方法論が以前のケースとは異なります。ビルドが作成できないので、ベースライン作成前に、開発者にテストを実施させて問題を修復させる必要があります。以下にこれを行う方法を説明します。

### ステップ ...

開発者に、ビルドが破損していて彼らが完了タスクをテストし修正する必要があることを通知します。

1. 開発者は、**統合テスト**プロジェクト グループングを右クリックし、**すべてのタスクのコピー**を選択する必要があります。

これにより開発者は最新のタスクを得ることができます。

2. 開発者は、タスクをその適切なプロジェクト グループングに貼り付けます。

プロジェクトは、**統合テスト**プロジェクト グループングに含まれる同じタスクを多数含む可能性があります。Telelogic Synergy は開発者のプロジェクト グループングにないタスクのみを貼り付けます。

3. 開発者はタスクをテストおよび修正し、タスクが完了したら通知します。
4. 完了したタスクを手動で**統合テスト**プロジェクト グループングに追加します。[\(ビルドにタスクを追加\)](#)を参照してください。

5. 製品を再ビルドします。

これでビルドの問題が解決する可能性もあります。しかし、ビルドの成功までにテストと修正を繰り返す場合もあります。

6. ビルドが正しく作成され品質基準をパスしたら、[ビルドのスナップショットの作成](#)を実施します。



## インターフェイスのカスタマイズ

### エクスプローラの使用

- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- エクスプローラのカスタマイズ
- 1つ以上のエクスプローラのドッキング
- エクスプローラ内でのクエリ結果のグループ化
- 保存されたクエリのエクスプローラへの追加
- 保存されたクエリの検索メニューへの追加
- エクスプローラの使用するクエリの結果を最新にする
- 保存クエリの削除

### インターフェイスの外観の変更

- カラム表題部にプロパティを追加
- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 色の変更
- フォントタイプとサイズの変更
- ワーク ペインの外観の変更
- プロジェクトを閉じる
- リリース エクスプローラの表示
- セッション中に選択を最新の状態に更新
- カラム表題部からプロパティを削除
- ワーク ペインからのタブの削除
- プロパティ ダイアログボックスのセキュリティ タブの表示

## エクスプローラの使用

- [1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる](#)
- [エクスプローラのカスタマイズ](#)
- [1つ以上のエクスプローラのドッキング](#)
- [エクスプローラ内でのクエリ結果のグループ化](#)
- [保存されたクエリのエクスプローラへの追加](#)
- [保存されたクエリの検索メニューへの追加](#)
- [エクスプローラの使用するクエリの結果を最新にする](#)
- [保存クエリの削除](#)

---

## 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる

この手順により、1つまたはすべてのドッキングされているエクスプローラを閉じます。

### ステップ ...

- ドッキングされている1つのエクスプローラを閉じるには、**プッシュピン** アイコンをクリックします。
- ドッキングされているすべてのエクスプローラを閉じるには、エクスプローラ ツールバー上部の **X** アイコンをクリックします。

### 関連トピック

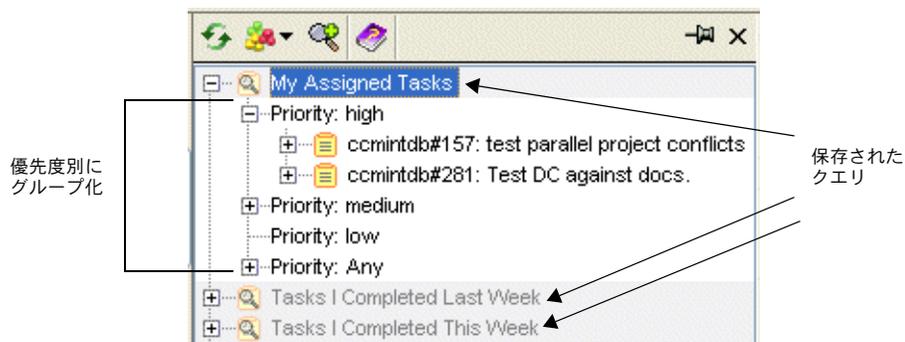
- [保存されたクエリのエクスプローラへの追加](#)
- [エクスプローラのカスタマイズ](#)
- [1つ以上のエクスプローラのドッキング](#)
- [エクスプローラ内でのクエリ結果のグループ化](#)
- [エクスプローラの使用するクエリの結果を最新にする](#)

## エクスプローラのカスタマイズ

各エクスプローラは、プロジェクト、タスク、変更依頼など特定のオブジェクトを表示します。エクスプローラに表示されるオブジェクトは、オブジェクトの種類を返すクエリで定義します。たとえば、**タスクエクスプローラ**は、**自分に割り当てられたタスク**を表示します。

クエリを追加、削除、または移動してエクスプローラに表示できるオブジェクトを変更できます。**Telelogic Synergy** は、一般的に必要なオブジェクトの定義済みクエリを提供しています。エクスプローラに任意の定義済みクエリを追加するか、独自のものを作成できます。

保存クエリ内では、オブジェクトをプロパティ別にグループ化できます。たとえば、**タスクエクスプローラ**では、下図のようにタスクを優先度別にグループ化できます。



以下のヘルプ トピックは、エクスプローラをカスタマイズする方法を示します。

- [クエリのカスタマイズ](#)  
クエリ文節要素（関数、比較演算子、論理演算子など）を使用してカスタムクエリを作成する方法を示します。
- [クエリの定義](#)  
データベース内のオブジェクトを探す方法を示します。
- [オブジェクトの検索](#)  
検索メニューを使用してデータベース内のオブジェクトを検索する方法を示します。
- [オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ](#)  
データベース内で定義済みバージョン基準と一致するプロジェクトを検索する方法を示します。
- [保存されたクエリの実行](#)  
独自に保存されたクエリまたはシステム クエリを実行する方法を示します。

---

- [クエリの保存](#)

カスタムクエリを作成した後、クエリを保存する方法を示します。

上記のステップを完了してクエリを保存したら、適切なエクスプローラから[保存されたクエリのエクスプローラへの追加](#)または[保存されたクエリの検索メニューへの追加](#)を行うことができます。

#### 関連トピック

- [エクスプローラ内でのクエリ結果のグループ化](#)
- [エクスプローラの使用するクエリの結果を最新にする](#)

## 1つ以上のエクスプローラのドッキング

エクスプローラを使った作業には2通りのやり方があります。エクスプローラを開始すると、スライドペインに表示されます。エクスプローラを表示するペインは、**ワーク** ペインの一部にスライドして表示されます。**ワーク** ペイン内のオブジェクトまたはプロジェクトタブをクリックすると、エクスプローラがスライドして戻ります。再表示するには、もう一度エクスプローラ ボタンをクリックする必要があります。

**プッシュピン**アイコンをクリックしてエクスプローラをドッキングすると、**ワーク** ペインとメインウィンドウ スペースを共有するドッキングされたペインが表示されます。エクスプローラをドッキングすると、他のエクスプローラやプロジェクトを表示しても表示されたままになります。これは、常に複数のエクスプローラを使用して作業する場合に便利です。

複数のエクスプローラをドッキングすることも可能です。ドッキングすると、エクスプローラは**エクスプローラ** ツールバーと**ワーク**ペインの間に縦に重ねて表示されます。

### ステップ ...

1. **エクスプローラ** ツールバーで、適切なエクスプローラボタンをクリックして表示します。  
エクスプローラが、**エクスプローラ**ツールバーの右で**ワーク** ペインの一部の上にスライドします。
2. **エクスプローラ** ツールバーで、**プッシュピン**アイコンをクリックしてエクスプローラをドッキングします。
3. 別のエクスプローラでステップ1を繰り返し、**プッシュピン**アイコンをクリックしてドッキングします。

### 関連トピック

- [保存されたクエリのエクスプローラへの追加](#)
- [1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる](#)
- [エクスプローラのカスタマイズ](#)
- [エクスプローラ内でのクエリ結果のグループ化](#)
- [エクスプローラの使用するクエリの結果を最新にする](#)

---

## エクスプローラ内でのクエリ結果のグループ化

この手順により、エクスプローラ内でクエリ結果の表示構成を変更します。

各プロジェクト、タスク、変更依頼には一連のプロパティがあります。グループ化機能を使用し、プロパティの重要度に従って、クエリ結果を再構成してデータベース内に表示させることができます。たとえば、20 個のタスクが割り当てられている場合、重要度が高いものをもっとも見やすく表示するようにタスクをグループ化できます。他の例としては、リリースの進捗状況がわかるように最近作られたベースラインをリリース別に集めることができます。変更依頼については、特定のクライアントが提出したすべての CR を追跡している場合、クエリ結果を提出者別にグループ化してすばやく検索できます。

### ステップ ...

1. **エクスプローラ** ツールバーで、適切なクエリを右クリックしてから、**グループ化**をクリックし、クエリ結果をグループ化するオプションを選択します。  
  
あるいは、適切なエクスプローラで、内容を再構成したいクエリをクリックします。 をクリックしてオプションを選択します。  
  
変更を行うと、選択したクエリの結果の構成が変わります。
2. 他のクエリまたは別のエクスプローラのクエリに同じ変更を行うには、上記ステップ 1 を繰り返します。

### 関連トピック

- [保存されたクエリのエクスプローラへの追加](#)
- [1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる](#)
- [エクスプローラのカスタマイズ](#)
- [1つ以上のエクスプローラのドッキング](#)
- [エクスプローラの使用するクエリの結果を最新にする](#)

## 保存されたクエリのエクスプローラへの追加

この操作を使用して、クエリをエクスプローラに追加します。クエリを追加すると、簡単にクエリ結果を表示し、クエリ結果の関連オブジェクトも表示して、結果をカテゴリ別にグループ化できます。保存するクエリの例としては、チームメートのプロジェクトとタスク、すべてのリリース済みベースライン、あるいは自分のチームの過去1ヶ月の完了タスクなどがあります。

プロジェクトエクスプローラにプロジェクト、プロジェクト グルーピング、ベースラインのクエリを追加でき、**タスク** エクスプローラにタスクのクエリを追加でき、**変更依頼** エクスプローラに変更依頼のクエリを追加（Telelogic Change がインストールされている場合）でき、**リリース** エクスプローラにはプロセス、プロセスルール、リリース、フォルダ テンプレートのクエリを追加できます。エクスプローラには、オブジェクトのクエリを追加できないことに注意してください。

以下の手順は、エクスプローラにクエリを追加する方法を示します。

### ステップ ...

1. **エクスプローラ** ツールバーで、 をクリックします。  
クエリの**選択**ダイアログボックスが表示されます。
2. エクスプローラに追加するクエリを選択して **OK** をクリックします。  
追加されたクエリが適切なクエリの下に表示されます。  
**作成** をクリックして **クエリの作成** ダイアログボックスを開いてクエリを作成することもできます。  
あるいは、**クエリ** ダイアログボックスを開き、**クエリの定義** タブをクリックして **クエリの定義** を行うこともできます。**クエリの保存** を行ったら、**エクスプローラに追加** を右クリックして選択してエクスプローラに追加することができます。

### 関連トピック

- [エクスプローラのカスタマイズ](#)
- [クエリのカスタマイズ](#)
- [1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる](#)
- [1つ以上のエクスプローラのドッキング](#)
- [エクスプローラの使用するクエリの結果を最新にする](#)
- [エクスプローラ内でのクエリ結果のグループ化](#)

---

## 保存されたクエリの検索メニューへの追加

この操作により、**検索メニュー**に保存クエリを追加します。**検索メニュー**に保存クエリを追加することで、チームメイトのプロジェクトやタスク、リリース済みの全ベースライン、その他、ほとんどのものに簡単にたどり着くためのショートカットを作成することができます

この方法は、エクスプローラを表示せずに作業を行っているときに、ベースライン、ディレクトリ、ファイル、プロジェクト、タスク、フォルダ、フォルダ テンプレート、プロセスルールおよびリリースを簡単に検索したい場合に便利です。

**検索メニュー**内のクエリは、自分の条件を使用してオブジェクトを検索できるよう選択ダイアログボックスにも用意されています。

### ステップ ...

1. **表示メニュー**から**クエリ**ダイアログボックスを開きます。
2. **クエリ**ダイアログボックスで、**保存クエリ**タブをクリックし、**検索メニュー**に追加できるすべてのクエリを表示します。
3. 適切なクエリを右クリックして**検索メニュー**に**追加**を選択します。

追加したクエリは、メインメニューの**検索メニュー**の最下部に表示されます。**検索メニュー**からクエリを選択すると、**クエリ**ダイアログボックス内にクエリの結果が表示されます。

**検索メニュー**には一度に複数の保存クエリを追加できます。すでに**検索メニュー**にある保存クエリを右クリックすると、**検索メニュー**から削除操作を行うことができます。

### 関連トピック

- [クエリの保存](#)
- [保存クエリの削除](#)
- [保存クエリの編集](#)
- [保存クエリの名前変更](#)
- [保存されたクエリの実行](#)
- [保存クエリを表示](#)

## エクスプローラの使用するクエリの結果を最新にする

この操作を使用して、エクスプローラに表示されているクエリ結果を最新の情報に更新します。

一部のクエリ (Telelogic Synergy が提供するクエリ) は、クエリに関連する操作を行うと自動的に最新の情報に更新されます。たとえば、クエリを作成して自分に割り当てると、**自分に割り当てられたタスク保存クエリ**が自動的に最新の情報に更新されます。自分で作成したクエリは、自動的に最新の情報に更新されません。この場合、以下の操作を行って手動でクエリ結果を最新の情報に更新する必要があります。

### ステップ ...

1. エクスプローラで、最新の情報に更新したいクエリを検索します。
2. クエリを右クリックして**結果の再表示**を選択します。  
クエリが実行され、適切な変更が行われます。

### 関連トピック

- [保存されたクエリのエクスプローラへの追加](#)
- [1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる](#)
- [エクスプローラのカスタマイズ](#)
- [1つ以上のエクスプローラのドッキング](#)
- [エクスプローラ内でのクエリ結果のグループ化](#)

---

## 保存クエリの削除

以下の手順は、保存クエリを切り取る、または削除する方法です。たとえば、エクスプローラから **My 1.0 Patch Projects** を取り除くような場合です。

### ステップ ...

- 適切なエクスプローラで保存クエリ（例、**My 1.0 Patch Projects**）を右クリックし、**切り取り**を選択します。

保存クエリはまだ残っており、**クエリの選択**ダイアログボックス内から再び表示および使用できます（詳細については、[保存されたクエリのエクスプローラへの追加](#)を参照してください）。

保存クエリが不要になった場合は、**削除**を選択します。**削除**は**タスクエクスプローラ**のコンテキストメニューからは使用できません。

デフォルト保存クエリ（**My Project Groupings** または **Build Management Project Groupings** など）は、**切り取る**ことはできますが、**削除**することはできません。

### 関連トピック

- [保存されたクエリの検索メニューへの追加](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [保存クエリの編集](#)
- [保存クエリの名前変更](#)
- [保存されたクエリの実行](#)
- [クエリの保存](#)
- [保存クエリを表示](#)



## インターフェイスの外観の変更

- [カラム表題部にプロパティを追加](#)
- [ダイアログボックスとペインのカスタマイズ](#)
- [色の変更](#)
- [フォントタイプとサイズの変更](#)
- [ワーク ペインの外観の変更](#)
- [プロジェクトを閉じる](#)
- [リリース エクスプローラの表示](#)
- [カラム表題部からプロパティを削除](#)
- [ワーク ペインからのタブの削除](#)
- [セッション中に選択を最新の状態に更新](#)
- [プロパティ ダイアログボックスのセキュリティ タブの表示](#)

---

## ダイアログボックスとペインのカスタマイズ

表を含むすべてのダイアログボックスでカラムを追加、整理、削除して表内の情報を表示する位置をカスタマイズできます。

### ステップ ...

1. [カラム表題部にプロパティを追加](#)します。
2. [カラム表題部からプロパティを削除](#)します。
3. カラムの順序を変更するには、カラム表題部を表題部バー内の目的の場所までドラッグします。
4. カラム幅を変更するには、カラム表題部の境界部分をドラッグして目的の幅にします。

テキストがカラム内に収まりきらない場合は、末尾が省略記号になります。

Telelogic Synergy では、カラム表題部の設定はすべてセッション終了時に保存されます。設定を変更すると、新しい設定がデフォルトのカラム設定になります。

---

## 色の変更

Telelogic Synergy では、自分のスタイルに合わせて色の設定を変更できます。

設定された色は、すべてのエクスペローラ、ダイアログボックス、およびペインに適用されます。

表示タブの色ペインを使用して以下を行います。

- [選択色の変更](#)
- [加線色の変更](#)
- [文字色の変更](#)
- [プロジェクトアイコン色の変更](#)

### ステップ ...

1. メイン メニューで**ツール**をクリックし、**オプション**を選択して**オプション** ダイアログを開きます。
2. **表示**タブをクリックし、左のペインで**色**をクリックします。
3. 色を変更します。
  - a. **選択色の変更**

中央のペインで**選択**をクリックします。

前景色と背景色を変更できます。大きい色ボックスは、現在選択されている色設定を示します。**プレビュー**に選択色の表示例が示されます。
  - b. **加線色の変更**

中央のペインで**行**をクリックします。

奇数行と偶数行の背景色をそれぞれ変更できます。大きい色ボックスは、加線の現在の色設定を示します。**プレビュー**に色の表示例が示されます。
  - c. **文字色の変更**

中央のペインで**オブジェクト テキスト**をクリックします。

修正可能テキストと修正不能テキストの両方について、それぞれ色を変更できます。大きい色ボックスは、文字の現在の色設定を示します。**プレビュー**に色の表示例が示されます。
  - d. **プロジェクトアイコン色の変更**

中央のペインで**プロジェクトアイコン**をクリックします。

目的別にプロジェクトアイコンに表示される色を変更できます。3 番目のペインの右のボックスは、各種目的の現在の色設定を示します。**プレビュー**に色の表示例が示されます。

- 
4. カラーパレットで色を右クリックしてデフォルトの色を変更します。  
さらに、カラーパレット内でグレーのボックスの1つを右クリックし、**色の設定**ダイアログボックスで以下のいずれかを行って色を設定することもできます。
    - \* **サンプル**タブで標準色を選択する。
    - \* **HSB** タブで色の色相、彩度、明度を設定してカスタム色を作成する。
    - \* **RGB** タブで赤、緑、青を「混ぜて」カスタム色を作成する。色をカスタム色に変更して、前景と背景、加線、文字、またはアイコンに適用すると、その色が保存され、このセッションおよび他のセッションで使用されます。
  5. 変更を行った後デフォルトの設定に戻るには、**デフォルト設定**をクリックします。
  6. **適用**または **OK** をクリックして変更を保存します。

#### 関連トピック

- [フォントタイプとサイズの変更](#)
- [ワークペインの外観の変更](#)

---

## フォント タイプとサイズの変更

すべてのエクスペローラ、ペイン、ダイアログボックスに表示されるフォントのタイプとサイズを変えることができます。さらに、Telelogic Synergy が表示するすべてのメッセージのフォントのタイプとサイズを設定することもできます。

### ステップ ...

1. メイン メニューで**ツール**をクリックし、**オプション**を選択して**オプション** ダイアログを開きます。
2. **表示**タブをクリックし、左のペインで**フォント**をクリックします。
3. **通常**または**メッセージ** フォント タイプを変更します。

**通常**または**メッセージ**のいずれか適切な方をクリックします。

フォントタイプを論理フォントまたは物理フォントに変更できます。論理フォントは、Java Runtime Environment に存在することが保証されるフォントです。これらは**すべてを表示**チェックボックスにチェックマークがついていないときに表示されます。物理フォントは、パソコンにインストールされているフォントです。これらは、**すべてを表示**チェックボックスが選択されているときに表示されます。

デフォルトで、**すべてを表示**チェックボックスは選択されていません。

4. フォント サイズを変更します。  
**フォント サイズ** ボックスで、上矢印をクリックするとフォント サイズが大きくなり、下矢印をクリックすると小さくなります。
5. 変更を行った後デフォルトの設定に戻るには、**デフォルト設定**をクリックします。
6. **適用**または**OK** をクリックして変更を保存します。

### 関連トピック

- [色の変更](#)
- [ワーク ペインの外観の変更](#)

---

## ワーク ペインの外観の変更

この手順により、ワーク ペインの外観を変更します。

### ステップ ...

1. メイン メニューで**ツール**をクリックし、**オプション**を選択して**オプション** ダイアログを開きます。
2. **表示**タブをクリックし、左のペインで**ワーク ペイン**をクリックします。
3. 加線オプションを変更します。  
デフォルトでこのオプションは選択されており、**ワーク ペイン**の加線は、表示されているプロジェクトの色と一致します。  
このオプションを選択解除すると、加線は他のダイアログボックスで表示される加線の色と同じになります。
4. **ワーク ペイン**に表示されるタブの最大数を変更します。  
デフォルトでは、**ワーク ペイン**には最大 10 個のタブがあります。上矢印を使用してタブの数を増やすか下矢印を使用してタブの数を減らすことができます。
5. タブタイトルに表示される文字の最大数を変更します。  
デフォルトで、タブタイトルには最大 20 文字表示できます。上矢印を使用して文字の数を増やすか下矢印を使用して文字の数を減らすことができます。
6. **エクスプローラ** ペインで選択したとき**ワーク ペイン**に表示されるオブジェクトの種類を変更します。  
デフォルトでは、**エクスプローラ**ペインで選択したオブジェクトが**ワーク ペイン**に表示されます。この設定を変更して**ワーク ペイン**にプロジェクトのみまたはプロジェクトとタスクのみを表示できます。
7. 変更を行った後デフォルトの設定に戻るには、**デフォルト設定**をクリックします。
8. **適用**または **OK** をクリックして変更を保存します。

### 関連トピック

- [色の変更](#)
- [フォントタイプとサイズの変更](#)

---

## プロジェクトを閉じる

### ステップ ...

- **ワーク** ペインで、閉じたいプロジェクトタブを右クリックし、**閉じる**を選択します。  
プロジェクトを閉じると**ワーク** ペインのタブが削除されます。  
プロジェクトを閉じた場合、**プロジェクトの表示**を使用するか、**ワーク** ペインのツールバーでをクリックし、プロジェクト名を入力して**OK**をクリックして、再び開くことができます。  
名前を覚えていない場合は、まずクエリで検索して、その後で[ワーク ペインでプロパティを表示](#)する手順を実行します。

### 関連トピック

- [ワーク ペインでプロジェクトを開く](#)
- [ワーク ペインでプロパティを表示](#)

---

## カラム表題部にプロパティを追加

この機能により、コンテキストメニューから手軽に表題部にプロパティを追加できます。たとえば、ワークペインテーブルで **change\_request** 値を表示するとします。プロパティの追加ダイアログボックスに「**change\_request**」と入力すると、テーブルのカラムに Telelogic Change の変更依頼の値が表示されます。

### ステップ ...

1. 表題部を右クリックしてコンテキストメニューを表示し、**プロパティの追加**を選択します。

プロパティの追加ダイアログボックスが表示されます。

2. 追加するプロパティの名前を入力し、**OK** をクリックします。

カスタム属性を追加する場合、正確な名前を入力してください。名前は大文字と小文字が区別されます。デフォルト属性名は、データベース内のものと一致する必要があります。

### 関連トピック

- [カラム表題部からプロパティを削除](#)

---

## カラム表題部からプロパティを削除

この機能は、表題部のコンテキストメニューに追加したプロパティを削除するのに便利です。

たとえば、ワーク ペインテーブルで **status** 値を表示するとします。プロパティの追加ダイアログボックスに **state** を入力しますが、新規テーブル カラムには値が何も表示されません。間違った名前を入力したことに気付き、プロパティの追加ダイアログボックスを使用して正しい名前を追加し、プロパティの削除ダイアログボックスを使用して誤った名前を削除します。するとテーブル カラムには、**status** の値が表示されます。

### ステップ ...

1. 表題部を右クリックしてコンテキストメニューを開き、**プロパティの削除**を選択します。

プロパティの削除ダイアログボックスに追加したプロパティの名前が表示されます。

2. 削除するプロパティを選択して **OK** をクリックします。

### 関連トピック

- [カラム表題部にプロパティを追加](#)

---

## ワーク ペインからのタブの削除

ワーク ペインで複数のオブジェクトを開くと、オブジェクトごとにタブがあるため、結果的に多くのタブが表示されます。このため、現在作業しているプロジェクトやタスクを見つけにくくなる場合があります。以下の手順により、タブを削除できます。

### ステップ ...

- **ワーク ペインで、削除するタブを右クリックし、閉じる**を選択します。  
さらに、以下のオプションを選択できます。
  - **他を閉じる**  
このオプションは、ワーク ペインから、現在使用しているタブ以外のタブをすべて削除するときに使用します。
  - **すべてを閉じる**  
このオプションは、ワーク ペインからすべてのタブを削除するときに使用します。

### 関連トピック

- [ワーク ペインでプロパティを表示](#)

---

## セッション中に選択を最新の状態に更新

この機能を使用して、プロパティ、クエリ、タスクの作成ダイアログボックス内の選択物に対してセッション開始後の変更を反映します。

たとえば、セッション実行時にデータベースに新しいユーザが追加された場合、**選択の再表示**操作を行うまでタスクを作成してそのユーザに割り当てることができません（ユーザ一名が**タスクの作成**ダイアログボックスの**担当者**リストに入らないため）。セッション中に変化する可能性のあるその他の選択としては、プロファイル、優先度、リリースなどがあります。

### ステップ ...

- **表示メニュー**をクリックし、**タスクの再表示**を選択します。  
プロパティ、クエリ、および**タスクの作成**ダイアログボックス内の選択は、ダイアログボックスが開いていても閉じていても最新の情報に更新されます。

### 関連トピック

- [オブジェクトの削除](#)
- [更新時のベースラインとタスクの変更の防止](#)
- [ベースラインとタスクの更新](#)

---

## リリース エクスプローラの表示

デフォルトでは、リリース エクスプローラは開発者には表示されません。ただし、頻繁にプロセス関連オブジェクト（プロセス、プロセス ルール、フォルダ テンプレート）を参照する場合は、次の手順でリリース エクスプローラを表示できます。このオプションでは、プロセス関連オブジェクトのメニュー項目も設定できます。

開発者兼ビルド マネージャには、デフォルトでリリース エクスプローラが表示されます。

**注記：** この変更を行った後は、Telelogic Synergy を再起動する必要があります。

### ステップ ...

1. メイン メニューで**ツール**をクリックし、**オプション**を選択して**オプション ダイアログ**を開きます。
2. **表示**タブをクリックし、左のペインで**一般**をクリックします。
3. チェックボックスをクリックして**リリース エクスプローラと関連オブジェクトを表示**オプションを選択します。  
デフォルトではこのオプションは選択されておらず、開発者の**エクスプローラ ツールバー**に**リリース エクスプローラ**は表示されません。
4. **適用**をクリックして変更を保存します。

### 関連トピック

- [色の変更](#)
- [フォント タイプとサイズの変更](#)

---

## プロパティ ダイアログボックスのセキュリティ タブの表示

このオプションを使用して、プロパティダイアログボックスに以下のオブジェクトのセキュリティタブとグループセキュリティ オプションを表示します。

- ファイル
- ディレクトリ
- フォルダ
- タスク
- プロジェクト
- リリース

このオプションは、グループセキュリティ ライセンスを持ち、そのデータベースにグループを設定しているチームが使用できます。これらのチームは、一部のユーザーに特定のオブジェクトのチェックアウト、変更、および表示を許可し、他のユーザーに禁止する必要があるかもしれません。

### ステップ ...

1. メイン メニューで**ツール**をクリックし、**オプション**を選択して**オプション ダイアログ**を開きます。
2. **表示**タブをクリックし、左のペインで**一般**をクリックします。
3. チェックボックスをクリックして**オブジェクトのセキュリティプロパティを表示**オプションを選択します。  
デフォルトでは、このオプションは選択されておらず、グループセキュリティの設定に関わらず**プロパティ ダイアログボックス**に**セキュリティ タブ**は表示されません。
4. **適用**をクリックして変更を保存します。

### 関連トピック

- [色の変更](#)
- [フォントタイプとサイズの変更](#)



# Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

## [Telelogic Synergy の開始](#)

- [コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始](#)
- [Telelogic Change の起動](#)
- [コピーベース モードによる Telelogic Synergy の使用](#) (UNIX ユーザーのみ)

## [新規ユーザー向けの説明](#)

- [Telelogic Synergy ツアーの実施](#)
- [Telelogic Synergy の開始](#)
- [ダイアログボックスとペインのカスタマイズ](#)
- [テキストの回復](#)
- [キーボードショートカットの使用](#)
- [マウスショートカットの使用](#)
- [ヘルプの参照](#)

## [ファイルの移動](#)

- [オブジェクト、タスク、または変更依頼のコピーおよび貼り付け](#)
- [切り取り、コピー、貼り付けによるファイルの移動](#)
- [ドラッグアンドドロップの使用](#)

## [ダイアログボックスとペインを開く、閉じる、選択、表示](#)

- [ショートカットメニューの表示](#)
- [ワーク ペインでプロジェクトを開く](#)
- [ワーク ペインでプロパティを表示](#)
- [メッセージの表示](#)
- [複数のファイルの選択](#)
- [ファイル/プロジェクト/タブの表示](#)

## [問題解決](#)

- [パターン マッチングと Telelogic Synergy](#)

- [テキストの回復](#)
- [オブジェクトの再表示](#)

---

## Telelogic Synergy の開始

- [コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始](#)
- [Telelogic Change の起動](#)
- [コピーベース モードによる Telelogic Synergy の使用](#) (UNIX ユーザーのみ)

## コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始

cmsynergy コマンド

### 表記

```
cmsynergy [-user | -u user_name] [-password | -pw password]
           [-host | -h engine_host] [-database | -d database_path]
```

### 説明と使用

**cmsynergy** コマンドを使用してセッションを開始します。

このコマンドにより、指定した設定で**ログイン** ダイアログボックスが表示されます。

### オプションと引数

`-user | -u user_name`

このオプションは、Windows ユーザーのみが使用できます。

セッションのユーザー名を指定します。

`-pw | -password password`

セッションのユーザーパスワードを指定します。

`-h | -host engine_host`

セッションのエンジンホストを指定します。

`-d | -database database_path`

Telelogic Synergy データベースがセッションに接続するためのデータベースのパスを指定します。

### 例

- すべての値を使用して Telelogic Synergy を開始します。

```
> cmsynergy -u linda -pw jupiter -h milkyway -d
¥¥galaxy¥ccmdb¥earth
```
- 3つの値 (`user_name`、`engine_host`、`database_path`) を使用して、Telelogic Synergy を開始します。

```
> cmsynergy -u linda -h milkyway -d ¥¥galaxy¥ccmdb¥earth
```

---

## Telelogic Change の起動

Telelogic Synergy での作業中に、Telelogic Change を起動する必要があることがあります。これは、以下の方法で行います。

### ステップ ...

- ツール メイン メニューで **Telelogic Change の起動** をクリックします。  
ブラウザが開き、その中で Telelogic Change が開始します。Telelogic Change のヘルプを表示したい場合は、インターフェイス上部のメイン メニューで **ヘルプ** をクリックします。

### 関連トピック

- [変更依頼の解決](#)
- [プロパティの表示](#)
- [割り当てられた変更依頼の表示](#)

## コピーベース モードによる Telelogic Synergy の使用

このオプションは、UNIX ユーザーにのみ適用されます。

**user.allow.link.based.workareas** キーの値を **false** に設定すると、Telelogic Synergy をコピーベース モードで開始することになります。これで、ワークエリアはデフォルトでコピーベースになります。ワークエリアがコピーベースの場合、Telelogic Synergy はユーザーのファイル システムにプロジェクトのコピーを入れます（これは、Telelogic Synergy がユーザーのファイル システムにデータベース内のファイルのリンクを入れるリンクベースのワークエリアとは異なります）。\$HOME/.cmm.user.properties ファイルに以下の形式で設定を入力します。

**user.allow.link.based.workareas=false**

**false** 以外の値を設定すると、Telelogic Synergy をリンクベース モードで使用するようになります。この値では、大文字と小文字が区別されます。

---

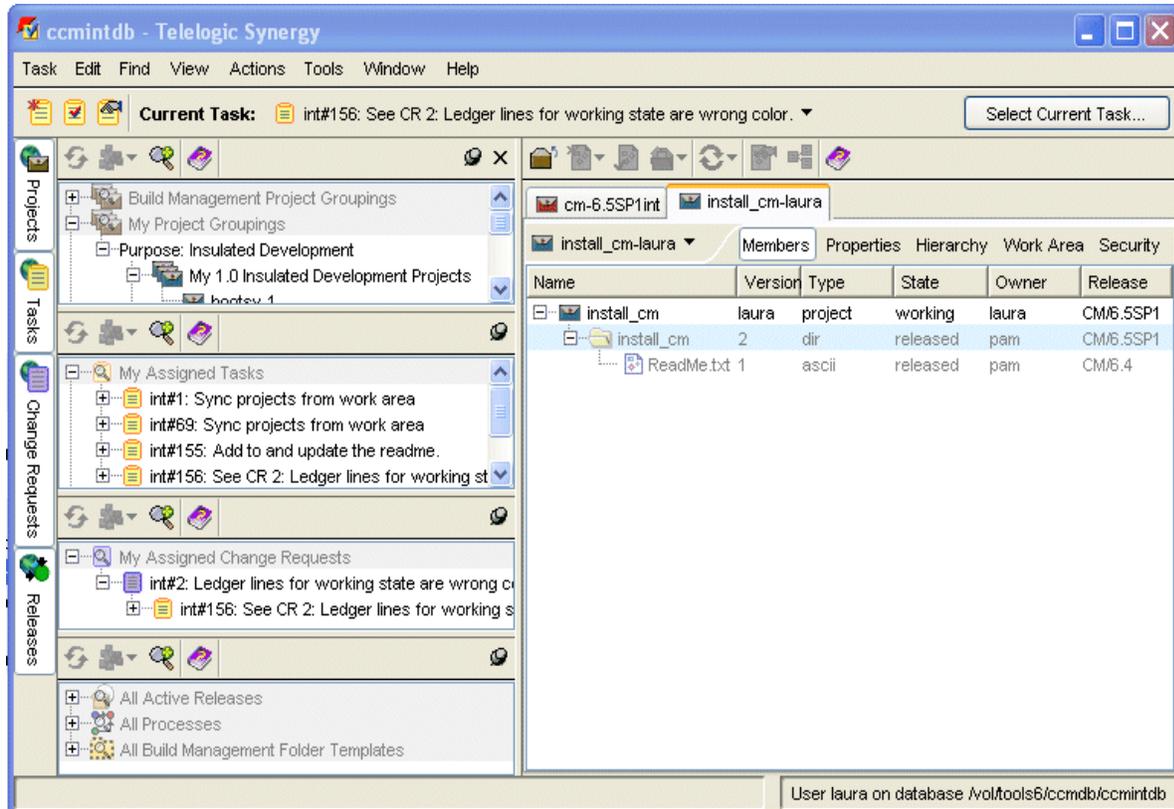
## 新規ユーザー向けの説明

- [Telelogic Synergy ツアーの実施](#)
- [Telelogic Synergy の開始](#)
- [キーボードショートカットの使用](#)
- [マウスショートカットの使用](#)
- [ヘルプの参照](#)

## Telelogic Synergy ツアーの実施

このインターフェイスは、ソフトウェア製品の変更を管理できるように設計されています。インターフェイスと用法モデルにより、作業しやすくなっています。

この対話型グラフィックを拡大表示するには、以下のサムネイルをクリックします。拡大したグラフィック内エリアの説明を読むには、カーソルをそのエリアに置きます。ツールチップが表示され、情報を読むことができます。



このセクションでは、以下の機能を説明します。

- [エクスプローラ ツールバー](#)
- [ワーク ペイン](#)
- [加線の色](#)
- [自動タブ管理](#)
- [ドラッグアンドドロップのサポート](#)
- [一般的なショートカット](#)

---

## エクスプローラ ツールバー

エクスプローラ ツールバーからは、プロジェクト、タスク、リリース、および**変更依頼** エクスプローラを表示できます。

- **プロジェクト エクスプローラ**

**プロジェクト** エクスプローラでは頻繁に参照するプロジェクトを検索できます。デフォルトで、エクスプローラには過去 30 日以内に作成された個人用プロジェクト、現在のビルド管理プロジェクト、およびベースラインが表示されます。興味のある他のプロジェクトを追加するクエリを定義して、それらを簡単に参照できるようにすることができます。

- **タスク エクスプローラ**

**タスク** エクスプローラでは、頻繁に必要なタスクを検索できます。デフォルトで、タスク エクスプローラには割り当てられているタスクおよび最近完了したタスクが表示されます。他のチームメンバーに割り当てられたタスクなど、興味ある他のタスクを追加するクエリを定義できます。

さらに、[保存されたクエリのエクスプローラへの追加](#)を行うと**タスク** エクスプローラにフォルダを返す保存クエリが表示されるようになります。

- **リリース エクスプローラ**

**リリース** エクスプローラでは、リリースのプロパティまたはリリースが使用しているプロセス ルールのプロパティを簡単に表示できます。**リリース** エクスプローラでリリース、プロセスルール、またはフォルダテンプレートを**ワーク** ペインにそのプロパティが表示され、必要に応じてオブジェクトを変更できます。

- **変更依頼 エクスプローラ**

**変更依頼** エクスプローラでは、頻繁に使用する変更依頼を簡単に表示できます。デフォルトで、エクスプローラには割り当てられている変更依頼が表示されます。他のチームメンバーに割り当てられた変更依頼など、興味ある他の変更依頼を追加するクエリを定義できます。**変更依頼** エクスプローラは、Telelogic Change を使用する場合にのみ使用できることに注意してください。

## ワーク ペイン

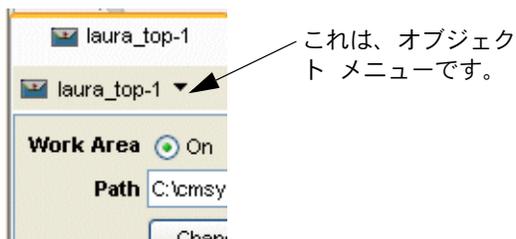
**ワーク** ペインは以下の方法で選択したプロジェクト、タスク、プロジェクト グルーピング、ベースライン、フォルダ、フォルダ テンプレート、プロセス、プロセスルール、またはリリースの各種の情報を表示します。

- いずれかのエクスプローラから適切なオブジェクトを選択する。
- **ワーク** ペインでオブジェクトを表示していた場合、オブジェクトの名前を表示しているタブをクリックする。

- プロジェクト、タスク、プロジェクト グルーピング、ベースライン、フォルダ、フォルダ テンプレート、プロセス、プロセス ルール、またはリリースを選択できるダイアログボックスで、適切なオブジェクトを右クリックして**表示**を選択する。
- **プロジェクトの表示**ダイアログボックスに、**ワーク** ペインで開くプロジェクトのプロジェクト名を入力します。

オブジェクトの各種の情報を表示するほか、**ワーク** ペインには情報を整理してアクセスする方法が2つあります。

- 以下に示すオブジェクト メニューを使用して、**ワーク** ペインに表示されているオブジェクトに対する操作を行うことができます。これは、オブジェクトの他の面を表示しており (プロジェクトの**ワークエリア**タブで作業を行っている場合など)、プロジェクトのメンバーが表示されていないとき特に役立ちます。**メンバー**タブに戻ることなく、プロジェクトのコピーや履歴の表示などを行うことができます。



- 以下に示すタブバーでは、**ワーク** ペインで表示できるオブジェクトの各種情報を整理します。整理するだけでなく、各タブの情報により、特定のダイアログボックスを明示的に開かずに各種のオブジェクトの操作を行うことができます。たとえば、プロジェクトのワークエリアパスを変更する場合、**ワークエリア** タブをクリックして直接に変更を行うことができます。



**ワーク** ペイン内で表示できるオブジェクト情報については、[ワーク ペインでプロパティを表示](#)を参照してください。

### 加線の色

**ワーク** ペイン (およびテーブルを示すすべてのダイアログボックス) では、1行おきの加線が色でハイライト表示されます。デフォルトの色は、表示しているプロジェクト

---

トの目的によって決まります。たとえば、**Insulated Development（個別開発）** 目的のプロジェクトを表示すると、1行おきの加線が青でハイライト表示されます。

色により、どのようなプロジェクトに参加しているかが分かります。これは、開発者およびビルド マネージャとして **Telelogic Synergy** で作業をする場合に便利です。開発用に使用するプロジェクトを表示すると、1行おきの加線が青になります。ビルド管理に使用するプロジェクトを表示すると、1行おきの加線は赤か緑（以下の表を参照）で表示されます。これは、プロジェクトの目的に応じて自動的に行われるので、ユーザーは何も変更する必要はありません。ただし、デフォルトの行の色を変更したい場合は、[色の変更](#)を参照してください。

下表に、デフォルトで表示されるテーブルの加線の色を示します。

目的	プロジェクト状態	色
Insulated Development（個別開発）	<i>working</i> （作業中）	青
Collaborative Development（共同開発）	<i>working</i> （作業中）	青
Custom Development（カスタム開発）	<i>working</i> （作業中）	青
Shared Development（共有開発）	<i>shared</i> （共有）	青
Visible Development（可視開発）	<i>visible</i> （可視）	青
Integration Testing（統合テスト）	<i>prep</i> （準備）	赤
Master Integration Testing（マスタ統合テスト）	<i>prep</i> （準備）	赤
System Testing（システムテスト）	<i>prep</i> （準備）	緑
静的プロジェクト	静的プロジェクト	グレー

プロジェクトタブのアイコンは、行と同じ色です。**プロジェクト** エクスプローラに表示されるアイコンについても同じです。

## 自動タブ管理

デフォルトでは、**ワーク** ペインには最大 10 個のタブがあります。

## ドラッグ アンド ドロップのサポート

ドラッグ アンド ドロップのサポートは[ドラッグ アンド ドロップの使用](#)を参照してください。

## Telelogic Synergy の開始

Telelogic Synergy には、使用プロセスと手順があります。これを作業フローと呼びます。作業フローにより、最大限の効率で作業を行うことができます。作業フローの基本ステップの概要を説明します。

実行するすべての操作についてはヘルプで説明しています。以下のリンクをクリックすると、該当のヘルプを参照できます。

### ステップ ...

Telelogic Synergy セッションは、**ログイン** ダイアログボックスでインターフェイスを起動後に開始されます。**ログイン** ダイアログボックスでは、適切なデータベースに正しくログインするために必要なすべての情報を入力します。

1. カレント タスクを、自分に割り当てられている [タスク](#) に設定します。

タスクを検索して選択するか、作成する必要があります。詳細については、[タスクの作成](#)、[クエリの定義](#)、および [タスクの選択](#) を参照してください。

2. 自分で使用するプロジェクトを作成するか、コピーします。

詳細については、[プロジェクトの作成](#) または [ファイルシステムへのプロジェクトのコピー](#) を参照してください。すでにプロジェクトがある場合は、このステップは省略できます。

3. 自分に割り当てられた [カレント タスク](#) の作業を行います。すなわち、必要に応じてカレント タスクを変更します。

このために Telelogic Synergy 以外の開発ツールを使用することもできます。開発作業には以下のような操作が必要になることが考えられます。

- [チェックアウト](#)
- [ファイルの編集](#)
- [プロジェクトファイルの名前変更](#)
- [プロジェクトの作成](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [ディレクトリへの追加](#)

4. [プロジェクトの更新](#) を行います。
5. 変更のテストとデバッグを行います。
6. [カレント タスクの完了](#) を行います。

### 関連トピック

- [用語解説](#)

---

## キーボード ショートカットの使用

ショートカットキーを使用して多くの操作を行うことができます。ショートカットキーの使い方については、以下のいずれかをクリックしてください。

- [Compare ダイアログボックス](#)
- [Merge ダイアログボックス](#)
- [一般的なショートカット](#)
- [履歴の表示](#)
- [プロジェクトの表示](#)

Telelogic Synergy では、いくつかのキーボードショートカットにより操作がしやすくなっています。以下のショートカットキーを使用すると、頻繁に実行するタスクをすばやく行うことができます。

### Compare ダイアログボックス

操作	ショートカットキー
2つのファイル間の次の差分を表示する。	Ctrl + 下矢印キー
2つのファイル間の前の差分を表示する。	Ctrl + 上矢印キー

### Merge ダイアログボックス

操作	ショートカットキー
所定の差分について元のマージ結果に戻す。	Ctrl + B キー
マージ結果を編集する。	Ctrl + E キー
左側ペインのファイルの変更をマージ結果ペインに適用する。	Ctrl + L キー
右側ペインのファイルの変更をマージ結果ペインに適用する。	Ctrl + R キー
2つのファイル間の次の差分を表示する。	Ctrl + 下矢印キー
2つのファイル間の前の差分を表示する。	Ctrl + 上矢印キー

## 一般的なショートカット

任意のダイアログボックス、ペイン、またはエクスプローラで、以下のショートカットを使用できます。

操作	ショートカットキー
選択したテキストまたはオブジェクトをクリップボードにコピーする。	Ctrl + C キー
選択したオブジェクトをカレントタスクに追加する。	Ctrl + D キー
選択したオブジェクトをカレントタスクから削除する。	Ctrl + M キー
新しいタスクを作成する。	Ctrl + N キー
選択したオブジェクトをチェックアウトする。	Ctrl + O キー
割り当てられた変更依頼を検索する。	Ctrl + R キー
割り当てられたタスクを検索する。	Ctrl + T キー
選択したエリアにクリップボードのテキストまたはオブジェクトを貼り付ける。	Ctrl + V キー
選択したテキストまたはオブジェクトを切り取る。	Ctrl + X キー
選択したテキストまたはオブジェクトを削除する。	Delete キー
ヘルプを表示する。	F1 キー
選択したオブジェクトの名前を変更する。	F2 キー
選択したオブジェクトまたは選択したプロジェクトのメンバーのデータを最新の情報に更新する。	F9 キー
終了する。	Alt + F4 キー
<b>コンフリクト</b> ダイアログボックスが閉じている場合に開く。	Ctrl + Shift + C キー
<b>メッセージ</b> ダイアログボックスが閉じている場合に開く。	Ctrl + Shift + M キー
<b>クエリ</b> ダイアログボックスが閉じている場合に開く。	Ctrl + Shift + Q キー

---

## 履歴の表示

操作	ショートカットキー
履歴の表示ダイアログボックスを開く。	Ctrl + H キー

## プロジェクトの表示

操作	ショートカットキー
プロジェクトの表示ダイアログボックスを開く。	Ctrl + P キー

## マウス ショートカットの使用

以下のマウスボタンを使用してオブジェクトを操作します。

- 左のマウスボタンをクリック  
オブジェクトが選択されます。メニューの選択肢は、選択したオブジェクトのセットについて動的に有効または無効になります。
- Shift キーを押しながら左のマウスボタンをクリック  
選択した 2 オブジェクト間のすべてのオブジェクトが選択されるか、選択セットの範囲が変更されます。
- Ctrl キーを押しながら左のマウスボタンをクリック  
選択する各オブジェクトをクリックしていくと、連続していない複数のオブジェクトが選択されます。または、他のオブジェクトの選択状態が変更されることなくオブジェクトが選択解除されます。
- 左のマウスボタンをダブルクリック  
オブジェクトのデフォルト動作が起動します。通常、この動作によりオブジェクトが編集状態になります。ディレクトリの場合は**ワーク** ペインでディレクトリが開きます。  
さらに、この操作は、**プロパティ** ダイアログボックスを開き、選択したオブジェクトのプロパティを表示します。
- 右のマウスボタンをクリック  
選択したオブジェクトの**ショートカット** メニューが表示されます。

---

## ヘルプの参照

Telelogic Synergy の手順や背景情報を調べるためにヘルプを使用します。ヘルプは HTML 形式で、Windows の Internet Explorer または UNIX の Mozilla を使用して、サポートされている任意のプラットフォームで使用できます。ヘルプでは、フレームを使用して、システム内の情報をすばやく継続的に検索できます。

さらに、Telelogic Synergy ヘルプは、現在行っている作業に基いたヘルプ情報を表示します。開発作業を行っているユーザーには、開発者に適した情報を表示し、ビルド管理作業を行っているユーザーには開発者とビルド マネージャの両方に適した情報を表示します。情報の種類は自動的に表示されます。どちらの情報を表示するかは実行中の作業に基づいて自動的に決定されますので、特別な操作は必要ありません。

ヘルプの設定を格納し、検索するためには、ブラウザの設定で Cookie を使用できるようにしておく必要があります。Cookie が無効になっていると、ヘルプ システムの起動時に、最後に選択したタブ ページを開いたり、Telelogic Synergy ウェブサイトにリンクしたりすることができません。



## ファイルの移動

- [オブジェクト、タスク、または変更依頼のコピーおよび貼り付け](#)
- [切り取り、コピー、貼り付けによるファイルの移動](#)
- [ドラッグアンドドロップの使用](#)
- [ショートカットメニューの表示](#)

---

## オブジェクト、タスク、または変更依頼のコピーおよび貼り付け

以下の操作によって、オブジェクト、タスク、および変更依頼間の関係を簡単に変更できます。以下の方法でオブジェクト、タスク、および変更依頼のコピーおよび貼り付けを行うことができます。

- ファイルをコピーしてディレクトリまたはタスクに貼り付ける。
- ディレクトリをコピーしてプロジェクトまたはタスク内の異なるディレクトリに貼り付ける。
- プロジェクトをコピーしてディレクトリ、タスク、またはプロジェクト グループに貼り付ける。
- タスクをコピーしてディレクトリ、プロジェクト グループまたは変更依頼に貼り付ける。
- 変更依頼をコピーしてタスクに貼り付ける。

コピーと貼り付けは選択可能な任意のオブジェクト、タスク、または変更依頼に対して行うことができます。

### ステップ ...

1. オブジェクト、タスク、または変更依頼が選択可能な任意のペインまたはダイアログボックスで適切なオブジェクトを右クリックして、**コピー**を選択します。
2. 適切なオブジェクト、タスク、または変更依頼を右クリックし、**貼り付け**を選択します。

### 関連トピック

- [色の変更](#)
- [フォントタイプとサイズの変更](#)
- [ワーク ペインの外観の変更](#)
- [オブジェクトの削除](#)
- [ドラッグ アンド ドロップの使用](#)
- [切り取り、コピー、貼り付けによるファイルの移動](#)

---

## 切り取り、コピー、貼り付けによるファイルの移動

- 選択したオブジェクトをペインから削除し、クリップボードに置くには、**切り取り**コマンドを使用します。
- オブジェクトをコピーしてクリップボードに置くには、**コピー**コマンドを使用します。
- コピーしたオブジェクトを同じペインの別の場所または別のペインに貼り付けるには、**貼り付け**コマンドを使用します。

切り取ったオブジェクトやコピーしたオブジェクトは、別のオブジェクトを切り取るかコピーするまでクリップボードに残ります。

- オブジェクトが表示される場所ではどこでもコピー操作を行うことができます。
- 切り取りと貼り付けの操作は、多くのペインやダイアログボックスで行うことができます。

**切り取りと貼り付け**コマンドを使用して関係を削除したり追加できます。

以下を実行するには、切り取り操作を行います。

- タスクからオブジェクトを削除する。
- タスクから変更依頼を削除する。
- ディレクトリからファイルやプロジェクトを削除する。

以下を実行するには、貼り付け操作を行います。

- タスクにオブジェクトを追加する。
- タスクに変更依頼を追加する。
- ディレクトリにファイルやプロジェクトを追加する。

### 関連トピック

- [色の変更](#)
- [フォントタイプとサイズの変更](#)
- [ワーク ペインの外観の変更](#)

---

## ドラッグ アンド ドロップの使用

Telelogic Synergy のいろいろな場所でドラッグ アンド ドロップ操作を行うことができます。この中には、[履歴](#)や[プロパティ](#)などモードに依存しないダイアログボックス内のテーブル、エクスプローラ、[ワーク ペイン](#)のオブジェクトなどがあります。

Telelogic Synergy で選択できるものは何でもドラッグ アンド ドロップ操作に使用できます。ドラッグ アンド ドロップ操作は、それがコピーなのか移動なのかを示します。コピーを行うドラッグ アンド ドロップ操作は、[切り取り、コピー、貼り付けによるファイルの移動](#)で説明している通りに動作します。

たとえば、ドラッグ アンド ドロップを使用して次の操作を行うことができます。

- タスクにオブジェクトを関連付ける。
- 変更依頼にタスクを関連付ける。
- タスクをプロジェクト グルーピングに追加する。
- ファイルをディレクトリへ移動または追加する。
- ディレクトリ内の別バージョンのオブジェクトを使用する。
- プロジェクトをグループ化するためにベースラインを設定する。
- ベースラインにプロジェクトを追加する。
- タスクを別のタスクに関連付けて修正する。
- プロセス ルールにフォルダ テンプレートを追加する。
- リリースに[汎用プロセスルール](#)を追加する。
- オブジェクトのプロパティを変更する。
- 保存されたクエリをエクスプローラで並び替える。

### 関連トピック

- [色の変更](#)
- [フォントタイプとサイズの変更](#)
- [ワーク ペインの外観の変更](#)

---

## ダイアログボックスとペインを開く、閉じる、選択、表示

- [ショートカットメニューの表示](#)
- [ワーク ペインでプロジェクトを開く](#)
- [ワーク ペインでプロパティを表示](#)
- [メッセージの表示](#)
- [複数のファイルの選択](#)
- [ファイル/プロジェクト/タブの表示](#)

---

## ショートカット メニューの表示

コマンドを実行するのに、メインメニューを使用せず、オブジェクトを右クリックしてショートカットメニューを表示できます。ショートカットメニューには、特定のペインまたはダイアログで、該当のオブジェクトについて使用できるコマンドが表示されます。

## ワーク ペインでプロジェクトを開く

この機能は、ワーク ペイン内に表示したいプロジェクトの名前とバージョンがわかっている場合に使用します。プロジェクトの表示ダイアログボックスを使用してプロジェクトを開くと最初にクエリする必要がなくなり、クエリ結果を使用してワーク ペインにプロジェクトを表示できます。

1. ワーク ペイン ツールバーで、 をクリックします。

プロジェクトの表示ダイアログボックスが表示されます。

2. プロジェクト名 (例、**calculator**)、バージョンの区切り文字で区切ったプロジェクト名とバージョン (例、**calculator-int\_3.0**)、または、プロジェクト名、バージョン、タイプ、およびインスタンスの 4 つの部分からなる 4 部名称 (例、**calculator-int\_3.0:project:ccmintdb#1**) を入力します。

完全な名前またはバージョンが不明な場合、疑問符 (?) とアスタリスク (\*) 文字を使用できます。4 部名称のプロパティが不明な場合、不明な部分はアスタリスクで置き換えてもプロジェクト結果が返ります。

入力した名前が複数のプロジェクトに対応する場合、プロジェクトの選択ダイアログボックスが表示されます。適切なプロジェクトを選択して **OK** をクリックします。

## 関連トピック

- [プロジェクトを閉じる](#)
- [ワーク ペインからのタブの削除](#)
- [ワーク ペインでプロパティを表示](#)
- [オブジェクトまたはリリースの履歴の表示](#)

---

## ワーク ペインでプロパティを表示

選択したオブジェクトのプロパティと関連付けを表示できます。ワーク ペインのタブにプロパティと関連付けが表示されます。

オブジェクトを検索する場合は、[オブジェクトの検索](#)を参照してください。

- プロジェクト、タスク、プロジェクト グルーピング、ベースライン、フォルダ、フォルダ テンプレート、プロセス、プロセス ルール、またはリリースを選択できるダイアログボックスで、適切なオブジェクトを右クリックして**表示**を選択します。

オブジェクトは、以下のデフォルト設定でワーク ペインに表示されます。

- プロジェクトの情報は、**メンバー** タブに表示される。
- プロジェクト グルーピングについては、プロジェクト グルーピング内のプロジェクトが**プロパティ** タブに表示される。
- ベースライン、フォルダ、フォルダ テンプレート、プロセス、プロセス ルール、リリース、またはタスクの情報は**プロパティ** タブに表示される。

デフォルト情報のほか、以下のような情報も表示できます。

- プロジェクトについては、プロジェクトのプロパティ、履歴、ワークエリア設定
- プロジェクト グルーピングについては、プロジェクト グルーピングに関連付けられたベースラインプロジェクトとタスク
- ベースラインについては、説明と、ベースラインに関連付けられたプロジェクト、タスク、および変更依頼
- フォルダについては、フォルダに関連付けられたタスク
- フォルダ テンプレートについては、フォルダ テンプレートが作成したフォルダのプロパティ
- プロセスについては、プロセスを構成するプロセス ルール
- プロセス ルールについては、指定されたプロセス ルールを使用するプロジェクト グルーピングのベースラインプロジェクトおよび指定されたプロセス ルールを使用するプロジェクト グルーピングのタスク
- リリースについては、リリースが使用するプロセス ルール
- タスクについては、詳細、およびタスクに関連付けられたオブジェクト、修正タスク、変更依頼

### 関連トピック

- [ワーク ペインからのタブの削除](#)

---

## メッセージの表示

Telelogic Synergy メインウィンドウの下部にステータス行があります。このエリアには、表示されているものの現在の状態に関する情報が表示されます。ほとんどのダイアログボックスにも、下部にステータス行があります。

ステータス行に表示されるほとんどのメッセージは、**メッセージ** ダイアログボックスに書き込まれます。

## 複数のファイルの選択

チェックイン、チェックアウト、複数ファイルのコピーなど、特定の操作のために複数のファイルを選択できます。

連続した複数のファイルを選択するには

- 最初のファイルをクリックし、**Shift** キーを押しながらセットの最後のファイルをクリックします。

連続していない複数のファイルを選択するには

- 最初のファイルをクリックし、**Ctrl** キーを押しながら追加ファイルを選択します。

## ファイル／プロジェクト／タブの表示

**プロジェクト** エクスプローラでプロジェクトをクリックすると、ワーク ペインにプロジェクトの内容が表示されます。プロジェクトをクリックすると、それぞれに対応する新しいタブがワーク ペインに作成されます。すでに開いたことのあるプロジェクトを表示するには、対応するタブをクリックします。

さらに、**タスク** エクスプローラでタスクとフォルダ、**変更依頼** エクスプローラで変更依頼 (Telelogic Change がインストールされている場合)、**リリース** エクスプローラでプロセス、プロセスルール、リリース、フォルダ テンプレートを表示できます。

---

## 問題解決

- [パターンマッチングと Telelogic Synergy](#)
- [テキストの回復](#)
- [オブジェクトの再表示](#)

---

## パターン マッチングと Telelogic Synergy

2 つの Telelogic Synergy ダイアログ、ベースライン比較およびメンバーシップ コンフリクトでは、パターン マッチングを使用してフィールドをフィルタリングできます。たとえば、メンバーシップ コンフリクト ダイアログボックスでは、Java [正規表現](#)を使用できます。メンバーシップ コンフリクト ダイアログボックスの **Filter** フィールドに次のいずれかのフィルタ値を入力できます。

- **正規表現**

^ で始まる任意の文字列は、通常の Java 正規表現規則を使用した正規表現とみなされます。以下にいくつかの例を示します。

^\$ は、空白と一致します。なぜなら ^ は行の開始と一致することを意味し、\$ は行の終わりとも一致することを意味するからです。

^Extra.\* は、Extra で始まる任意の行と一致します。これは、行のどの場所にあっても一致する正確なサブストリング Extra とは異なります。

^.\*Extra.\* は、行の任意の場所の Extra と一致します。

^T.k は、T で始まり、2 つの文字、および k が続く文字列と一致します（ピリオドは任意の 1 文字と一致します）。

Java 正規表現については、[Javadoc for Pattern ウェブサイト](#)および [Sun Developer Network Site](#) を参照してください。

- **正確なサブストリング**

先頭に ^ がつかないすべての文字列は正確なサブストリングとみなされます。たとえば、as と入力すると、これは **Bad Task**、**Extra Task**、**Missing Task** と一致します。文字列 a.b を入力すると、行の任意の場所の **aaa.b**、**a.bbbb**、**a a a a.b b b b** と一致します。サブストリングは常に文字どおり解釈されます。

### 関連トピック

- [プロジェクトまたはプロジェクト グルーピング内のメンバーシップ コンフリクトの解決](#)

### テキストの回復

フィールドの元のテキストを回復するには、**Esc** キーを使用します。たとえば、プロパティ ダイアログボックスの **プロパティ タブのバージョン** フィールドのテキストを誤って変更したとします。キーボードの **Esc** キーを押すと、**バージョン** フィールドに入力されていた元のテキストが表示されます。

---

## オブジェクトの再表示

この操作を使用して、選択したオブジェクトのデータまたは選択したディレクトリのメンバーを最新の状態に更新します。

### ステップ ...

- 選択可能な任意のオブジェクト（ファイルまたはディレクトリ）、プロジェクト、またはプロジェクトグルーピングを右クリックし、**オブジェクトの再表示**を選択します。

### 関連トピック

- [オブジェクトの削除](#)
- [更新時のベースラインとタスクの変更の防止](#)
- [テキストの回復](#)
- [ベースラインとタスクの更新](#)



---

## 主なベースライン作成操作

新規ベースラインの選択 | 別のベースラインの使用

### プロジェクトの作成と更新

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

### タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

### ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

### ベースラインを使用した変更

- 別のベースラインの使用
- ベースラインとタスクの更新
- 新規ベースラインの選択
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止

### Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Telelogic Change の起動
- コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始
- Telelogic Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

### ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

### プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

### マージと比較

- 2つのファイルバージョン
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

### インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

### 他の Telelogic Synergy ドキュメントへのリンク

- Telelogic Synergy チュートリアル
- ActiveCM ヘルプ
- Telelogic Synergy CLI ヘルプ
- ビルドマネージャガイド

---

#### ベースライン作成に関する一般的な質問

- 私はプロジェクトリーダーで、テスター用のベースラインが必要です。これは別のベースラインですか。
- ベースラインを公開した後でその名前を変更できますか。

---

## 主な変更依頼エクスプローラ操作

[エクスプローラ内でのクエリ結果のグループ化](#) | [保存されたクエリの検索メニューへの追加](#) | [保存されたクエリのエクスプローラへの追加](#) | [エクスプローラのカスタマイズ](#)

### プロジェクトの作成と更新

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

### タスクの作業

- タスクの選択
- カレントタスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

### ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

### ベースラインを使用した変更

- 別のベースラインの使用
- ベースラインとタスクの更新
- 新規ベースラインの選択
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止

### Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Telelogic Change の起動
- コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始
- Telelogic Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

### ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

### プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

### マージと比較

- 2つのファイルバージョン
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

### インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

### 他の Telelogic Synergy ドキュメントへのリンク

- Telelogic Synergy チュートリアル
- ActiveCM ヘルプ
- Telelogic Synergy CLI ヘルプ
- ビルドマネージャガイド

---

#### 変更依頼エクスプローラに関する一般的な質問

- エクスプローラがすぐに閉じてしまうのはなぜですか。
- 複数種類のエクスプローラを表示できますか。
- Telelogic Synergy を再起動したとき 4 つのエクスプローラは同じ順序で表示されますか。
- Telelogic Synergy で変更依頼を確認できますか。それとも Telelogic Change を起動する必要がありますか。
- Telelogic Synergy で変更依頼を解決できますか。それとも Telelogic Change を起動する必要がありますか。
- 保存クエリとは何ですか。

---

## 主なエクスプローラ操作

1つ以上のエクスプローラのドッキング | エクスプローラ内でのクエリ結果のグループ化 | 保存されたクエリのエクスプローラへの追加 | 保存クエリの削除 | エクスプローラのカスタマイズ

### プロジェクトの作成と更新

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

### タスクの作業

- タスクの選択
- カレントタスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

### ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

### ベースラインを使用した変更

- 別のベースラインの使用
- ベースラインとタスクの更新
- 新規ベースラインの選択
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止

### Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Telelogic Change の起動
- コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始
- Telelogic Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

### ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

### プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

### マージと比較

- 2つのファイルバージョン
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

### インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

### 他の Telelogic Synergy ドキュメントへのリンク

- Telelogic Synergy チュートリアル
- ActiveCM ヘルプ
- Telelogic Synergy CLI ヘルプ
- ビルドマネージャガイド

---

#### エクスプローラに関する一般的な質問

- 何から始めればよいですか。
- プロジェクトおよびファイルを囲む線の色を変えるにはどうしたらよいでしょうか。
- プロジェクトをすばやく検索するにはどうしたらよいですか。

---

## 主な履歴操作

[オブジェクトまたはリリースの履歴の表示](#) | [オブジェクトまたはリリースの履歴の表示](#) | [パラレルファイル/ディレクトリのマージ](#) | [2つのファイルの比較](#)

### プロジェクトの作成と更新

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

### タスクの作業

- タスクの選択
- カレントタスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

### ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

### ベースラインを使用した変更

- 別のベースラインの使用
- ベースラインとタスクの更新
- 新規ベースラインの選択
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止

### Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Telelogic Change の起動
- コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始
- Telelogic Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

### ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

### プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

### マージと比較

- 2つのファイルバージョン
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

### インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

### 他の Telelogic Synergy ドキュメントへのリンク

- Telelogic Synergy チュートリアル
- ActiveCM ヘルプ
- Telelogic Synergy CLI ヘルプ
- ビルドマネージャガイド

---

### 履歴に関する一般的な質問

- 何から始めればよいですか。
- **履歴**ダイアログボックスに表示されるプロパティを変更するにはどうしたらよいですか。
- オブジェクトの履歴をもっとも速く表示する方法は何ですか。

---

## 主なメンバーシップ コンフリクト操作

プロジェクトまたはプロジェクト グループ内のメンバーシップ コンフリクトの解決 | 2つのファイルバージョン | 2つのファイルの比較 | メンバーを更新して再度コンフリクト検出を行う。

### プロジェクトの作成と更新

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

### タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

### ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

### ベースラインを使用した変更

- 別のベースラインの使用
- ベースラインとタスクの更新
- 新規ベースラインの選択
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止

### Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Telelogic Change の起動
- コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始
- Telelogic Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

### ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

### プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

### マージと比較

- 2つのファイルバージョン
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

### インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

### 他の Telelogic Synergy ドキュメントへのリンク

- Telelogic Synergy チュートリアル
- ActiveCM ヘルプ
- Telelogic Synergy CLI ヘルプ
- ビルドマネージャ ガイド

---

### メンバーシップ コンフリクトに関する一般的な質問

- コンフリクトの解決は必須ですか。
- プロジェクトに複数のコンフリクトがあり、解決方法がわかりません。何かから始めればよいですか。
- プロジェクトが巨大なので、ビルドする前にコンフリクトを探したのですが、どうすればよいでしょうか。
- Telelogic Synergy が検出するコンフリクトは、すべて解決する必要がありますか。
- 私のチームでは更新後に開発者がコンフリクトを解決する必要があります。これはどの段階でできますか。
- 深いコンフリクト検出の実行を行う理由

---

## 主なマージと比較操作

パラレルファイル/ディレクトリのマージ | マージ結果の編集 | 2つのファイルの比較 | 2つの類似オブジェクトの比較

### プロジェクトの作成と更新

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

### タスクの作業

- タスクの選択
- カレントタスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

### ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

### ベースラインを使用した変更

- 別のベースラインの使用
- ベースラインとタスクの更新
- 新規ベースラインの選択
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止

### Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Telelogic Change の起動
- コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始
- Telelogic Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

### ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

### プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

### マージと比較

- 2つのファイルバージョン
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

### インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

### 他の Telelogic Synergy ドキュメントへのリンク

- Telelogic Synergy チュートリアル
- ActiveCM ヘルプ
- Telelogic Synergy CLI ヘルプ
- ビルドマネージャガイド

---

#### マージと比較に関する一般的な質問

- マージと比較ツールを変更するにはどうしたらよいですか。
- タスクを完了する前にマージを行う必要がありますか。
- タスクの完了時に**パラレル** ダイアログボックスが表示されましたが無視してしまいました。マージする用意ができたので再表示したいのですが。
- マージする必要がある**パラレルバージョン**の所有者は、どのように探したらよいですか。

---

## 主なオプション操作

更新オプションの変更 | ワークエリアとデータベースの同期 | 必須タスクの自動追加を停止 | パターンによるファイルの無視 | ワークペインの外観の変更 | リリース エクスプローラの表示

### プロジェクトの作成と更新

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

### タスクの作業

- タスクの選択
- カレントタスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

### ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

### ベースラインを使用した変更

- 別のベースラインの使用
- ベースラインとタスクの更新
- 新規ベースラインの選択
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止

### Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Telelogic Change の起動
- コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始
- Telelogic Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

### ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

### プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

### マージと比較

- 2つのファイルバージョン
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

### インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

### 他の Telelogic Synergy ドキュメントへのリンク

- Telelogic Synergy チュートリアル
- ActiveCM ヘルプ
- Telelogic Synergy CLI ヘルプ
- ビルドマネージャ ガイド

---

### オプションに関する一般的な質問

- コピーしたプロジェクトがワークエリアに表示されないのはなぜですか。
- IDE によって作成される多数の無関係なファイルがコンフリクトとして表示されます。これを回避するにはどうしたらよいですか。
- GUI のフォント サイズを変更するにはどうしたらよいですか。
- プロジェクトおよびファイルを囲む線の色を変えるにはどうしたらよいでしょうか。

---

## 主なパラレル操作

パラレルバージョンの表示 | パラレルファイル/ディレクトリのマージ | カレント タスクの完了

### プロジェクトの作成と更新

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

### タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

### ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

### ベースラインを使用した変更

- 別のベースラインの使用
- ベースラインとタスクの更新
- 新規ベースラインの選択
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止

### Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Telelogic Change の起動
- コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始
- Telelogic Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

### ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

### プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

### マージと比較

- 2つのファイルバージョン
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

### インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

### 他の Telelogic Synergy ドキュメントへのリンク

- Telelogic Synergy チュートリアル
- ActiveCM ヘルプ
- Telelogic Synergy CLI ヘルプ
- ビルドマネージャガイド

---

### パラレルに関する一般的な質問

- 自分で**パラレル**ダイアログボックスを開いていないのに、表示されました。なぜですか。
- タスクを完了する前にマージを行う必要がありますか。
- **パラレル**バージョンをマージする必要があるかどうか、どのように確認できますか。
- タスクの完了時に**パラレル**ダイアログボックスが表示されましたが無視してしまいました。マージする用意ができたので再表示したいのですが。

---

## 主なリリース エクスプローラ操作

[エクスプローラ内でのクエリ結果のグループ化](#) | [保存されたクエリの検索メニューへの追加](#) | [保存されたクエリのエクスプローラへの追加](#) | [エクスプローラのカスタマイズ](#)

### プロジェクトの作成と更新

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

### タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

### ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

### ベースラインを使用した変更

- 別のベースラインの使用
- ベースラインとタスクの更新
- 新規ベースラインの選択
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止

### Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Telelogic Change の起動
- コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始
- Telelogic Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

### ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

### プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

### マージと比較

- 2つのファイルバージョン
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

### インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

### 他の Telelogic Synergy ドキュメントへのリンク

- Telelogic Synergy チュートリアル
- ActiveCM ヘルプ
- Telelogic Synergy CLI ヘルプ
- ビルドマネージャ ガイド

---

#### リリース エクスプローラに関する一般的な質問

- エクスプローラがすぐに閉じてしまうのはなぜですか。
- エクスプローラに表示されるプロジェクトアイコンの色を変更するにはどうしたらよいですか。
- 複数種類のエクスプローラを表示できますか。
- Telelogic Synergy を再起動したとき 4 つのエクスプローラは同じ順序で表示されますか。
- 保存クエリとは何ですか。

---

## 主なワーク ペイン操作

[チェックイン](#) | [チェックアウト](#) | [プロジェクトの作成](#) | [ファイルの編集](#) | [ファイルの移動](#) | [自動タブ管理](#)

### プロジェクトの作成と更新

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

### タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

### ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

### ベースラインを使用した変更

- 別のベースラインの使用
- ベースラインとタスクの更新
- 新規ベースラインの選択
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止

### Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Telelogic Change の起動
- コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始
- Telelogic Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

### ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

### プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

### マージと比較

- 2つのファイルバージョン
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

### インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

### 他の Telelogic Synergy ドキュメントへのリンク

- [Telelogic Synergy チュートリアル](#)
- [ActiveCM ヘルプ](#)
- [Telelogic Synergy CLI ヘルプ](#)
- [ビルドマネージャ ガイド](#)

---

#### ワーク ペインに関する一般的な質問

- 何から始めればよいですか。
- プロジェクトおよびファイルを囲む線の色を変えるにはどうしたらよいでしょうか。
- プロジェクトをすばやく検索するにはどうしたらよいですか。
- ヘルプを使用するたびにアクティブ コンテンツに関するポップアップ メッセージが表示されま  
す。これを回避するにはどうしたらよいですか。
- Telelogic Synergy のログファイルを確認するには、どうしたらよいですか。

---

## 主なプロジェクト エクスプローラ操作

[エクスプローラ内でのクエリ結果のグループ化](#) | [保存されたクエリの検索メニューへの追加](#) | [保存されたクエリのエクスプローラへの追加](#) | [エクスプローラのカスタマイズ](#)

### プロジェクトの作成と更新

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

### タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

### ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

### ベースラインを使用した変更

- 別のベースラインの使用
- ベースラインとタスクの更新
- 新規ベースラインの選択
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止

### Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Telelogic Change の起動
- コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始
- Telelogic Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

### ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

### プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

### マージと比較

- 2つのファイルバージョン
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

### インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

### 他の Telelogic Synergy ドキュメントへのリンク

- Telelogic Synergy チュートリアル
- ActiveCM ヘルプ
- Telelogic Synergy CLI ヘルプ
- ビルドマネージャ ガイド

---

### プロジェクト エクスプローラに関する一般的な質問

- エクスプローラがすぐに閉じてしまうのはなぜですか。
- エクスプローラに表示されるプロジェクトアイコンの色を変更するにはどうしたらよいですか。
- 保存クエリとは何ですか。
- プロジェクト グルーピングを作成するには、どうしたらよいですか。
- 複数種類のエクスプローラを表示できますか。
- Telelogic Synergy を再起動したとき 4 つのエクスプローラは同じ順序で表示されますか。
- プロジェクトをすばやく検索するにはどうしたらよいですか。

---

## 主なファイルとディレクトリのプロパティ操作

ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正 | プロパティの表示 | オブジェクトのセキュリティ設定の変更 | ユーザー プロパティのカスタマイズ

### プロジェクトの作成と更新

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

### タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

### ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

### ベースラインを使用した変更

- 別のベースラインの使用
- ベースラインとタスクの更新
- 新規ベースラインの選択
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止

### Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Telelogic Change の起動
- コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始
- Telelogic Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

### ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

### プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

### マージと比較

- 2つのファイルバージョン
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

### インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

### 他の Telelogic Synergy ドキュメントへのリンク

- Telelogic Synergy チュートリアル
- ActiveCM ヘルプ
- Telelogic Synergy CLI ヘルプ
- ビルドマネージャ ガイド

---

### ファイルとディレクトリのプロパティに関する一般的な質問

- 何から始めればよいですか。
- オブジェクトのリリースを変更する必要がある、ビルドマネージャがデータベース内にリリースを作成しましたが、**プロパティ** ダイアログボックスに表示されません。なぜですか。
- オブジェクトのタスクのプロパティを確認するには、どうしたらよいですか。
- オブジェクトの使用箇所を確認するには、どうすればよいですか。

---

## 主なベースライン プロパティ 操作

ベースライン プロパティの修正 | 新規ベースラインの選択 | 別のベースラインの使用 | プロパティの表示

### プロジェクトの作成と更新

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

### タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

### ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

### ベースラインを使用した変更

- 別のベースラインの使用
- ベースラインとタスクの更新
- 新規ベースラインの選択
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止

### Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Telelogic Change の起動
- コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始
- Telelogic Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

### ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

### プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

### マージと比較

- 2つのファイルバージョン
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

### インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

### 他の Telelogic Synergy ドキュメントへのリンク

- Telelogic Synergy チュートリアル
- ActiveCM ヘルプ
- Telelogic Synergy CLI ヘルプ
- ビルドマネージャ ガイド

---

#### ベースライン プロパティに関する一般的な質問

- ベースラインを公開した後でその名前を変更できますか。
- ベースラインの比較はどのように行いますか。

---

## 主なフォルダ プロパティ操作

フォルダのプロパティの修正 | オブジェクトの削除 (フォルダ) | フォルダへのタスクの追加

### プロジェクトの作成と更新

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

### タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

### ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

### ベースラインを使用した変更

- 別のベースラインの使用
- ベースラインとタスクの更新
- 新規ベースラインの選択
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止

### Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Telelogic Change の起動
- コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始
- Telelogic Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

### ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

### プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

### マージと比較

- 2つのファイルバージョン
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

### インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

### 他の Telelogic Synergy ドキュメントへのリンク

- Telelogic Synergy チュートリアル
- ActiveCM ヘルプ
- Telelogic Synergy CLI ヘルプ
- ビルドマネージャガイド

---

#### フォルダ プロパティに関する一般的な質問

- フォルダは何に使用するのですか。
- フォルダはどのように作成しますか。
- フォルダに内容を確認するには、どうしたらよいですか。
- クエリベースのフォルダを手動に、あるいはその逆に変更するにはどうしたらよいですか。

---

## 主なフォルダ テンプレート プロパティ操作

### オブジェクトの削除 (フォルダテンプレート)

#### プロジェクトの作成と更新

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

#### タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

#### ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

#### ベースラインを使用した変更

- 別のベースラインの使用
- ベースラインとタスクの更新
- 新規ベースラインの選択
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止

#### Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Telelogic Change の起動
- コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始
- Telelogic Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

#### ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

#### プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

#### マージと比較

- 2つのファイルバージョン
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

#### インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

#### 他の Telelogic Synergy ドキュメントへのリンク

- Telelogic Synergy チュートリアル
- ActiveCM ヘルプ
- Telelogic Synergy CLI ヘルプ
- ビルド マネージャ ガイド



---

## 主なプロセス プロパティ操作

[オブジェクトの削除 \(プロセス\)](#) | [プロパティの表示](#) | [オブジェクトのセキュリティ設定の変更](#)

### プロジェクトの作成と更新

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

### タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

### ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

### ベースラインを使用した変更

- 別のベースラインの使用
- ベースラインとタスクの更新
- 新規ベースラインの選択
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止

### Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Telelogic Change の起動
- コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始
- Telelogic Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

### ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

### プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

### マージと比較

- 2つのファイルバージョン
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

### インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

### 他の Telelogic Synergy ドキュメントへのリンク

- Telelogic Synergy チュートリアル
- ActiveCM ヘルプ
- Telelogic Synergy CLI ヘルプ
- ビルドマネージャガイド

---

### プロセス プロパティに関する一般的な質問

- 更新時にプロジェクトグルーピングにオブジェクトを含める方法を管理しているデータベースを検索するには、どうしたらよいですか。

---

## 主なプロセス ルール プロパティ 操作

[プロパティの表示](#) | [オブジェクトの削除](#) (プロセスルール) | [オブジェクトのセキュリティ設定の変更](#)

### プロジェクトの作成と更新

- [オブジェクトのコピー](#)
- [プロジェクトの更新](#)
- [更新の取り消し](#)
- [詳細 ...](#)

### タスクの作業

- [タスクの選択](#)
- [カレント タスクの完了](#)
- [自分に割り当てられたタスクの表示](#)
- [詳細 ...](#)

### ファイルの検索とその他

- [オブジェクトの検索](#)
- [オブジェクトの使用箇所の検索](#)
- [オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ](#)
- [詳細 ...](#)

### ベースラインを使用した変更

- [別のベースラインの使用](#)
- [ベースラインとタスクの更新](#)
- [新規ベースラインの選択](#)
- [更新時のベースラインとタスクの変更の防止](#)

### Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

- [Telelogic Change の起動](#)
- [コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始](#)
- [Telelogic Synergy ツアーの実施](#)
- [詳細 ...](#)

### ファイルの変更

- [チェックイン](#)
- [チェックアウト](#)
- [ファイルの編集](#)
- [詳細 ...](#)

### プロパティの使用

- [ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正](#)
- [タスクのプロパティの修正](#)
- [プロパティの表示](#)
- [詳細 ...](#)

### マージと比較

- [2つのファイルバージョン](#)
- [パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較](#)
- [パラレルバージョンの表示](#)
- [詳細 ...](#)

### インターフェイスのカスタマイズ

- [ダイアログボックスとペインのカスタマイズ](#)
- [1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる](#)
- [カラム表題部にプロパティを追加](#)
- [詳細 ...](#)

### 他の Telelogic Synergy ドキュメントへのリンク

- [Telelogic Synergy チュートリアル](#)
- [ActiveCM ヘルプ](#)
- [Telelogic Synergy CLI ヘルプ](#)
- [ビルドマネージャ ガイド](#)

---

#### プロセス ルール プロパティに関する一般的な質問

- プロジェクトが正しく更新されないのはなぜですか。
- 更新時にプロジェクトグルーピングにオブジェクトを含める方法を管理しているデータベースを検索するには、どうしたらよいですか。

---

## 主なプロジェクト プロパティ操作

[プロジェクトの作成](#) | [プロジェクトのコピー](#) | [デフォルトワークエリアパスの設定](#) | [プロジェクトのプロパティの修正](#) | [オブジェクトのセキュリティ設定の変更](#)

### プロジェクトの作成と更新

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

### タスクの作業

- タスクの選択
- カレントタスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

### ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

### ベースラインを使用した変更

- 別のベースラインの使用
- ベースラインとタスクの更新
- 新規ベースラインの選択
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止

### Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Telelogic Change の起動
- コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始
- Telelogic Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

### ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

### プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

### マージと比較

- 2つのファイルバージョン
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

### インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

### 他の Telelogic Synergy ドキュメントへのリンク

- Telelogic Synergy チュートリアル
- ActiveCM ヘルプ
- Telelogic Synergy CLI ヘルプ
- ビルドマネージャガイド

---

#### プロジェクト プロパティに関する一般的な質問

- プロジェクトをすばやく検索するにはどうしたらよいですか。
- コピーしたプロジェクトがワークエリアに表示されないのはなぜですか。
- プロジェクトのワークエリアへすばやく移動するには、どうしたらよいですか。
- プロジェクト階層内のプロジェクトだけを表示するにはどうしたらよいですか。
- プロジェクトの更新プロパティを表示するにはどうしたらよいですか。

---

## 主なプロジェクト グループینگ プロパティ操作

[プロジェクト グループینگにプロジェクトを追加](#) | [プロジェクト グループینگにタスクを追加](#) | [プロジェクト グループینگからタスクを削除](#) | [プロジェクト グループینگのプロパティの修正](#) | [プロジェクトまたはプロジェクト グループینگ内のメンバーシップ コンフリクトの解決](#)

### プロジェクトの作成と更新

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

### タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

### ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

### ベースラインを使用した変更

- 別のベースラインの使用
- ベースラインとタスクの更新
- 新規ベースラインの選択
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止

### Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Telelogic Change の起動
- コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始
- Telelogic Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

### ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

### プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

### マージと比較

- 2つのファイルバージョン
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

### インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

### 他の Telelogic Synergy ドキュメントへのリンク

- Telelogic Synergy チュートリアル
- ActiveCM ヘルプ
- Telelogic Synergy CLI ヘルプ
- ビルドマネージャ ガイド



---

## 主なリリース プロパティ操作

オブジェクトの削除 (リリース) | プロパティの表示

### プロジェクトの作成と更新

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

### タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

### ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

### ベースラインを使用した変更

- 別のベースラインの使用
- ベースラインとタスクの更新
- 新規ベースラインの選択
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止

### Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Telelogic Change の起動
- コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始
- Telelogic Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

### ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

### プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

### マージと比較

- 2つのファイルバージョン
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

### インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

### 他の Telelogic Synergy ドキュメントへのリンク

- Telelogic Synergy チュートリアル
- ActiveCM ヘルプ
- Telelogic Synergy CLI ヘルプ
- ビルドマネージャガイド



---

## 主なタスク プロパティ操作

タスクのプロパティの修正 | オブジェクトのセキュリティ設定の変更 | プロパティの表示 | タスクの除外 | タスクをオブジェクトに追加またはオブジェクトから削除

### プロジェクトの作成と更新

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

### タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

### ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

### ベースラインを使用した変更

- 別のベースラインの使用
- ベースラインとタスクの更新
- 新規ベースラインの選択
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止

### Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Telelogic Change の起動
- コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始
- Telelogic Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

### ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

### プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

### マージと比較

- 2つのファイルバージョン
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

### インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

### 他の Telelogic Synergy ドキュメントへのリンク

- Telelogic Synergy チュートリアル
- ActiveCM ヘルプ
- Telelogic Synergy CLI ヘルプ
- ビルドマネージャ ガイド

---

### タスク プロパティに関する一般的な質問

- タスクをコピーするにはどうしたらよいでしょうか。
- タスクのセキュリティが設定されているプロジェクトの作業をしていますが、**タスク プロパティ** ダイアログボックスに**セキュリティ**タブがありません。なぜですか。
- ビルドを破壊しているタスクはどこで修復できますか。
- **タスク プロパティ** ダイアログボックスで、完了する寸前のタスクに関連付けられたオブジェクトを確認していたのですが、このタスクに関連付けられるべきではないオブジェクトがいくつかありました。どうしたらよいですか。

---

## 主なクエリ操作

[クエリの定義](#) | [クエリの保存](#) | [保存されたクエリの実行](#) | [保存クエリの編集](#) | [保存クエリを表示](#)

### プロジェクトの作成と更新

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- [詳細 ...](#)

### タスクの作業

- タスクの選択
- カレントタスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- [詳細 ...](#)

### ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- [詳細 ...](#)

### ベースラインを使用した変更

- 別のベースラインの使用
- ベースラインとタスクの更新
- 新規ベースラインの選択
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止

### Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Telelogic Change の起動
- コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始
- Telelogic Synergy ツアーの実施
- [詳細 ...](#)

### ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- [詳細 ...](#)

### プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- [詳細 ...](#)

### マージと比較

- 2つのファイルバージョン
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- [詳細 ...](#)

### インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- [詳細 ...](#)

### 他の Telelogic Synergy ドキュメントへのリンク

- [Telelogic Synergy チュートリアル](#)
- [ActiveCM ヘルプ](#)
- [Telelogic Synergy CLI ヘルプ](#)
- [ビルドマネージャガイド](#)

---

#### クエリに関する一般的な質問

- 多数のユーザーが作業をしているプロジェクトのすべての作業中バージョンを検索するには、どうしたらよいですか。
- すでに使用して一度保存したことのあるクエリはどこにありますか。
- 特定のユーザーに割り当てられたタスクを検索するクエリは何ですか。
- データベース内からプロジェクトに含まれないオブジェクトを探すにはどうしたらよいですか。

---

## 主なタスク エクスプローラ操作

[タスクの作成](#) | [カレント タスクの完了](#) | [自分に割り当てられたタスクの表示](#) | [保存されたクエリのエクスプローラへの追加](#) | [エクスプローラのカスタマイズ](#)

### プロジェクトの作成と更新

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

### タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

### ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

### ベースラインを使用した変更

- 別のベースラインの使用
- ベースラインとタスクの更新
- 新規ベースラインの選択
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止

### Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Telelogic Change の起動
- コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始
- Telelogic Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

### ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

### プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

### マージと比較

- 2つのファイルバージョン
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

### インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

### 他の Telelogic Synergy ドキュメントへのリンク

- Telelogic Synergy チュートリアル
- ActiveCM ヘルプ
- Telelogic Synergy CLI ヘルプ
- ビルドマネージャ ガイド

---

#### タスク エクスプローラに関する一般的な質問

- エクスプローラがすぐに閉じてしまうのはなぜですか。
- エクスプローラに表示されるプロジェクトアイコンの色を変更するにはどうしたらよいですか。
- 複数種類のエクスプローラを表示できますか。
- Telelogic Synergy を再起動したとき 4 つのエクスプローラは同じ順序で表示されますか。
- 保存クエリとは何ですか。

---

## 主なワークエリア コンフリクト操作

ワークエリアとデータベースの同期 | プロジェクトまたはプロジェクト グルーピング内のメンバーシップ コンフリクトの解決 | 深いコンフリクト検出の実行 | ワークエリアの設定の修正

### プロジェクトの作成と更新

- オブジェクトのコピー
- プロジェクトの更新
- 更新の取り消し
- 詳細 ...

### タスクの作業

- タスクの選択
- カレント タスクの完了
- 自分に割り当てられたタスクの表示
- 詳細 ...

### ファイルの検索とその他

- オブジェクトの検索
- オブジェクトの使用箇所の検索
- オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ
- 詳細 ...

### ベースラインを使用した変更

- 別のベースラインの使用
- ベースラインとタスクの更新
- 新規ベースラインの選択
- 更新時のベースラインとタスクの変更の防止

### Telelogic Synergy の開始とインターフェイスの学習

- Telelogic Change の起動
- コマンドラインからの Telelogic Synergy の開始
- Telelogic Synergy ツアーの実施
- 詳細 ...

### ファイルの変更

- チェックイン
- チェックアウト
- ファイルの編集
- 詳細 ...

### プロパティの使用

- ファイルまたはディレクトリのプロパティの修正
- タスクのプロパティの修正
- プロパティの表示
- 詳細 ...

### マージと比較

- 2つのファイルバージョン
- パラレルファイル/ディレクトリと直前バージョンの比較
- パラレルバージョンの表示
- 詳細 ...

### インターフェイスのカスタマイズ

- ダイアログボックスとペインのカスタマイズ
- 1つまたはすべてのエクスプローラを閉じる
- カラム表題部にプロパティを追加
- 詳細 ...

### 他の Telelogic Synergy ドキュメントへのリンク

- Telelogic Synergy チュートリアル
- ActiveCM ヘルプ
- Telelogic Synergy CLI ヘルプ
- ビルドマネージャ ガイド

---

#### ワークエリア コンフリクトに関する一般的な質問

- コンフリクトの解決は必須ですか。
- プロジェクトに複数のコンフリクトがあり、解決方法がわかりません。何から始めればよいですか。
- プロジェクトが巨大なので、ビルドする前にコンフリクトを探したのですが、どうすればよいでしょうか。
- Telelogic Synergy が検出するコンフリクトは、すべて解決する必要がありますか。
- プロジェクトのワークエリアへすばやく移動するには、どうしたらよいですか。

## 一般的な質問

### ベースライン

- 私はプロジェクト リーダーで、テスター用のベースラインが必要です。これは別のベースラインですか。
- ベースラインを公開した後でその名前を変更できますか。
- ベースラインの比較はどのように行いますか。

### 開発

- 何から始めればよいですか。
- プロジェクトおよびファイルを囲む線の色を変えるにはどうしたらよいでしょうか。
- プロジェクトをすばやく検索するにはどうしたらよいですか。
- ヘルプを使用するたびにアクティブ コンテンツに関するポップアップ メッセージが表示されます。これを回避するにはどうしたらよいですか。
- オブジェクトの履歴をもっとも速く表示する方法は何ですか。
- タスクをコピーするにはどうしたらよいでしょうか。
- 履歴ダイアログボックスに表示されるプロパティを変更するにはどうしたらよいですか。
- マージと比較ツールを変更するにはどうしたらよいですか。
- タスクを完了する前にマージを行う必要がありますか。
- タスクの完了時にパラレル ダイアログボックスが表示されましたが無視してしまいました。マージする用意ができたので再表示したいのですが。
- マージする必要があるパラレルバージョンの所有者は、どのように探したらよいですか。
- 自分でパラレルダイアログボックスを開いていないのに、表示されました。なぜですか。
- パラレルバージョンをマージする必要があるかどうか、どのように確認できますか。
- ビルド内のマクロまたは環境変数の値を確認するにはどうしたらよいですか。
- コピーしたプロジェクトがワークエリアに表示されないのはなぜですか。
- IDE によって作成される多数の無関係なファイルがコンフリクトとして表示されます。これを回避するにはどうしたらよいですか。
- GUI のフォントサイズを変更するにはどうしたらよいですか。

- [Telelogic Synergy のログファイルを確認するには、どうしたらよいですか。](#)
- [ccm\\_client.log ファイルの出力先を変更するには、どうしたらよいですか。](#)

#### [ビルド管理](#)

- [破損ビルドの修復はどのように行いますか。](#)
- [プロジェクト内の不要な変更を取り除くには、どうすればよいですか。](#)
- [更新が正しいオブジェクトを選択しないのはなぜですか。](#)
- [プロジェクトの開発者が世界中に分散しており、リモート Synergy チームにファイル転送する用意ができました。DCM ダイアログはどこにありますか。](#)
- [夜中にビルドを開始するビルドスクリプトを設定するため、Telelogic Synergy CLI を起動するにはどうしたらよいですか。](#)
- [クエリベースのフォルダを手動に、あるいはその逆に変更するにはどうしたらよいですか。](#)
- [どのプロセスルールがフォルダテンプレートを使用しているか確認するにはどうしたらよいですか。](#)
- [このテンプレートから作成されたフォルダを確認するにはどうしたらよいですか。](#)
- [フォルダテンプレートのクエリをテストするにはどうしたらよいでしょうか。](#)

#### [コンフリクト](#)

- [コンフリクトの解決は必須ですか。](#)
- [プロジェクトに複数のコンフリクトがあり、解決方法がわかりません。何から始めればよいですか。](#)
- [プロジェクトが巨大なので、ビルドする前にコンフリクトを探したのですが、どうすればよいでしょうか。](#)
- [Telelogic Synergy が検出するコンフリクトは、すべて解決する必要がありますか。](#)
- [私のチームでは更新後に開発者がコンフリクトを解決する必要があります。これはどの段階でできますか。](#)

#### [エクスペローラ](#)

- [エクスペローラがすぐに閉じてしまうのはなぜですか。](#)
- [保存クエリとは何ですか。](#)

- 
- [Telelogic Synergy](#) で変更依頼を確認できますか。それとも [Telelogic Change](#) を起動する必要がありますか。
  - [Telelogic Synergy](#) で変更依頼を解決できますか。それとも [Telelogic Change](#) を起動する必要がありますか。
  - [プロジェクト グルーピングを作成するには、どうしたらよいですか。](#)
  - [複数種類のエクスプローラを表示できますか。](#)
  - [Telelogic Synergy](#) を再起動したとき4つのエクスプローラは同じ順序で表示されますか。

### [プロパティ](#)

- [オブジェクトのリリースを変更する必要があり、ビルド マネージャがデータベース内にリリースを作成しましたが、\*\*プロパティ\*\* ダイアログボックスに表示されません。なぜですか。](#)
- [フォルダは何に使用するのですか。](#)
- [フォルダはどのように作成しますか。](#)
- [フォルダに内容を確認するには、どうしたらよいですか。](#)
- [更新時にプロジェクト グルーピングにオブジェクトを含める方法を管理しているデータベースを検索するには、どうしたらよいですか。](#)
- [プロジェクトが正しく更新されないのはなぜですか。](#)
- [タスクのセキュリティが設定されているプロジェクトの作業をしていますが、\*\*タスク プロパティ\*\* ダイアログボックスに\*\*セキュリティ\*\*タブがありません。なぜですか。](#)
- [ビルドを破壊しているタスクはどこで修復できますか。](#)
- [\*\*タスク プロパティ\*\* ダイアログボックスで、完了する寸前のタスクに関連付けられたオブジェクトを確認していたのですが、このタスクに関連付けられるべきではないオブジェクトがいくつかありました。どうしたらよいですか。](#)
- [オブジェクトのタスクのプロパティを確認するには、どうしたらよいですか。](#)
- [オブジェクトの使用箇所を確認するには、どうすればよいですか。](#)
- [プロジェクトのワークエリアへすばやく移動するには、どうしたらよいですか。](#)
- [プロジェクト階層内のプロジェクトだけを表示するにはどうしたらよいですか。](#)
- [プロジェクトの更新プロパティを表示するにはどうしたらよいですか。](#)

## ベースライン

- 私はプロジェクト リーダーで、テスター用のベースラインが必要です。これは別のベースラインですか。

その場合は、テスト ベースラインを作成する必要があります。テスト ベースラインは作成時に公開されません。テスト ベースラインの作成の詳細については、[ビルドのスナップショットの作成](#) を参照してください。

- ベースラインを公開した後でその名前を変更できますか。

**ベースライン プロパティ** ダイアログボックスを使用して、公開済みのベースラインの名前を変更できます。詳細については、[ベースライン プロパティの修正](#) を参照してください。

- ベースラインの比較はどのように行いますか。

1. ベースラインを右クリックし、**比較**を選択します。
2. **ベースライン選択** ダイアログボックスで比較するベースラインを選択して、**OK** をクリックします。

**ベースライン比較** ダイアログボックスに 2 つのベースラインの相違点と類似点が表示されます。

---

## ビルド管理

- 破損ビルドの修復はどのように行いますか。  
ビルドが破損した場合、以下のいずれかのことを行う必要があります。
  - 破損する前にビルドが完了しており、ベースライン ビルドを設定している場合は、[破損ビルドの修復](#)を参照してください。
  - ビルドが完了したことがなく、ベースラインビルドがない場合は、[ベースラインなしの再ビルド](#)を参照してください。
- プロジェクト内の不要な変更を取り除くには、どうすればよいですか。  
コンフリクトは、以下の2種類の分類できます。
  - プロジェクトにあるが更新プロパティにない変更。たとえば、新しいオブジェクトバージョンを、そのタスクを更新プロパティに追加せずに使用すると、オブジェクトにはコンフリクトが生じます。
  - 更新プロパティにあるがプロジェクトにない変更。たとえば、プロジェクトの更新プロパティに、同一オブジェクトの平行バージョンに関連付けられている2つのタスクがある場合、プロジェクトのメンバーでないバージョンにはコンフリクトが生じます。これらの問題の修復については、[プロジェクトまたはプロジェクト グルーピング内のメンバーシップ コンフリクトの解決](#)を参照してください。
- 更新が正しいオブジェクトを選択しないのはなぜですか。  
以下の項目を順序どおりに確認してください。
  1. プロジェクトのプロセスルールで以下を確認します。
    - \* フォルダ テンプレートのタスク クエリが正しいこと。
    - \* このプロセスルールに正しいフォルダまたはフォルダ テンプレートが含まれていること (プロジェクトのフォルダまたはフォルダテンプレートが正しくない場合、プロセスルールを更新する必要があるかもしれません)。
    - \* ベースラインが設定されていること。
  2. **verbose** オプションを使用して更新操作を実行します。**verbose** オプションにより、分析する候補の詳細情報が得られます。各候補のスコアとそのスコアの根拠が表示されます。得られた情報を使用してトラブルシューティングを行います。
  3. プロジェクト グルーピングの プロパティを確認します。
    - \* **自動更新**をオフにしていた場合は、オンに戻す。
    - \* タスクを一時的に移動していた場合は、それを元に戻したか確認する。
    - \* タスクを手動で追加した場合は、そのタスクを保持したいか確認する。

\* ベースラインプロジェクトが設定されているか確認する。

- プロジェクトの開発者が世界中に分散しており、リモート Synergy チームにファイル転送する用意ができました。DCM ダイアログはどこにありますか。

Telelogic Synergy 6.6 には、DCM ダイアログボックスはありません。DCM 機能を使用するには、Telelogic Synergy Classic を起動する必要があります。

- 夜中にビルドを開始するビルドスクリプトを設定するため、Telelogic Synergy CLI を起動するにはどうしたらよいですか。

> **ccm start -nogui**

- クエリベースのフォルダを手動に、あるいはその逆に変更するにはどうしたらよいですか。

1. フォルダを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
2. **タスク** タブをクリックします。

フォルダがクエリベースで手動にしたい場合、**手動**をクリックします。手動に設定されたフォルダをクエリベースにしたい場合、**クエリ使用**をクリックし、クエリを設定します。

3. 必ず、**適用**をクリックして変更を保存してください。

- どのプロセス ルールがフォルダ テンプレートを使用しているか確認するにはどうしたらよいですか。

フォルダ テンプレートを右クリックし、**検索**をポイントし、**使用しているプロセスルール**を選択します。

- このテンプレートから作成されたフォルダを確認するにはどうしたらよいですか。

フォルダ テンプレートを右クリックし、**検索**をポイントし、**すべてのフォルダ**を選択します。

- フォルダ テンプレートのクエリをテストするにはどうしたらよいでしょうか。

1. フォルダ テンプレートを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
2. **フォルダ プロパティ**タブでクエリを変更し、 をクリックします。

**テスト値を選択**ダイアログボックスが表示されます。

3. キーワードの値を入力し、**OK** をクリックします。

---

## コンフリクト

- コンフリクトの解決は必須ですか。

プロジェクトをビルドする前にコンフリクト解決を実行するのは必須ではありませんが、解決した方がよいでしょう。

コンフリクトの解決は、ビルドの前に問題を取り除くのに役立ちます。これにより、ビルドの失敗やアプリケーションの実行不能の原因となる問題を修正することができます。

開発者がコンフリクトを表示するのは、プロジェクトに問題を起こすパラレルバージョンや他のコンフリクトが含まれる疑いがあるような場合です。

すべての完了タスクを統合する前に問題を探してチームリーダーまたは開発者に修正を依頼できるように、ビルドマネージャはビルド管理プロジェクトを更新したあと、ビルドを行う前に毎回コンフリクト検出を実行します。

コンフリクトの解決については、[プロジェクトまたはプロジェクト グループ内のメンバーシップ コンフリクトの解決](#)を参照してください。

- プロジェクトに複数のコンフリクトがあり、解決方法がわかりません。何から始めればよいですか。

フィルタ機能により、表示する条件を選び、残りの条件を除外できます。[プロジェクトまたはプロジェクト グループ内のメンバーシップ コンフリクトの解決](#)の「各コンフリクトの適切な解決方法を決定します。」を参照してください。

また、Java 正規表現を使用して表示される条件をさらにフィルタすることもできます。[パターン マッチングと Telelogic Synergy](#) を参照してください。

- プロジェクトが巨大なので、ビルドする前にコンフリクトを探したのですが、どうすればよいでしょうか。

大規模なプロジェクトには特別なニーズがあります。たとえば、Telelogic Synergy は 24 種類のコンフリクトを検出でき、ほとんどがデフォルトで表示されます。しかし、必ずしもすべてのデフォルト コンフリクトがチームにとって都合の悪いわけではありません。したがって、意味のあるコンフリクトと無意味なコンフリクトを決定し、CM アドミニストレータにデフォルトを変更するよう (**conflict\_parameters** モデル属性を変更して) 依頼できます。

コンフリクトをカスタマイズした後、コンフリクト検出を実行すると、チームが解決すべきコンフリクトだけが表示されます。大規模なプロジェクトでは、表示するコンフリクトのカスタマイズによって時間と労力を節約できます。

詳細については、[プロジェクトまたはプロジェクト グループ内のメンバーシップ コンフリクトの解決](#)の「大規模コンフリクト検出」を参照してください。

- Telelogic Synergy が検出するコンフリクトは、すべて解決する必要がありますか。

いいえ。コンフリクトのすべてが悪いとは限りません。Telelogic Synergy は 24 種類のコンフリクトを検出でき、ほとんどがデフォルトで表示されます。コンフリクトを解決する前に、必ずビルド マネージャに解決すべきコンフリクトを確認してください。

- 私のチームでは更新後に開発者がコンフリクトを解決する必要があります。これはどの段階でできますか。

もっとも簡単な方法は、コンフリクト検出を自動化することです。このためには、オプションダイアログボックスの**プロジェクト更新後にメンバシップコンフリクトを検出**オプションを選択します。手順については、[更新オプションの変更](#)を参照してください。

---

## 開発

- 何から始めればよいですか。

Telelogic Synergy を使い始めたばかりで、まだマニュアルも読んでいない場合は、[『Telelogic Synergy の紹介』](#)から[『Telelogic Synergy チュートリアル』](#)までお読みください。

すぐに作業を開始してタスクを完了する必要がある場合は、[Telelogic Synergy の開始](#)をお読みください。このセクションでは、すぐに Telelogic Synergy の使用を開始するために必要なステップを示しています。

- プロジェクトおよびファイルを囲む線の色を変えるにはどうしたらよいでしょうか。  
プロジェクトやファイルを囲む線は「加線」といいます。加線の説明は、[加線の色](#)を参照してください。加線色を変更する方法については、[色の変更](#)を参照してください。
- プロジェクトをすばやく検索するにはどうしたらよいですか。

プロジェクトを探すもっとも速い方法は、**プロジェクト** エクスプローラを使用する方法です。**プロジェクト** エクスプローラの使い方については、[ワーク ペインでプロパティを表示](#)を参照してください。

- ヘルプを使用するたびにアクティブ コンテンツに関するポップアップ メッセージが表示されます。これを回避するにはどうしたらよいですか。

Windows XP Service Pack 2 によって、デフォルトのセキュリティ設定が変更されます。その結果、スクリプトや Active X コントロールなどアクティブ コンテンツについて、Internet Explorer から制限に関するポップアップ メッセージが表示されることがあります。

このコンテンツの表示を許可するには、以下を行います。

1. Internet Explorer を開きます。
2. ツール > インターネット オプション > 詳細設定タブを開きます。
3. セキュリティ セクションまでスクロールします。
4. **マイコンピュータのファイルでのアクティブ コンテンツの実行を許可する**ボックスチェックをオンにします。
5. **OK** をクリックします。

- タスクをコピーするにはどうしたらよいでしょうか。

任意のタスクを右クリックし、**タスクのコピー**を選択します。フィールドの入力については、[タスクのコピー](#)を参照してください。

- オブジェクトの履歴をもっとも速く表示する方法は何ですか。

オブジェクトを右クリックし、**履歴**を選択します。

- **履歴** ダイアログボックスに表示されるプロパティを変更するにはどうしたらよいですか。

**履歴** ダイアログボックスの空白の部分をクリックして属性を選択します。

- マージと比較ツールを変更するにはどうしたらよいですか。

Telelogic Synergy のマージ ツール、比較ツール、またはエディタの変更については [デフォルトアプリケーションツールの変更](#) を参照してください。

Windows および UNIX のデフォルトのマージと比較ツールは SiberMerge です。デフォルト エディタは、Windows ではメモ帳、UNIX では vi です。

- タスクを完了する前にマージを行う必要がありますか。

マージは、チームが要求する場合にのみ必要です。タスクを完了するときの平行バージョンのデフォルト設定をプロジェクト リーダー、ビルド マネージャ、または CM アドミニストレータに確認してください。

チームがマージを要求せず、自分が平行バージョンを所有する開発者で、チーム内で最初に平行をチェックインする場合、後でマージが必要になる場合とまらない場合があります（マージできるのは、チェックインしたバージョンのみです。平行バージョンが他に1つしかなく、それが作業中の状態にある場合、他の開発者はタスクを完了した時点で変更をあなたのバージョンとマージする必要があります。マージは、平行バージョンのチェックイン後直ちに行うか、あるいは後で行うこともできます。2つ以上のバージョンがある場合、後で平行バージョンをマージする必要があるかもしれません。これは、他のバージョンの状態に依存します）。

チームがマージを要求せず、自分が平行バージョンを所有する開発者で、チーム内で最後に平行をチェックインする場合、後でマージすることが可能です。

マージすべき平行バージョンがあることを覚えておくには、マージする必要があるバージョンの **履歴** ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスで、他の平行のバージョンと状態を監視できます。

- タスクの完了時に**平行** ダイアログボックスが表示されましたが無視してしまいました。マージする用意ができたので再表示したいのですが。

**平行** ダイアログボックスを開く方法については、[平行バージョンの表示](#) を参照してください。

- マージする必要がある平行バージョンの所有者は、どのように探したらよいですか。

バージョンを右クリックし、**履歴** を選択すると **履歴** ダイアログボックス画表示されます。このダイアログボックスで、オブジェクトの所有者を確認できます。バージョンを右クリックし、**プロパティ** を選択して **プロパティ** ダイアログボックスを開いても、所有者を確認できます。

- 
- 自分で**パラレル**ダイアログボックスを開いていないのに、表示されました。なぜですか。

オブジェクト内に**パラレル**があると、Telelogic Synergy は、**パラレル** ダイアログボックスを開いて知らせます。これは、解決すべき**パラレル**が存在するのに気付かないことがあるからです。詳細については、[パラレルバージョンの表示](#)を参照してください。

- **パラレル**バージョンをマージする必要があるかどうか、どのように確認できますか。  
**履歴**ダイアログボックスを使用して、[オブジェクトまたはリリースの履歴の表示](#)を行います。
- ビルド内のマクロまたは環境変数の値を確認するにはどうしたらよいですか。

以下のディレクティブを使用します。これらは、ターゲットのビルドコマンドの一部として入れる必要はありません。

```
!IFDEF VARIABLE
```

```
!ERROR VARIABLE [ 注記：make を実行する前に設定。 ]
```

```
!ENDIF
```

!ディレクティブは、空白やタブ文字でインデントしないでください。

- コピーしたプロジェクトがワークエリアに表示されないのはなぜですか。  
ワークエリアのメンテナンスをオフにしてプロジェクトをコピーした場合、それをオンにする必要があります。その後 Telelogic Synergy が自動的にプロジェクトを同期します。
- IDE によって作成される多数の無関係なファイルがコンフリクトとして表示されます。これを回避するにはどうしたらよいですか。

Telelogic Synergy に無関係なファイルは無視するよう設定できます。[パターンによるファイルの無視](#)を参照してください。

- GUI のフォントサイズを変更するにはどうしたらよいですか。  
すべてのエクスプローラ、ペイン、ダイアログボックスに表示されるテキストのフォントサイズを変更するには、[フォントタイプとサイズの変更](#)を参照してください。
- Telelogic Synergy のログファイルを確認するには、どうしたらよいですか。

Telelogic Synergy セッションを開いている場合は、ヘルプメニューから**ログの検索**を選択します。

Telelogic Synergy セッションを開いていない場合、Windows では Synergy のログは `drive:\Documents and Settings\username\Application Data\Telelogic\Synergy` にあります。

UNIX では Synergy のログは、ホーム ディレクトリにあります。

- **ccm\_client.log** ファイルの出力先を変更するには、どうしたらよいですか。  
**ccm\_client.log** (ユーザー インターフェイス ログ) ファイルの出力先を Windows プロファイル ディレクトリ (Windows ユーザー) またはホーム ディレクトリ (UNIX ユーザー) 以外に変更できます。このためには、**ccm.user.properties** ファイル内の **user.default.logfile** キーを以下のように設定します。
  1. プロパティ ファイルを開きます。  
Windows ユーザーの場合、このファイルは **ccm.user.properties** という名前で、Windows プロファイル ディレクトリにあります。  
UNIX ユーザーの場合、このファイルは **ccm.user.properties** という名前で、ホーム ディレクトリにあります。
  - ログファイルの出力先を `C:\%cmsynergy%\synint\%bob\%ccm_client.log` に変更するには、以下の手順を行います。  
`user.default.logfile=C:\%cmsynergy%\synint\%bob\%ccm_client.log`
  - **int** という名のデータベースのログファイル (主に複数のデータベースを使用している場合) の名前を変更するには、以下の手順を行います。  
`user.default.logfile=C:\%cmsynergy%\bob\%ccm_client_int.log`
  2. ファイルを保存して終了します。  
**user.default.logfile** キーを使用する場合、上記の例のようにフルパスとファイル名を使用する必要があります。  
また、Windows のパスはダブル円記号を使用して入力する必要があります。- データベース内からプロジェクトに含まれないオブジェクトを探すにはどうしたらよいですか。  
以下の手順を実行します。
  1. **検索**メニューから**オブジェクト**を選択して、**クエリ** ダイアログボックスを開きます。
  2. リストボックスから**カスタム**を選択して、次の文字列を入力します。  
`not is_bound() and type!='project' and has_attr('source')`
  3.  をクリックします。  
結果フィールドにすべての結果が表示されます。
- 多数のユーザーが作業をしているプロジェクトのすべての作業中バージョンを検索するには、どうしたらよいですか。  
[オブジェクトの定義済みバージョンのクエリ](#)を行うことができます。
- すでに使用して一度保存したことがあるクエリはどこにありますか。

---

[保存されたクエリの実行](#)を行うことができます。

- 特定のユーザーに割り当てられたタスクを検索するクエリは何ですか。  
ユーザーに割り当てられたタスクをクエリする代わりに、特定の担当者を持つタスクをクエリします。  
**クエリ** ダイアログボックスで、**担当者で検索**を選択し、担当者の名前を設定し、をクリックします。

## エクスプローラ

- エクスプローラがすぐに閉じてしまうのはなぜですか。

エクスプローラを開始すると、スライドペインに表示されます。エクスプローラを表示するペインは、**ワーク** ペインの一部にスライドして表示されます。**ワーク** ペイン内のオブジェクトまたはプロジェクトタブをクリックすると、エクスプローラがスライドして戻ります。再表示するには、もう一度エクスプローラ ボタンをクリックする必要があります。

エクスプローラが閉じないようにするには、[1つ以上のエクスプローラのドッキング](#)を参照してください。

- エクスプローラに表示されるプロジェクト アイコンの色を変更するにはどうしたらよいですか。

**プロジェクト アイコン**の色は、**オプション**ダイアログボックスで変更する必要があります。説明については、[色の変更](#)を参照してください。

- 保存クエリとは何ですか。

保存クエリとは作成して保存したクエリです。（もう1つのタイプクエリは、**自分のプロジェクト**、**自分に割り当てられたタスク**など、システムが保存したクエリです。）

- Telelogic Synergy で変更依頼を確認できますか。それとも Telelogic Change を起動する必要がありますか。

Telelogic Synergy で[割り当てられた変更依頼の表示](#)を行うことができます。

- Telelogic Synergy で変更依頼を解決できますか。それとも Telelogic Change を起動する必要がありますか。

Telelogic Synergy で[変更依頼の解決](#)を行うことができます。

- プロジェクト グループिंगを作成するには、どうしたらよいですか。

Telelogic Synergy は、プロジェクトに付与された設定からプロジェクト グループिंगを作成します。プロジェクトを作成するときは、リリースと目的を設定します。Telelogic Synergy はプロジェクトを作成またはコピーした後、新しいプロジェクトをいずれかのプロジェクト グループिंगのメンバーにします。対応するプロジェクト グループिंगを持たないプロジェクトを作成またはコピーすると、Telelogic Synergy は新しいプロジェクト グループिंगを作成してそこにプロジェクトを入れます。

たとえば、プラットフォーム固有のプロジェクトに固有の名前を付ける必要がある場合、一意な名前の新しいプロジェクトを作成すると、Telelogic Synergy はその一意な名前を持つ適切なプロジェクト グループिंगを作成します。以下にその基本的な手順を説明します。

1. プロジェクトを作成し、プラットフォームごとに固有の名前を付けます。

- 
2. 各プラットフォームの新規プロジェクトごとに、**コピー**と**貼り付け**を行い、プラットフォームの既存プロジェクトをサブプロジェクトとして追加します。
  3. 最上位のグルーピングプロジェクトを作成します。
  4. 最上位のグルーピングプロジェクトを右クリックし、**プロパティ**を選択します。
  5. **OK** をクリックします。
  6. **コピー**と**貼り付け**を行って、各プラットフォームの新規プロジェクトを最上位のグルーピングプロジェクトに追加します。
- 複数種類のエクスプローラを表示できますか。  
一度に表示できるエクスプローラは一種類のみですが、一度に4つのエクスプローラすべてを表示（およびドッキング）できます。
  - **Telelogic Synergy** を再起動したとき4つのエクスプローラは同じ順序で表示されますか。  
**Telelogic Synergy** は設定を保存しているため、そのとおりにエクスプローラを表示します。

## プロパティ

- オブジェクトのリリースを変更する必要があるが、ビルド マネージャがデータベース内にリリースを作成しましたが、**プロパティ** ダイアログボックスに表示されません。なぜですか。

データベースの開始後に値が変わります。セッションの開始後に追加した新しい選択を確認するには、[セッション中に選択を最新の状態に更新](#)を行うかデータベースを再起動します。

- フォルダは何に使用するのですか。

フォルダは、名前を付けたタスクグループのことです。フォルダは、フォルダ テンプレートがクエリしたタスクを格納します。

- フォルダはどのように作成しますか。

フォルダは、メイン メニューの**タスク**をクリックし、**新規**をポイントして**フォルダ**を選択して作成できます。これにより、1 つまたは複数のフォルダを作成するパターンまたはテンプレートが作成されます。

- フォルダに内容を確認するには、どうしたらよいですか。

Telelogic Synergy では、いくつかの場所でこの情報を確認できますが、もっとも簡単に探す方法は以下のとおりです。

1. **クエリ** ダイアログボックスを使用して内容を確認したいフォルダを検索します。フォルダを右クリックし、**表示**を選択します。  
**ワーク** ペインにフォルダのプロパティが表示されます。
2. **タスク** タブをクリックしてフォルダに含まれるタスクを表示します。
3. 選択肢の中で、任意のタスクの隣のプラス記号をクリックして特定のタスクに関連するオブジェクトを表示します。

- 更新時にプロジェクトグルーピングにオブジェクトを含める方法を管理しているデータベースを検索するには、どうしたらよいですか。

**プロパティ** ダイアログボックスで、フォルダ テンプレート、リリース、プロセス、またはプロセス ルールを管理しているデータベースのリストを確認できます。フォルダ テンプレート、リリース、プロセス、またはプロセス ルールを修正するには (たとえば、更新時にプロジェクト グルーピングに含めるオブジェクトを変更するなど)、それらが管理データベース内になければなりません。

- プロジェクトが正しく更新されないのはなぜですか。

**プロセス ルール プロパティ** ダイアログボックスでベースライン設定を確認してください。ベースラインが正しく設定されていることを確認してください。正しく設定さ

---

れている場合は、[更新が正しいオブジェクトを選択しないのはなぜですか。](#)を参照してください。

- タスクのセキュリティが設定されているプロジェクトの作業をしていますが、**タスク プロパティ** ダイアログボックスに**セキュリティ**タブがありません。なぜですか。

**セキュリティ**タブを表示するよう設定する必要があります。[プロパティダイアログボックスのセキュリティタブの表示](#)を参照してください。

- ビルドを破壊しているタスクはどこで修復できますか。

修復は、**タスク プロパティ**ダイアログボックスを使用して行います。手順については、[タスクを指定して別タスクを修正](#)を参照してください。

- **タスク プロパティ** ダイアログボックスで、完了する寸前のタスクに関連付けられたオブジェクトを確認していたのですが、このタスクに関連付けられるべきではないオブジェクトがいくつかありました。どうしたらよいですか。

タスクに関連付けるべきではない各オブジェクトを選択し、テーブルの右のマイナス記号をクリックします。オブジェクトがタスクから削除されます。

- オブジェクトのタスクのプロパティを確認するには、どうしたらよいですか。

オブジェクトを右クリックして**プロパティ**を選択します。

- オブジェクトの使用箇所を確認するには、どうすればよいですか。

オブジェクトを右クリックして**検索**をポイントし、オブジェクトが使用されているプロジェクトのタイプを、プロジェクト、フォルダ、プロジェクト グループینگ、ベースラインから選択します。

- プロジェクトのワークエリアへすばやく移動するには、どうしたらよいですか。

プロジェクトを右クリックし、**エクスプローラ**を選択します。

- プロジェクト階層内のプロジェクトだけを表示するにはどうしたらよいですか。

**ワーク** ペインでオブジェクトを開き、**階層**タブをクリックします。

- プロジェクトの更新プロパティを表示するにはどうしたらよいですか。

プロジェクトを右クリックし、**プロジェクト グループینگ プロパティ**を選択します。



## 用語解説

- [Change](#)
- [Telelogic Change](#)
- [アクティブ リリース](#)
- [インスタンス](#)
- [インライン差分](#)
- [オブジェクト](#)
- [カレント タスク](#)
- [管理製品](#)
- [共通祖先](#)
- [クエリ](#)
- [グルーピング プロジェクト](#)
- 検索、[クエリ](#)を参照
- [更新](#)
- [更新テンプレート](#)
- [更新プロパティ](#)
- [コンフリクト](#)
- [削除 \(delete\)](#)
- [削除 \(remove\)](#)
- [差分](#)
- [修正タスク](#)
- [手動追加タスク](#)
- [正規表現](#)
- [製品](#)
- [タイプ](#)
- [タスク](#)
- [タスクの完了](#)
- [タスクベースの方法論](#)
- [チェックアウト](#)

- [チェックイン](#)
- [データベース](#)
- [ディレクトリ](#)
- [ディレクトリ エントリ](#)
- デフォルトタスク、[カレントタスク](#)を参照
- [同期](#)
- [バージョン](#)
- [パラレル コンフリクト](#)
- [パラレルバージョン](#)
- [汎用プロセス ルール](#)
- [非アクティブ リリース](#)
- [比較](#)
- [標準プロセス](#)
- [ビルド](#)
- [ビルド マネージャ](#)
- [ファイル](#)
- [フォルダ](#)
- [フォルダ テンプレート](#)
- [プロジェクト](#)
- [プロジェクト グルーピング](#)
- [プロジェクトの更新プロパティ](#)
- [プロジェクトのコピー](#)
- [プロセス](#)
- [プロセス ルール](#)
- [プロパティ](#)
- [分散型プロセス](#)
- [ベースライン](#)
- [ベースラインで処理されたタスク](#)
- [ベースラインプロジェクト](#)
- [ベースライン リリース](#)

- 
- [別バージョンの使用](#)
  - [変更依頼](#)
  - [保存クエリ](#)
  - [マージ](#)
  - [マージ コンフリクト](#)
  - [目的](#)
  - [リリース](#)
  - [リリース固有プロセスルール](#)
  - [リリース名](#)
  - [履歴](#)
  - [ワークエリア](#)
  - [ワークエリア コンフリクト](#)

## Change

[Telelogic Change](#) を参照してください。

## DCM

テレロジックの分散型変更管理（Distributed Change Management）オプションを使用すると、複数のデータベース間でデータを転送でき、マルチサイト開発を可能にします。

## Telelogic Change

Telelogic Change は、Telelogic Synergy と統合された、ウェブベースの変更依頼管理システムです。本書では、Telelogic Change を Telelogic Synergy とともに使用する場合の説明をしています。

## アクティブ リリース

アクティブ リリースは、進行中の開発に使用します。

## インスタンス

インスタンスはオブジェクトのプロパティです。同じ名前、タイプの複数のオブジェクトを区別するために使われます。それぞれのバージョンではありません。

## インライン差分

インライン差分は、2つの比較ファイルの個々に修正された行と文字の差分を表示します。

### オブジェクト

オブジェクトはテレロジック データベースに格納できる（ファイル、ディレクトリ、プロジェクト、タスク、変更依頼を含む）データの異なるタイプを示す総称です。

### カレント タスク

カレント タスクは、現在作業しているタスクです。

### 管理製品

管理製品は、製品のプロパティを持つよう設定されていてビルドによって変更されたオブジェクトです。

### 共通祖先

共通祖先は、マージされている 2 つのファイルの最新に一番近い祖先です。マージセッションを行うと結果には共通祖先の内容が含まれます。

### クエリ

クエリ（検索）操作により、Telelogic Synergy データベースからオブジェクト、プロジェクト グループ、タスク、および変更依頼を検索できます。再利用のためにクエリを保存できます（「保存クエリ」を参照）。

### グルーピング プロジェクト

ソフトウェア アプリケーションの異なるプラットフォームを含むなどの目的で、複数のプロジェクトをグループ化したプロジェクトのことです。グルーピング プロジェクトは必須ではありません。すべてのプロジェクトが 1 つの階層に入れられている場合、プロジェクトのセットをチェックインしたり、プロジェクトの新しいセットをチェックアウトするほうが簡単です。

### 更新

更新操作により、自分のプロジェクトやディレクトリを他のユーザーによってチェックインされた最新のバージョンで更新できます。

### 更新テンプレート

プロセスルールを参照してください。

### 更新プロパティ

誰かがプロジェクトを更新するとき、選択するオブジェクト バージョンを決めるためにオブジェクトが使用するプロパティです。

---

## コンフリクト

コンフリクトはワークエリア（たとえば、同期操作をした後）やプロジェクトメンバー（コンフリクト検出を実行した後）に生じることがあります。

## 削除 (delete)

削除操作は Telelogic Synergy Classic データベースからオブジェクトを取り除きます。

## 削除 (remove)

削除操作はオブジェクトをディレクトリやプロジェクトから取り除きますがデータベースからは削除しません。

## 差分

差分は、比較またはマージされた 2 つのファイルの差異です。2 つのファイルには 1 つ以上の差分があることがあります。

## 修正タスク

修正タスクは、修正する完了タスクまたは除外（破損）タスクと特別な関係を持つ通常のタスクです。

## 手動追加タスク

プロジェクト グルーピング プロパティ ダイアログボックス、タスク コンテキストメニューのプロジェクト グルーピングに追加オプションまたはアクション メインメニューを使用して手動で追加するタスクです。

## 正規表現

正規表現は、一致テキストを検索するために使用するパターンを定義する文字列です。

## 製品

製品は、他のファイルを処理することによってビルドされるファイルです。プロダクトの例としては、**.class** ファイル、**.jar** ファイル、**.exe** ファイルなどがあります。

## タイプ

オブジェクトに含まれるデータのクラスです。タイプはオブジェクトの振る舞いまたは特性を定義します。タイプの例は java、ライブラリ、実行形式ファイル、HTML です。

## タスク

タスクはユーザーに割り当てられた **todo** リスト アイテムです。タスクは、完了するために修正されたファイルも追跡します。

## タスクの完了

タスク上のすべての作業を完了したときにタスクを完了できます。これでチェックインすべきすべてのオブジェクトがタスクに割り当てられ、ビルド マネージャが製品をビルドできるようになります。

## タスクベースの方法論

タスクベース方法論を使用すると、開発組織は作業の基本単位として個々のファイルではなくタスクを使用してソフトウェア アプリケーションへの変更を追跡できます。

## チェックアウト

チェックアウト操作は、それをチェックアウトしたユーザーが編集できるオブジェクトの新しいバージョンを作成します。

## チェックイン

チェックイン操作は 1 つ以上のオブジェクトを保存し、他のユーザーが使用できるようにします。

## データベース

Synergy Classic データベースはソース、データ ファイル、それらのプロパティ、他への関連ファイルを含む使用中の管理データのすべてを格納するデータ レポジトリです。

## ディレクトリ

Telelogic Synergy ディレクトリはどのファイルが属するかを維持管理します。

## ディレクトリ エントリ

ディレクトリに属する各ファイルについて、ディレクトリはディレクトリ エントリと呼ばれるプレースホルダを持っています。ディレクトリ エントリは属するファイルを識別しますが、ファイルのバージョンは識別しません。

## 同期

同期操作は使用しているワークエリアファイルとデータベースの情報を比較し、両者間のコンフリクトを解決できます。

---

## バージョン

バージョンはファイル、ディレクトリ、プロジェクトの特定のバリエーションです。

## パラレル コンフリクト

パラレル コンフリクトは、1 つ以上のパラレルバージョンがチェックアウトされたときに発生します。

## パラレル バージョン

パラレルバージョンは、1 つのファイルから 2 つ以上のバージョンがチェックアウトされたときに発生します。

## 汎用プロセス ルール

プロセスルールは、特定の目的のプロジェクトが更新時に新しいメンバーを選択する方法を指定するものです。これは、システムが開始点として使用するベースラインを検索する方法と新しいメンバーを検索するためにシステムが使用すべきタスクを指定して行います。

汎用プロセスルールは、リリースの一部ではないプロセスルールです。

## 非アクティブ リリース

非アクティブリリースは、進行中の開発では使用できません。しかし、再び使用する必要がある場合、それをアクティブ化して使用できます。

## 比較

比較操作では 2 つのオブジェクトの差分が表示されます。

## 標準プロセス

Telelogic Synergy 用に定義された標準プロセスです。

## ビルド

ビルドは、**makefile** でターゲット向けのコマンドを実行することです。また、ビルドマネージャが製品の作成に使用するプロセスでもあります。

## ビルド マネージャ

ビルド マネージャは開発チームによる変更を集め、ビルドするユーザーです。

## ファイル

ファイルは、データや情報の集まりです。

## フォルダ

フォルダは、名前を付けたタスク グループのことです。

## フォルダ テンプレート

フォルダ テンプレートは、フォルダ作成に使用するパターンとなります。

## プロジェクト

プロジェクトとは、ファイルやディレクトリの選択バージョンを特定の構造に配列した論理グループです。

## プロジェクト グループینگ

Telelogic Synergy では、プロジェクトはその目的とリリースによって、たとえば **My 3.0 Collaborative Projects** のようにグループ化されます。これをプロジェクト グループینگといいます。プロジェクト グループینگは、プロジェクトを更新するときに使用するタスクとベースラインを保持します。

## プロジェクトの更新プロパティ

プロジェクトの更新プロパティは、プロジェクトのプロジェクト分類のベースラインおよびタスクです。

## プロジェクトのコピー

プロジェクトのコピー操作により、プロジェクトを個人使用のためにコピーできます。変更するためにはプロジェクトのコピーを作る必要があります。

## プロセス

プロセスは、リリースのプロジェクトを更新する方法を定義するプロセス ルールの集まりです。たとえば、リリースは **Integration Testing** (統合テスト) という目的を含むことがあります。**Integration Testing** (統合テスト) 目的内に、ビルドマネージャは **Hotlist Testing**、**Integration Testing**、**Resolved CRs** という 3 つのプロセス ルールを持つことがあります。**Integration Testing** (統合テスト) 目的は柔軟です。これは、目的がどのプロセスルールを持つようビルド マネージャが設定するかによって統合テストエリアのビルドまたはホットリスト モードのテストの実行に使用できます。開発者はプロセスやプロセス ルールを設定しません。プロジェクトの目的だけを設定します。

## プロセスルール

プロセスルールは、プロジェクトがどのように更新されるかを定義するパターンを含みます。それらは、誰かがプロジェクトを更新するとき使用する、ベースラインおよびタスクのセットを決定するルールを指定します (旧リリースでは、「プロセスルール」は「更新テンプレート」と呼んでいました)。

---

## プロパティ

オブジェクトのプロパティ（属性ともいう）から、さまざまな情報を見つけることができます。プロパティの例は名前、バージョン、リリースです。

## 分散型プロセス

Telelogic Synergy Distributed 用に定義されたプロセスです。

## ベースライン

ある時点における一連のプロジェクトとタスクのセットのスナップショットです。以降の開発の開始点として使用されることがあり、参照のために他のベースラインと比較されることがあります。

## ベースラインで処理されたタスク

プロジェクト グループ内にはあるがベースライン内にはないタスクです。

## ベースライン プロジェクト

自分のプロジェクトのベースにするプロジェクトバージョンを、そのベースラインプロジェクトといいます。たとえば、「**editor-2.0**」プロジェクトのベースラインプロジェクトは、「**editor-1.0**」です。プロジェクトの新規バージョンをチェックアウトすると、そのベースラインプロジェクトが自動的に設定されます。ベースラインは、ベースラインプロジェクトで構成されています。

## ベースライン リリース

ベースライン リリースは、ベースライン選択方法を定義するときに予備リリースとして使用できます。

たとえば、**Insulated Development**（個別開発）目的のベースラインは、プロジェクトと同じリリースの最新の **Integration Testing**（統合テスト）ベースラインです。ただし、これがない場合、ベースライン リリースの最新のベースラインが使用されます。

具体的には、**CM 6.5** のベースライン リリースは **CM 6.4 SP1** です。**CM 6.5** の統合テストベースラインがまだない場合、**6.5** 個別開発プロジェクトは最新の **CM 6.4 SP1** ベースラインを採用します。

## 別バージョンの使用

プロジェクトのファイルまたはディレクトリの別のバージョンを使用できます。別バージョンの使用操作は、単体テスト中に以前のファイルバージョンに戻りたいときなどに実行できます。

## 変更依頼

変更依頼は、変更のための依頼です。

## 保存クエリ

使用できるクエリには、自分が作成して保存したクエリと、システムが保存したクエリの2種類があります。たとえば、**自分のプロジェクト**、**自分に割り当てられたタスク**などがあります。

## マージ

マージ機能により、ファイルの2つのパラレルバージョンからの情報を組み合わせることができます。2つのファイルをマージすると、3つ目のファイルが作成されます。3つ目のファイルには両ファイルからの情報が含まれます。

## マージ コンフリクト

マージ コンフリクトは、2つの修正されたファイル間で同じ行が違う方法で修正された不整合です。

## 目的

プロジェクトの目的は、それが何に使用されるかを定義します。たとえば、**Insulated Development**（個別開発）、**Integration Testing**（統合テスト）、**System Testing**（システムテスト）など。プロジェクトの目的を変更すると、**Telelogic Synergy** はプロジェクトの更新時に異なる選択基準を使用します。

## リリース

リリースは、アプリケーションの特定のリリース固有のプロジェクトまたはタスクを識別する属性です。

## リリース固有プロセス ルール

プロセス ルールは、特定の目的のプロジェクトが更新時に新しいメンバーを選択する方法を指定するものです。これは、システムが開始点として使用するベースラインを検索する方法と新しいメンバーを検索するためにシステムが使用すべきタスクを指定して行います。

リリース固有プロセス ルールは、特定のリリースのために作成されたプロセス ルールです。

## リリース名

リリース名はコンポーネント名（オプション）とリリース区切り文字、およびコンポーネント リリースで構成されます。コンポーネント名はアプリケーションまたはコンポーネントの名前を示します。たとえば、**Synergy** または **editor** などがありま

---

す。コンポーネントリリースは、アプリケーションまたはコンポーネントの特定のリリースを識別します。**Synergy/6.4** は、リリース名の一例です。

#### **履歴**

履歴操作はファイル、ディレクトリ、プロジェクトの全バージョン、およびそれぞれの関連を表示します。

#### **ワークエリア**

ワークエリアは、プロジェクトの個人使用コピーを含むファイルシステムの場所です。

#### **ワークエリア コンフリクト**

ワークエリア コンフリクトは、使用しているワークエリアとデータベースの間の不整合です。



## 付録：特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものであり、本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権（特許出願中のものを含む）を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒 106-8711

東京都港区六本木 3-2-12

日本アイ・ビー・エム株式会社

法務・知的財産

知的財産権ライセンス渉外

**以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。:** IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示 もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム（本プログラムを含む）との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を

可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、製造元に連絡してください。

Intellectual Property Dept. for Rational Software  
IBM Corporation  
1 Rogers Street  
Cambridge, Massachusetts 02142  
U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのもと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者にお願いします。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

---

## サンプル・コードの著作権

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほめかしたり、保証することはできません。

それぞれの複製物、サンプル・プログラムのいかなる部分、またはすべての派生的創作物にも、次のように、著作権表示を入れていただく必要があります。

© (お客様の会社名) (西暦年), このコードの一部は、IBM Corp. のサンプル・プログラムから取られています。

## 商標

IBM、IBM ロゴ、ibm.com、Rational、Telelogic、Telelogic Synergy、Telelogic Change、および Telelogic DOORS は、International Business Machines Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。これらおよび他の IBM 商標に、この情報の最初に現れる個所で商標表示 (® または ™) が付されている場合、これらの表示は、この情報が公開された時点で、米国において、IBM が所有する登録商標またはコモン・ロー上の商標であることを示しています。このような商標は、その他の国においても登録商標またはコモン・ロー上の商標である可能性があります。IBM および関連の商標については、[www.ibm.com/legal/copytrade.html](http://www.ibm.com/legal/copytrade.html) をご覧ください。

Informix は、International Business Machines Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft、Windows、Windows 2003、Windows XP、Windows Vista、および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。



---

## 索引

### C

CLI、Synergy を開始 226  
cmsynergy コマンド 226

### S

SiberMerge  
比較ツール 173  
マージツール 164  
Synergy  
CLI から開始 226  
インターフェイス、説明 230  
コピーベースモードで開始 228  
操作の開始 234  
Synergy Classic、ビルドスクリプト 306

### T

Telelogic Change  
起動 227  
タスクの CR の表示 96  
変更依頼の解決 97

### X

x、赤、説明 78

### あ

赤い x、説明 78  
暗黙的コンフリクト検出 26

### い

#### 色

加線、テーブルのデフォルト 233  
加線、変更 211  
プロジェクトアイコン、変更 211  
文字、変更 211  
インターフェイスのカスタマイズ  
エクスプローラ 200  
加線色の変更 211, 214  
カラムからプロパティを削除 217  
カラム順序 210

カラムにプロパティを追加 216  
カラム幅の変更 210  
セキュリティを表示 221  
選択色の変更 211  
タブの最大数の変更、ワーク ペイン 214  
タブの最大文字数の変更、ワーク ペイン 214  
表示するオブジェクトを変更、ワーク ペイン 214  
フォント サイズの変更 213  
フォント タイプの変更 213  
プロジェクトアイコン色の変更 211  
プロパティ 116  
文字色の変更 211

### え

#### エクスプローラ

1 つ、すべて閉じる 199  
色、加線の変更 211  
色、文字色の変更 211  
カスタマイズ 200  
クエリを検索メニューに追加 205  
タスク、説明 231  
ツールバー、説明 231  
ドッキング 202  
表示順序 315  
表示する最大数 315  
プロジェクトグルーピング内容の変更 203  
プロジェクト、説明 231  
変更依頼、説明 231  
保存クエリ、追加 204  
リリース、説明 231  
リリースを表示 220

エディタ、設定方法 117

### お

#### オブジェクト

移動 64  
クエリ 127, 160  
クエリの定義 134  
検索 127  
更新選択時の問題 305

---

- 再表示 251
- 削除 62
- 作成 (修正可能) 11
- 推奨バージョン 25
- セキュリティ設定の変更 121
- タスクとの関係の説明 29
- タスクとの関連付け 242
- タスクに関連付け、表示 248
- タスクの削除 81
- タスクの追加 81
- 追加 65
- 同一を比較 179
- 名前変更 66
- パラレルコンフリクト 32
- パラレル、マージ 166
- 比較 178
- 開く 129
- 編集 60
- マージ 165
- 履歴関係、説明 30
  - ワークエリアにコピー 40
- オブジェクトの管理 165
- オプション
  - クエリ条件 143
  - 更新のため変更 42
  - コンフリクトの自動検出 42
  - サブプロジェクトの置換 42
- か**
- 解決
  - 変更依頼 97
  - メンバーシップ コンフリクト 26
- 開始
  - CLI から Synergy を開始 226
- 加線、デフォルトテーブル色 233
- カレント タスク
  - 完了 72
  - 作成 74
  - ディレクトリの削除 79
  - ファイルの削除 79
  - 変更依頼の削除 79
  - 割り当て 73
- 関係、履歴、更新 129
- 完了、カレント タスク 72

- 関連オブジェクト、比較 178
- 関連タスク、表示 83
- 関連付け
  - オブジェクトとタスク 242
  - タスクと変更依頼 242

## き

- 起動
  - Synergy、コピーベース モード 228
  - Telelogic Change 227
- キーボードショートカット 235
- 切り取り
  - オブジェクトとタスクの分離 243
  - 関係の変更 243
  - ファイルの削除 243
- キーワード
  - クエリの 146

## く

- クエリ
  - エクスプローラ 200
  - オブジェクト(カスタム クエリ使用)  
141
  - オブジェクトの使用箇所 140
  - オブジェクトの使用箇所の検索 128
  - オブジェクトを 141
  - カスタマイズ 140
  - カスタム 141
  - 関数 150
  - 関数定義 150
    - has\_relationship 151
    - is\_relationship\_of 153
    - has\_attr 151
    - has\_child 151
    - has\_cvtype 152
    - has\_member 151
    - has\_model 151
    - has\_predecessor 151
    - has\_priv 151
    - hierarchy\_asm\_members 152
    - is\_bound 152
    - is\_child\_of 152
    - is\_hist\_leaf 152
    - is\_hist\_root 152

---

- is\_member\_of 153
- is\_predecessor\_of 153
- recursive\_is\_member\_of 153
- 関数テスト文節の使用 145
- 関数引数
  - attr\_name 150
  - object\_name 150
  - order\_spec 150
  - privilege\_name 150
  - project\_name 150
- キーワードを使用 146
- 結果を最新の情報に更新 206
- 検索順序 150
- 式、組み合わせ 146
- 条件オプション 143
- スタック 135
- 属性を使用 145
- タスクを 142
- 定義 134, 140
- 定義済みオブジェクトの 160
- 定義済みバージョン 160
- 定義方法 140
- 定数 157
- 名前の変更 139
- ネストされた 148
- 比較演算子 155
- 文節 149
- 文節、グループ 158
- 編集 162
- 保存 136, 137
- 保存クエリをエクスプローラに追加 204
- 保存、検索メニューに追加 205
- 保存、削除 207
- 保存、作成 136, 137
- 保存したものの表示 138
- 保存、実行 161
- 保存、フォルダ 231
- 例 134
- 論理演算子 156
- クエリ関数定義
  - baseline 150
  - build 150
  - cr 151

- folder 151
- has\_no\_relationship 151, 153
- has\_purpose 151
- is\_cvtype\_of 153, 154
- is\_model\_of 153
- task 150, 154
- クエリダイアログボックス
  - オブジェクトの検索 141
  - タスクの検索 142
- グループセキュリティ
  - セキュリティタブの表示 221

## け

### 検索

- クエリ内の順序 150
- 例 134
- 検索 - クエリを参照

## こ

### 更新

- オプション、変更 42
- コンフリクトの自動検出 42
- サブプロジェクトの置換 42
- 詳細メッセージ表示 42
- 選択時の問題 305
- 注意 50
- プロジェクト 22
- プロジェクトの更新の取り消し 23
- プロジェクトのプロパティの変更 45
- プロジェクトメンバー 22
- ベースラインとタスク 50
- ベースラインを維持、タスクを変更から 51
- 履歴関係 129
- 更新時の詳細メッセージ 42
- 更新のキャンセル 23
- 更新の取り消し 23
- 更新を元に戻す 23
- コピー
  - オブジェクトとタスクの関連付け 243
  - 関係の変更 243
  - クエリ 11
  - タスク 11, 76

---

ディレクトリへの追加 65  
貼り付け、オブジェクト、タスク、  
CR 242  
ファイルの追加 243  
フォルダ 11  
フォルダ テンプレート 11  
プロジェクト 11, 14  
プロジェクトをファイルシステムに  
17  
ユーザー権限 11  
リリース 11  
コマンド、cmsynergy 226  
コンフリクト  
暗黙的、定義済み 26  
オブジェクト間でパラレル 32  
オブジェクト履歴関係、説明 30  
解決 (メンバーシップ) 26  
更新後検出 42  
式をフィルタとして 250  
説明 26, 323  
大規模、検出 33  
タスクとオブジェクトの関係、説明  
29  
パターンをフィルタとして 250  
パラレルバージョン、表示 176  
深い検出の設定 39  
変更の欠落、説明 33  
明示的、定義済 26  
メッセージの定義 26  
例の種類 31  
ワークエリ 40  
コンフリクトのないすべての変更の適用  
169

## さ

最新の情報に更新  
クエリ結果 206  
セッション中に選択を 219  
再表示  
オブジェクト 251  
再ビルド  
破損ビルド、概要 305  
ビルド マネージャの方法論 186  
削除

オブジェクトからタスクを 81  
カレントタスクからディレクトリを  
79  
カレントタスクからファイルを 79  
カレントタスクから変更依頼を 79  
タスク 62, 78  
タスクからオブジェクトを 243  
タスクからファイルを 95  
タスクから変更依頼を 95, 243  
タスクをプロジェクトグルーピング  
から 47, 90  
ディレクトリ 62  
ディレクトリからファイルまたはプ  
ロジェクトを 243  
表題部からプロパティ 217  
ファイル 62  
フォルダ 62  
フォルダ テンプレート 62  
プロジェクト 62  
プロジェクトからファイルを 62  
プロジェクトグルーピング 62  
プロセス 62  
プロセスルール 62  
ベースライン 62  
保存クエリ 62, 207  
ワーク ペインからタブを 215, 218  
削除 (remove)  
「削除」の項を参照してください。  
削除、説明 323  
作成  
クエリ 134  
クエリ、カスタム 140  
サブプロジェクト 59  
修正タスク 88  
タスク 74  
タスクを変更依頼と自動的に関連付  
け 94  
ディレクトリ 59  
テストベースライン 193  
同期による (新規ファイル) 40  
ビルドのスナップショット 193  
ファイル 59  
プロジェクト 13  
プロジェクトグルーピング 314  
プロジェクトメンバー 16

---

保存クエリ 136, 137  
サブプロジェクト  
更新後置換 42  
ファイル、作成 59  
参照  
ファイル 60

**し**

式、コンフリクトのフィルタ 250  
修正 67  
タスクのプロパティ 109  
ファイル 60  
プロジェクトのオブジェクト 11  
修正タスク  
開発者の方法論 88  
作成 88  
破損タスク、修正 88  
手動でクエリを最新の情報に更新 206  
使用  
バージョン、説明 327  
別のベースライン 53  
別ファイルバージョン 24  
使用箇所の検索  
オブジェクト 128  
プロジェクト 160  
ショートカット  
キーボード 235  
マウス 238  
メニュー、表示 246  
除外  
完了タスク 78

## す

スタック、クエリ 135  
すべてのマージ変更のクリア 171

## せ

セキュリティ、オブジェクトの設定を変更 121  
セキュリティタブ、表示 221  
セッション、再起動せずに選択を最新の  
状態に更新 219  
選択、セッション中に最新の情報に更新

219

## そ

### 属性

クエリ内の値 145  
セッション中に最新の状態 219  
表題部から削除 217  
表題部に追加 216

## た

### ダイアログボックス

色、加線の変更 211  
色の変更 211  
色、文字色の変更 211  
インターフェイスのカスタマイズ  
表示 210  
加線色の変更 214  
セキュリティを表示 221  
タブの最大数の変更 214  
タブの最大文字数の変更 214  
表示するオブジェクトを変更 214  
フォントサイズの変更 213  
フォントタイプの変更 213

### タイプ、ファイルの変更 67

### タスク

2つの間で関係を作成 86  
CR の表示 96  
エクスプローラ、説明 231  
オブジェクトから削除 81  
オブジェクトとの関係、説明 29  
オブジェクトとの関連付け 242  
オブジェクトに追加 81  
オブジェクトの削除 95  
カレント、設定 71  
カレントタスク、完了 72  
関連オブジェクト、表示 248  
関連付け、ファイル 79  
関連、表示 83  
クエリの定義 134  
検索 127, 140  
更新、変更しない 51  
コピー 11, 76  
削除 62  
作成 74

---

自動追加、停止 98  
修正、作成 88  
除外 78  
除外、開発者の方法論 88  
除外の解除 78  
セキュリティ、設定、プロパティの  
変更 110  
セキュリティを設定 121  
説明 324  
選択 71  
追加と必須 98  
特定、ビルド、方法論 191  
必須、追加停止 98  
ビルドから削除、方法論 188  
ビルドに追加、方法論 187  
フォルダに追加 80  
プロジェクト グルーピングから削除  
47, 90  
プロジェクト グルーピングに追加  
45, 91  
プロパティの修正 109  
ベースライン、更新 50  
ベースラインに追加 101  
変更依頼と自動的に関連付け、作成  
94  
問題、プロジェクト グルーピングか  
ら削除 90  
問題を修正 86  
割り当て 73  
割り当てられた、表示 82  
タブ、ワーク ペインから削除 215, 218

## ち

チェックアウト  
ディレクトリ 58  
ファイル 58  
プロジェクト 11  
チェックイン  
タスクなしにファイルを 57  
ディレクトリ 57  
ファイル 57

## つ

追加

オブジェクトをディレクトリへ 65  
新規プロジェクト 13  
新規プロジェクト メンバー 16  
タスクからオブジェクトを 243  
タスクから変更依頼を 243  
タスクをオブジェクトに 81  
タスクをフォルダへ 80  
タスクをプロジェクト グルーピング  
に 45, 91  
ディレクトリからファイルまたはプ  
ロジェクトを 243  
ディレクトリをカレントタスクに  
79  
同期による (ファイル) 40  
保存クエリをエクスプローラ 204  
必須タスク、停止 98  
ファイルをカレント タスクに 79  
変更依頼をカレント タスクに 79  
保存クエリを検索メニューに 205  
追加タスクと必須タスク 98  
ツールバー、エクスプローラ、説明 231

## て

ディレクトリ  
2 つを比較 179  
オブジェクトの追加 65  
関連、表示 83  
更新、取り消し 23  
削除 62  
作成 59  
セキュリティを設定 121  
タスクの削除 79  
タスクの追加 79  
チェックアウト 58  
追加 65  
テンプレート、修正 18  
パラレル、表示 176  
パラレルを比較 175  
比較 174  
プロジェクト メンバーとして作成  
16  
プロパティの修正 102  
プロパティ、表示 114  
テキストの回復 250

---

テストベースライン、作成 193  
テーブル  
表題部からプロパティを削除 217  
表題部にプロパティを追加 216  
テーブルのデフォルトの加線色 233  
テンプレート  
プロジェクト固有ディレクトリの変更 18

## と

同一オブジェクト、比較 179  
同期  
データベースへの追加(ファイル) 40  
パターン 43  
フィルタ 43  
ワークエリアとデータベース 40  
ワークエリアの変更を破棄 40  
ワークエリアの変更を保存 40  
閉じる、エクスペローラ 199  
ドッキング  
エクスペローラ 202  
エクスペローラ、閉じる 199  
ドラッグアンドドロップ、使用 244

## な

名前  
ベースライン、変更 101

## ね

ネストされたクエリ 148

## は

バージョン  
異なるバージョンの使用、更新 22  
最新のバージョンを取得 22  
推奨される 25  
パラレル、表示 129  
別のベースラインを使用 24  
パス、ワークエリアの設定 19  
破損タスク、修正 88  
パターン  
コンフリクトのフィルタ 250  
ファイルの無視 43

パラレル オブジェクト  
所有者の検索 310  
表示 129  
マージ 166  
パラレルバージョン  
マージ 166  
貼り付け  
オブジェクト、タスク、CR 242  
ディレクトリへの追加 65

## ひ

比較  
2つのファイル 18, 19, 174  
SiberMerge デフォルト ツール 173  
オブジェクト 178  
コンフリクト、深い検出 39  
ツール、変更方法 117  
ディレクトリ 174  
ディレクトリ、パラレル 175  
デフォルト ツールの変更 117  
ファイル 174  
ファイル、パラレル 175  
プロジェクト 174  
ベースライン 304  
類似オブジェクト 179  
ワークエリアのファイルとデータベース 40

比較、説明 325  
必須タスクと追加タスク 98  
表示

エクスペローラ 202  
オブジェクト 129  
関連タスク 83  
新規プロジェクト 246  
ステータス行のメッセージ 248  
タスクの CR 96  
デフォルト ツールの変更 117  
保存クエリ 138  
メッセージ 248  
履歴 129  
履歴ダイアログボックスでオブジェクトを 129  
ログファイル、表示方法 311  
割り当てタスク 82

- 
- 割り当てられた変更依頼、Telelogic Changee 131
  - 開く
    - エクスペローラ 202
    - 新規プロジェクト 246
  - ビルド
    - 環境変数の値 311
    - スナップショット、作成 193
    - タスクの削除、方法論 188
    - タスクの追加、方法論 187
    - テストベースライン、作成 193
    - 破損、修復、概要 305
    - 破損の修復 183
    - ビルドマネージャの方法論 184
    - マクロの値 311
  - ビルド管理
    - 統合テスト プロジェクト 181
    - プロセス 181
    - 方法論 181
  - ビルド マネージャ
    - 再ビルド 186
    - ビルド 184
      - ベースラインなしの再ビルド 195
  - ふ
  - ファイル
    - 移動 64
    - 管理されているものとの置き換え 40
    - 関連、表示 83
    - クライアント ログの出力先を変更 312
    - クライアントログの名前を変更 312
    - 異なるバージョンの使用、更新 22
    - 削除 62
    - 削除と置換 62
    - 修正可能なバージョンの作成 58
    - セキュリティ、設定、プロパティの変更 102
    - セキュリティを設定 121
    - タイプの変更 67
    - タスクの削除 79
    - タスクの追加 79, 81
  - チェックアウト 58
  - ディレクトリへの追加 65
  - 同期によってデータベースに追加 40
  - 名前変更 66
  - パターンによる無視 43
  - パターンを使用して無視 43
  - パラレル、表示 176
  - パラレルを比較 175
  - 比較 18, 19, 174
  - 表示 248
  - プロジェクト内で移動 64
  - プロジェクト メンバーとして作成 16
  - プロパティの表示 24
  - プロパティ、表示 114
  - 編集 60
  - マージ 165
  - マージ、保存 170
  - 無視するフィルタ 43
  - ログ、表示方法 311
  - ワークエリアの更新 (データベースから) 40
  - ファイルタイプ 67
  - ファイルの移動 64
  - フィルタ、ファイルを無視 43
  - フォルダ
    - 2つを比較 179
    - 検索 127
    - コピー 11
    - 作成、方法 316
    - 使用箇所の検索 128
    - セキュリティ、設定、プロパティの変更 103
    - セキュリティを設定 121
    - タスクの追加 80
    - 内容の表示 316
    - プロパティの修正 103
    - プロパティ、表示 114
    - 保存クエリ、表示される場所 231
    - 用途 316
  - フォルダ テンプレート
    - 2つを比較 179
    - 検索 127
    - コピー 11

---

- プロパティ、表示 114
- プロジェクト
  - 2つを比較 179
  - エクスプローラ、説明 231
  - オブジェクトの追加 65
  - 関連、表示 83
  - クエリの定義 134
  - 検索 127
  - 更新 22
  - 更新、取り消し 23
  - 更新プロパティの変更 45
  - コピー 11, 14
  - 削除 62
  - 作成 13
  - 使用箇所の検索 128
  - 新規に開く 246
  - セキュリティ、設定、プロパティの変更 106
  - 説明 326
  - タブの削除 215
  - ディレクトリへの追加 65
  - 統合テスト、定義 184
  - 統合テスト、ビルドするタイミング 184
  - 内容の表示 248
  - 比較 174
  - ファイルシステムにコピー 17
  - ファイルの移動 64
  - 不要な変更の削除 305
  - プロジェクト グループングに追加 123
  - プロパティの修正 105
  - ベースライン プロジェクトと比較 178
  - メンバーの更新 22
  - メンバーの作成 16
  - ワークエリア外 18
  - ワーク ペイン、タブの削除 218
  - セキュリティを設定 121
- プロジェクトアイコン、色の変更 211
- プロジェクト グループング
  - 2つを比較 179
  - クエリの定義 134
  - 検索 127
  - 削除 62

- 作成 314
- 使用箇所の検索 128
- タスクの削除 47
- タスクの追加 45, 91
- タスクを削除 90
- 内容の変更 203
- プロジェクトを追加 123
- プロパティの修正 107
- ベースラインと比較 178
- プロセス
  - 検索 127
  - リリースエクスプローラ、表示 220
  - プロパティ、表示 114
- プロセス ルール
  - 2つを比較 179
  - 検索 127
  - プロセスと比較 178
  - リリースエクスプローラ、表示 220
  - プロパティ、表示 114
- プロパティ
  - 更新、プロジェクトの変更 45
  - 新規ベースラインの選択 52
  - セッション中に更新 219
  - 説明 327
  - タスク、修正 109
  - タスク、表示 114
  - ディレクトリ、修正 102
  - ディレクトリ、表示 114
  - 表題部に追加 216
  - 表題部の削除 217
  - ファイル、修正 102
  - ファイル、表示 114
  - フォルダ、修正 103
  - フォルダ テンプレート、表示 114
  - フォルダ、表示 114
  - プロジェクトグループング、修正 107
  - プロジェクトグループング、タスクの削除 47
  - プロジェクトグループング、タスクの追加 45
  - プロジェクト グループング、表示 114
  - プロジェクト、表示 114
  - プロジェクト、修正 105
  - ベースライン、修正 101

---

- ベースライン、表示 114
- リリース、表示 114
- ワークエリア、修正 111
- ワークエリア設定 111
- ワーク ペイン、表示 247

分析、深いコンフリクト 39

## へ

### ペイン

- 色、加線の変更 211
- 色、文字色の変更 211
- 表示のカスタマイズ 210
- プロジェクト、加線色の変更 214
- ワーク、最大文字数の変更 214
- ワーク色の変更 211
- ワーク、セキュリティを表示 221
- ワーク、説明 231
- ワーク、タブの最大数の変更 214
- ワーク、タブの削除 215
- ワーク、表示するオブジェクトを変更 214
- ワーク、フォント サイズの変更 213
- ワーク、フォントタイプの変更 213

### ベースライン

- クエリの定義 134
- 検索 127
- 更新、変更しない 51
- 使用箇所の検索 128
- 新規を選択 52
- タスク、更新 50
- テストの作成 193
- なしの再ビルド 195
- 名前 101
- 比較 304
- プロパティの修正 101
- プロパティ、表示 114
- 別のベースラインを使用 53
- 削除 62

### ヘルプ、使用法 239

### 変更

- クエリ定義 140
- タスクに関連付けられたファイル 95
- ファイルタイプ 67

- プロジェクト固有ディレクトリ テンプレート 18

### 変更依頼

- Telelogic Change の起動 227
- エクスプローラ、説明 231
- 解決 97
- 関連、表示 83
- クエリ関数 151
- クエリの定義 134
- 検索 127, 140
- 自動的に関連付けられたタスクの作成 94
- 使用箇所の検索 128
- タスクから削除 95
- タスクとの関連付け 242
- タスクの削除 79
- タスクの追加 79
- 追加 79
- プロパティ、表示 114
- 割り当てられたものの表示 131

### 編集

- クエリ 162
- デフォルト ツールの変更 117
- ファイル 60

## ほ

### 方法

- エディタの変更 117
- 比較ツールの変更 117
- マージツールの変更 117

### 方法論

- 再ビルド 186
  - ベースラインなし 195
- タスクの修正、開発者の 88
- 特定タスクのビルド 191
- ビルド 184
- ビルドからタスクを削除 188
- ビルドにタスクを追加 187
- ビルドのベースライン 193

### 保存

- クエリ 136, 137
- マージ済みファイル 170

### 保存クエリ

- 削除 62

---

削除 (remove) 207  
作成 136, 137  
名前の変更 139  
表示 138  
フォルダ、表示される場所 231  
保存クエリの実行 161  
保存クエリの名前変更 139

## ま

マウスショートカット 238  
マージ  
2つのオブジェクトバージョン 165  
SiberMerge デフォルト ツール 164  
結果の編集 167  
コンフリクトのないすべての変更の適用 169  
説明 328  
次の差分の表示 168  
ツール、変更方法 117  
デフォルト ツールの変更 117  
パラレル所有者の検索 310  
ファイルの保存 170  
変更のクリア 171  
マージファイルの保存 170  
要件 310

## め

明示的コンフリクト検出 26  
メッセージ、更新時に詳細表示 42  
メッセージ、ステータス行に表示 248  
メッセージの表示 248  
メニュー、ショートカット、表示 246

## も

目的  
ベースライン選択 52  
問題タスク、修正 88

## ゆ

ユーザー インターフェイス ログ  
出力先を変更 312  
名前の変更 312

## よ

用語解説 319

## り

リリース  
エクスプローラ、説明 231  
検索 127  
コピー 11  
セキュリティを設定 121  
プロパティ、表示 114  
履歴参照 129  
履歴  
オブジェクトの表示 129  
関係、更新 129  
説明 329  
比較 174  
表示 129

## ろ

ログ  
出力先を変更 312  
名前の変更 312  
表示方法 311

## わ

ワークエリア  
欠落プロジェクト 18  
説明 329  
データベース、同期 40  
データベースと同期 40  
データベースにコピー 40  
デフォルト パスを設定 19  
同期 40  
パスを設定 19  
プロパティの設定 111  
変更を破棄 40  
変更を保存 40  
ワーク ペイン  
説明 231  
プロパティ、表示 247  
割り当てタスク、表示 82

